

## 教育事業部 事業進捗

### (1) 単位互換事業 (Field I)

#### 【概要】

財団の前身である「京都・大学センター」が発足した 1994 年から運用している事業であり、第 5 ステージでは、「京都世界遺産 PBL 科目」の拡充、「京都ミュージアム PBL 科目」を新設  
コロナ禍を踏まえ「オンライン科目」など、多様な開講形態の科目を提供することで、多様な科目を選択できる幅が拡充

第 6 ステージでは、加盟校での科目開発、科目提供を促進する仕組みづくり、大学コンソーシアム京都だからこそできる、学生の多様な学びのニーズに応える「単位互換制度」を構築

#### 【重点施策】

- ① 京都ならではの新たな学びのフィールド、特色ある科目の拡充
  - ・ 「無形文化遺産」をテーマにした京都ならではの新たな展開
  - ・ 「京都世界遺産 PBL 科目」「京都ミュージアム PBL 科目」「グローバル科目」「オンライン科目」の拡充
- ② 大学間連携による新たな科目の展開
  - ・ 総合知を育む学びの機会として、単独では開講困難な大学間連携による新たな科目の展開
- ③ 広域単位互換の展開
  - ・ 各地に拠点をもつ大学コンソーシアム間による単位互換制度の検討
  - ・ 学びの選択肢の拡充、多様な学生との交流を通じた成長機会の創出
  - ・ 京都ならではの科目提供により、京都の魅力発信の機会

#### 【実績】

##### 1. 2024 年度単位互換科目への出願状況

###### (1) 協定大学・提供大学数について

	2024年度		2023年度 (参考)	
	協定大学数	提供大学数	協定大学数	提供大学数
大学	33	30	33	30
短期大学	9	6	9	7
合計	42	36	42	37

※短期大学部を併設しているところはそれぞれを別カウントした。

※後期科目数については前期で科目数を確定し後期は其中で再募集を行っている。

※後期の提供科目では 24 大学・短期大学部（前年度比・2 校）から計 119 科目（前年度比・10 科目）の募集がされ、2023 年度と比較して募集大学数・科目数ともに減少した。

(2) 単位互換への提供科目数について

補助金対象「プラザ・オンライン科目」		2024年度	2023年度	増減
対面授業（プラザ）		15	14	1
対面授業（プラザ）・オンライン併用		3	9	-6
オンラインのみ		10	23	-13
小計		28	46	-18
補助金対象外		2024年度	2023年度	増減
対面授業（オンキャンパス）		295	268	27
対面授業（オンキャンパス）・オンライン併用		16	26	-10
その他		0	1	-1
小計		311	295	16
総計		339	341	-2

※総提供科目に占める補助金対象科目 8.25%

(3) 単位互換科目への出願者数及び履修許可者数について

	募集科目数	延べ出願者数	延べ出願者数 前年度比	延べ履修許可者数	延べ履修許可者数 前年度比
前期	339	875	-3	705	-53
	341	878	135	758	148
後期	119	381	33	290	44
	129	348	133	246	108
合計	339	1256	30	995	-9
	341	1226	268	1004	256

※下段は、前年度実績

※後期科目数については前期で科目数を確定し後期は其中で再募集を行っている。

(4) 現状分析（特徴的な傾向）

- ・2024年度単位互換提供科目数は339科目（前年度当初提供科目比：99%）でほぼ横ばい
- ・対面科目が増加・オンライン科目は減少傾向（コロナ禍収束の影響とみられる）
- ・延べ出願者数に対する履修許可率（延べ履修許可者数／延べ出願者数）は減少傾向

(5) 2025年度以降に向けた取組と課題

- ・受講場所に左右されないICTを活用した教育効果の高いオンライン科目の提供拡充

2. 2024年度京都世界遺産PBL科目・京都ミュージアムPBL科目の履修登録・科目実施状況

(1) 履修登録状況

京都世界遺産PBL科目：

- ・2015年度に6大学・6世界遺産による7科目からスタートし、10年目
- ・2024年度は6大学6世界遺産7科目を提供、111名が受講

京都ミュージアムPBL科目：

- ・2020年度にスタートし、5年目
- ・2024年度は、1大学・1受入先1科目を提供予定であったが、科目提供元大学の事情（受講生不足）により不開講

(2) 2024年度京都世界遺産PBL科目・京都ミュージアムPBL科目の特別講座、成果発表等

1) インタビュートレーニング、プレゼンテーショントレーニングについて

- ・対象科目の日程（開講期）が、前期・後期・集中と統一しておらず、学生が一堂に会して受講することが困難であること、2023年度に公開期間を限定した上でオンデマンド配信を行っ

たところ、繰り返し視聴している学生がおり、かつ満足度も高かったことから、2024年度はオンデマンド配信にて実施

- ・講師は昨年度と同様、元NHKアナウンサーの森吉弘氏（帝京大学共通教育センター特任准教授）

2) 成果報告会について

- ・12月8日（日）に対面で開催

(3) 現状分析（特徴的な傾向）

- ・世界遺産PBL科目は例年とほぼ同様、昨年度に比して減（20名←26名）
- ・ミュージアムPBL科目は1科目のみ開講予定であったが、受講生不足により不開講

(4) 2025年度以降に向けた取組と課題

- ・学生にとって魅力ある科目の提供が必要か（PBLというワードが時代遅れの可能性）
- ・オンライン科目・集中講義科目にシフトすべきか
- ・既存の枠（世界遺産・ミュージアム）にとらわれない、学生ニーズの高い科目創出が必要か
- ・第1回教育事業企画検討委員会（2024.7.19開催）2025年度にプラザ推奨科目として「京都をつなぐ無形文化遺産科目」「京都地域志向科目」を新規開設することを決定。
- ・第1回単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議を书面開催（2024.7.31メール配信）し、各大学の事務担当者に対して2024年度単位互換事業に関する実施状況を報告するとともに、2025年度単位互換事業に関する各種補助金の申請手続き等について説明を行った。10月末まで申請受付を行い、教育事業企画検討委員会において審査及び採択を行った。
- ・加盟校からの要請を踏まえて、「京都をつなぐ無形文化遺産科目」新規開発（2026年度開講予定）のための打合せ開始（加盟校・明日の京都・財団）

3. 2025年度「プラザ推奨科目」について

- ・2024年度第2回教育事業企画検討委員会において、申請された全13科目が採択（継続開講10科目、新規開講3科目）

4. グローバル科目の開設及び求められるeラーニングの仕組みづくり

(1) グローバル科目の開設について

- ・2023年度に「英語で学ぶ科目」、2024年度に「国際共修科目」の提供を開始
- ・2024年度の提供科目数は「英語で学ぶ科目」2科目、「国際共修科目」3科目

区分	科目名	提供元大学	受講者数 (単位互換生)
英語で学ぶ科目	Introduction to Peace Studies	立命館大学	3
	Sustainability Studies	龍谷大学	1
国際共修科目	Special Lecture 1A(RYUKOKU Criminology)	龍谷大学	0
	世界の教育 A	京都教育大学	1
	世界の教育 B	京都教育大学	0

(2) eラーニングの仕組みづくりについて

- ・2020年度にオンライン講義の科目提供を促進すべく「プラザ・オンライン科目」を制定し、キャンパスプラザ京都実施とオンライン実施を併用する科目、及びオンライン実施のみの科目にも対象を拡大
- ・2023年度から「プラザ・オンライン科目」に該当する科目の提供促進策として、科目運営補助金を3万円から5万円に増額するとともに加盟大学が専任教員の有無に関わらず科目を提供できるよう申請要件を見直した。

5. 教職等資格取得に必要な科目の履修を支援する単位互換科目充実
  - ・日曜日に集中講義形式で行うプラザ科目（「教職日曜講座」）として京都教育大学から提供
  - ・これまでの受講者数等を勘案し、2023年度から平日にオンキャンパス科目として提供
6. 広域単位互換について
  - ・2025年度より広域単位互換ネットワークに参画するにあたり、京都からは5科目提供する。

## (2) 産学連携教育事業（旧インターンシップ事業）（Field I）

### 【概要】

1998年度より大学と企業・団体の連携により、就業体験の域を超えた実践から「働く」を考えるキャリア教育プログラムとして開始

「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方」（三省合意改正）により、インターンシップをめぐる環境が大きく変化（インターンシップ事業から産学連携教育事業へ名称変更）

コロナ禍を経て、2021年度より事前・事後学習等をオンラインで実施するなど、社会状況に柔軟に対応した運営体制の構築

コロナ禍以降続く社会変化に対応し、学生の成長と企業・団体の活性化に寄与するプログラムを引き続き展開

### 【重点施策】

- ① オンラインツールの活用等による双方向の教育実践の取組の進化
  - ・2021年度以降培ってきたオンラインツールを活用した運用の経験をもとに、オンラインツールのメリットを最大限活用し、コーディネーターと連携しながら、実習生を指導・サポート
- ② 複数の企業・団体が連携する等による受入先の拡充
  - ・単独では実習生を受け入れることが条件的に困難な企業等があることを踏まえ、複数の企業・団体が連携して実施する実習プログラムの開発
- ③ 受入先企業・団体と大学との接点の拡大
  - ・受入先が設定する人材育成、組織の活性化、社会貢献などの目標・課題を大学と共有すること、受入先と大学の結びつきの強化を目的に、「受入先実習プログラム研究会」の一層の促進

### 【実績】

#### 1. 広報

##### (1) HP等

産学連携教育プログラム・ポータルサイトに全ての情報を集約し、情報発信

##### (2) 出向ガイダンス

3月8日（金）	京都女子大学	
4月10日（水）	京都産業大学	
4月10日（水）	京都ノートルダム女子大学	
4月11日（木）	花園大学	
4月17日（水）	京都府立大学	
4月17日（水）	京都外国語大学	
4月19日（金）	京都光華女子大学	計7大学（2023年度10大学）

##### (3) オンライン説明会

###### 1) プログラム説明会・相談会

開催日時：4月13日（土）18：00～20：30

参加者数：出席64名/申込96名（2023年度182名）

協力者（修了生）：10名（2023年度10名）

- 2) プロジェクト企画実践コース説明会・相談会  
 開催日時：4月18日（木）18：00～20：10  
 参加者数：出席12名/申込23名（2023年度33名）  
 協力者（修了生）：2名（2023年度2名）

2. 出願・受入状況

出願期間：4月12日（金）～5月10日（金）10：00→11日（土）10：00延長

(1) 2024年度コース別出願者数 / 登録団体・受入団体数 ( ) 内は2023年度実績

コース名	学生				企業・団体							
	出願者数		実習許可者数		登録団体数		受入れ率					
エクスターン/ビジネス	136	(178)	78	(104)	71	(100)	99	(97)	44	(54)	44.4%	(55.7%)
エクスターン/パブリック			44	(49)	40	(40)	30	(33)	21	(20)	70.0%	(60.6%)
プロジェクト企画実践	23	(15)	20	(15)	19	(13)	10	(12)	8	(6)	80.0%	(50.0%)
合計	159	(193)	142	(168)	130	(153)	139	(142)	73	(80)	52.5%	(56.3%)

【参考】登録企業・団体内訳

	継続		復活		新規	
エクスターン/ビジネス	86	(84)	9	(3)	4	(10)
エクスターン/パブリック	29	(29)	1	(2)	0	(2)
プロジェクト企画実践	7	(11)	1	(1)	2	0
合計	122	(124)	11	(6)	6	(12)

【参考】2023年度受入先のうち2024年度は登録見送り企業・団体（全18件）

	ビジネス	パブリック	プロジェクト企画実践
人員不足のため	6	4	5
事業再編のため	2	0	0
インターンシップのあり方等を検討しているため	1	0	0
合計	9	4	5

(2) 学年別 出願者数と受講率 ( ) 内は2023年度実績

学年	出願者数				実習許可者数				受講率	
	人数		全体に占める割合		人数		全体に占める割合			
1年次(回生)	17	(10)	10.7%	(5.2%)	16	(9)	11.3%	(5.4%)	94.1%	(90.0%)
2年次(回生)	46	(54)	28.9%	(28.0%)	42	(53)	29.6%	(31.5%)	91.3%	(98.1%)
3年次(回生)	91	(122)	57.2%	(63.2%)	80	(101)	56.3%	(60.1%)	87.9%	(82.8%)
4年次(回生)	2	(4)	1.3%	(2.1%)	1	(3)	0.7%	(1.8%)	50.0%	—
5年次以上(回生)	1	(0)	0.6%	(0.0%)	1	(0)	0.7%	(0.0%)	100.0%	—
大学院生	2	(3)	1.3%	(1.6%)	2	(2)	1.4%	(1.2%)	100.0%	(66.7%)
合計	159	(193)	100.0%	(100.0%)	142	(168)	100.0%	(100.0%)	89.3%	(87.0%)

(3) 2024年度受入先登録企業の業種内訳

業種	2024年度	2023年度	増減
製造（食品）	6	4	2
製造（アパレル・繊維）	1	1	0
製造（電気機械設備）	6	5	1
製造（半導体・精密機器）	2	3	-1
製造（化学）	1	1	0
製造（その他）	3	3	0
マスコミ・広告・印刷・出版	8	9	-1
情報・通信・IT	5	7	-2
運輸・物流	1	0	1
商社・卸売	3	3	0
小売・販売・専門店	7	5	2
金融・証券・保険	5	5	0
不動産・建築設計	11	10	1
士業（法律・会計事務所）	4	4	0
コンサルティング・調査・研究	3	4	-1
デザイン	1	1	0
ホテル・旅館	9	4	5
ブライダル	0	0	0
観光・旅行	4	4	0
エンタテインメント	1	1	0
レジャー・アミューズメント	2	3	-1
教育（学校・大学等）	13	14	-1
医療・福祉	5	6	-1
安全・メンテナンス・清掃	2	2	0
人材ビジネス	1	3	-2
その他	3	2	1
官公庁	18	19	-1
非営利組織	14	19	-5
合計	139	142	-3

4. プログラムの進捗状況

(1) エクスターンシップ（就業体験）コース

6月22日（土）から初回講義がスタートし、9月14日（土）の講義をもって全4日間の講義が終了した。講義内では、実習経験交流会として受入先担当者も交えながら、業種の異なる5～6のゼミクラスが集まり、実習で得た経験や気づきをゼミクラス毎に発表した。

本年度は、台風10号の接近に伴い、一部受入先での実習期間・内容の変更を余儀なくされた。

(2) プロジェクト企画実践コース

6月20日（木）から対面による初回講義がスタートし、11月9日（土）のプロジェクト・プレゼンテーションにて、これまでの成果を発表し、約5カ月のプログラムを終えた。昨年度同様、これまでの講義はすべて対面にて開催したが、受入先の利便性等を踏まえ、オンライン参加も可能な体制を整えた。

5. 受入先実習プログラム研究会

2025年2月14日（金）開催

## 6. 2025年度以降に向けた取組と課題

- ・応募者数と受入企業拡大に向けて、府・市とのこれまで以上の協力関係を構築し、プログラムの充実だけではなく、行政が抱える課題解決に向けたスキームの検討を行う
- ・学生や受入企業・団体とのやりとりは、現状、ポータルサイト・メール・郵便と管理が煩雑になっているため、ポータルサイトへの集約し、相互連絡の効率化を図るべく検討を行う
- ・プロジェクト企画実践コースの講義計画を受入先とも協議しながら変更
- ・京都市との連携強化のもと、受講生の経済負担を軽減（受講料無料）するとともに、受入企業を中心に受講生との交流の場を9月中旬ごろに設定予定

## 7. 財団における受入状況について

2024年度の受入はゼロ

## (3) 生涯学習（京カレッジ）事業（Field I）

### 【概要】

「18歳人口減少」「人生100年時代」「Society5.0」「DX」など社会背景が大きく変化  
こうした変化のもと、ウェルビーイングの実現への寄与を目的に「京カレッジ」「リカレント教育プログラム」「京都学講座」の充実・開講  
レイヤーを問わず、人々が自発的意思に基づき「自己の充実」「生活の向上」「職業能力の向上」のため、自ら学ぶ内容を選び取ることができる「京カレッジ」の構築を目指す

### 【重点施策】

- ①京カレッジ科目・講座の充実
  - ・新たな学びの機会拡充を目指し、科目・講座を提供する加盟校への支援制度の充実、受講者ニーズを踏まえた講座体系の整備や受講機会拡充に向けたとりくみ
- ②新たな大学連携講座の検討
  - ・加盟校の特色を活かした「大学リレー講座」の進化を目指し、多角的な視点に基づくテーマ設定の検討
- ③大学リカレント教育の取組の支援
  - ・課題（産業界のニーズ把握、プログラムの企画、受講生募集広告、運営上の問題）や加盟校のGPの共有機会の創出など加盟校のリカレント教育推進に寄与
- ④リカレント教育プログラムの充実
  - ・産官学民のニーズを把握し、時流にそった大学教職員へのリカレント教育等大学間連携組織ならではのプログラムの検討

### 【実績】

#### 1. 2024年度生涯学習事業「京カレッジ」出願状況について

##### (1) 提供科目数・出願者数・受講許可者数等について

提供科目の89.3%（158科目）が大学講義だが、内出願があったのは80科目。

市民教養講座（J）は2019年度提供30科目出願308名、2020年度19科目121名、2021年度13科目100名、2022年度8科目106名、2023年度6科目62名と年々減少傾向にあったが、2024年度は7科目116名と増加（前年度比187.10%）に転じた。

市民教養講座における京都力養成コース（K）は、出願者全体の53.7%を占めている。出願者数は、2020年度提供7科目出願624名、2021年度6科目801名、2022年度5科目798名、2023年度6科目812名と偏移してきたが、2024年度6科目545名と大幅減となった。例年と同様に過半数を超える割合となっているが、京都学講座への出願減が響いた形となっている。

リカレント教育プログラムは、2022年度2科目81名、2023年度3科目209名、2024年度4科目117名となった。

分野	提供科目数		出願のあった科目		出願者数（人）		2023年度 出願者 人数（割合）	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
大学講義（A～I）	158	88.8%	80	82.5%	229	20.2%	205	15.0%
市民教養講座（J）	7	3.9%	4	4.1%	116	10.3%	62	4.5%
市民教養講座 京都力養成コース（K）	6	3.4%	6	6.2%	545	48.2%	812	59.3%
市民教養講座 教養力養成コース（L）	3	1.7%	3	3.1%	124	11.0%	81	5.9%
リカレント教育プログラム	4	2.2%	4	4.1%	117	10.3%	209	15.3%
合計	178	100%	97	100%	1,131	100%	1,369	100%

※後期出願は、前期出願にて定員に満たなかった科目を中心に 51 科目（前年度 45 科目）の提供を受け、7 月 13 日に募集情報を公開し、8 月 6 日（火）～8 月 20 日に出願受付（8 月 20 日のみ持参受付）→新規出願者数は 4 名（前年度 13 名）、延出願者数は 14 名（18 名）

※5 分野で大学講義・公開講座を提供

- ①大学講義（A～I）：単位修得も可能な科目（科目等履修生・聴講生）
- ②市民教養講座（J）：健康・芸術・文化など幅広く学べる講座
- ③市民教養講座 京都力養成コース（K）：京都をより深く学べるコース
- ④市民教養講座 教養力養成コース（L）：フィールドワークを通じて文化力・地域力（地域人材の育成）の向上を目的としたコース
- ⑤リカレント教育プログラム（R）：働く世代に向けて企画した、スキルを高め視野を広げるための講

(2) 2025 年度「京カレッジ」科目提供及び出願について

提供科目は 167 科目。90.4%（151 科目）が大学講義だが、内出願があったのは 64 科目であり全体を通して年々減少傾向にある。

(3) 2025 年度以降に向けた取組と課題

- ・出願受付・科目運営のオンライン化／ペーパーレス化
- ・提供分野／科目の偏り
- ・「京都市との”共催”事業」としての在り方

2. 2024 年度京都学講座「新しい京都の観光－誰もが満足できる持続可能な観光をめざして－」実施状況について

(1) 「京カレッジ」京都学講座開講記念講座の実施について

2024 年 3 月 2 日（土）、川島 智生 氏（神戸情報大学院大学 客員教授）のコーディネートのもと、山上 徹 氏（同志社女子大学 名誉教授）を講師に迎え、「古都・京都観光の持続可能な発展を考える－オーバーツーリズムを超えて－」をテーマに開催した。  
申込総数 289 件の中から抽選により 260 名の受講者を決定した。

(2) 基本講座及び実地講座の実施状況について

- 1) 2024 年度の定員は、2023 年度の 400 名から 500 名に変更して募集した結果、出願者数は 380 名であった（2023 年度は 650 名）。時勢にあった「オーバーツーリズム」という講座テーマを設定したものの、コロナ禍前の 2019 年度水準（523 名）に迫る出願者数を確保することはかなわなかった。
- 2) 当選者・落選者に案内を送付し、受講料納付を経て 362 名の受講が決定した。

(3) 2025 年度以降に向けた取組と課題

- ・現在、同日に「午前コース」「午後コース」の 2 回同じ内容の講座を開催しているが、受講者の選択の幅を増やす点において利点はあるが、講師の負担や時間的制約も踏まえ、1 回のみ開催を検討

する。ただし、広く受講いただくという観点から開催場所についてはキャンパスプラザに拘らず、500名程度のキャパシティがある会場を検討する。

- ・現在、受講料 10,000 円（基本講座 10 回分）を徴収しているが（実地講座 2 回は別途徴収）、オンラインシステムでの出願者に対して受講料を割引く”ネット割”の導入も検討を進める。加えて、昨今の経済状況を踏まえ、広く受講の機会を提供するという観点から受講料そのものの金額も見直す。
- ・受講生アンケートの回答には、オンライン受講に対する要望も一定数あることから、オンラインやハイブリッド対応の可能性についても引き続き検討する。
- ・引き続きキャンパスプラザで開講する場合、受講者の定員数についても見直す。現在、250 名（施設収容定員 289 名）としているが、実際の着席状況を踏まえれば、適切ではない。当日の欠席者も 1 割程度いることを踏まえ、200 名程度とする。
- ・7 月 24 日（水）に第 1 回京都学企画検討委員会を開催し、次年度のプログラムについて企画検討を開始した。次年度は「京都×昭和 100 年」（仮）を総合テーマに、今後、特別企画（2025 年 3 月上旬）の開催有無、オンライン（オンデマンド配信を想定）での実施可能性を探りつつ、講師の選定・依頼を行う予定で検討が進められた。
- ・京都学講座の知名度向上等を目的とした「特別講座」を、その目的を一定程度達したと判断し、開講しないこととする。テーマは、昭和 100 年をテーマに従来通りの形態で開講する。

### 3. 2024 年度大学リレー講座の実施状況について

#### (1) 実施状況について

2023 年度第 2 回教育事業企画検討委員会（2023.11.7 開催）において 2024 年度の実施方針等が承認され、2023 年 12 月 11 日（月）を期日として募集した結果、10 大学 1 短期大学による計 11 講座が決定した。各大学はシニア層の多い京カレッジ利用者の関心度の高い京都学、宗教、歴史、文学、健康のテーマで、教育研究の特色や事業の PR を行う。市民からの認知度も上がっており、平均受講者数は 2022 年度約 131 名、2023 年度約 107 名であった。

2023 年度に引き続き、各回で定員を 200 名に設定するとともに、事前申込制にて実施した結果、2024 年度の平均受講者数は 104 名と前年度を若干下回った。

#### (2) 2025 年度以降に向けた取組と課題

これまで、京カレッジを利用する学習に意欲的な 60～70 才代を中心とした市民層が主に受講してきた講座ではあるが、今後は高大連携事業（高等学校の学びを大学での学びへ繋げる橋渡し）の一環としての展開・活用も前向きに検討していきたい。

## (4) リカレント教育事業（Field II）

### 【概要】

キャリアデザイン、多様なライフスタイルやライフステージに応じた生き方や働き方を求めて行う「社会人の学び直し」を意味するリカレント教育が脚光を浴びている

産官学民との連携を深め、社会人ニーズにマッチしたプログラム開発のための情報集約に注力

講座を通じて涵養された知識等を職場での評価や個々のキャリアデザインに活用できるように学修成果の可視化に取り組んでいく

### 【重点施策】

#### ①産官学民のリカレント教育のニーズ把握・企画開発のための情報集約

- ・京都地域のリカレントを検討・推進する「京都府リカレント教育推進機構」との連携を深め、社会人の学び直しに効果的なプログラム開発のためのニーズ把握・情報集約

#### ②リカレントポータルサイトの充実

- ・「KYOTO リカレントプラス」のメニューの豊富化と積極的な情報発信

#### ③講座修了者へのデジタル証明書の発行

- ・プログラムを通じて得た成果や学習履歴等を可視化する「オープンバッジ」を行政とも連携して早期導入を目指す
- ・可視化は、学習意欲の向上のみならず、学歴では図ることができない一人ひとりの能力や経験知の多面的な評価軸となり、キャリアデザインの指標となりうる

## 【参考】

第5ステージプランとして大学におけるリカレント教育を推進するため、2019年6月25日第1回教育事業企画検討委員会において、財団のリカレント教育の推進方針（定義とビジョン）と「リカレント教育企画検討委員会」の設置と役割について決定した。

### ○財団で検討するリカレント教育の定義

「現役で働く人・世代」が、教養的なものよりも、様々な職種での力量形成を含めた「働くことに係る学び直しや継続的な学び」とする。

### ○財団のリカレント教育推進のビジョン

10年後の京都の大学が、「生涯を通して学びたいときに学びたいものを学ぶための大学」として、多くの社会人の知的好奇心に応えることに留まらず、各年齢段階の多様な職業、社会での様々な役割を持つ人に対して、人生の現在と未来において、どのように仕事をしていくかという学びの場としても機能していること。このリカレント教育の展開によって、「大学のまち京都、学生のまち京都」として、「学生と社会人の学び合い」が盛んに行われ、そこで取り組まれる新たな価値の創造を通じて、京都の各大学が持続的に人材育成力を高めていること。財団はこのビジョンの下、加盟校支援と加盟校の取り組みをリードする事業を行う。

## 【実績】

### 1. 実施状況について

#### (1) 「現代の教養講座-宇宙移住に向けた社会構築-」※前半プログラム

申込期間：2024年4月1日～5月16日

定員：100名（応募状況41名 2024年5月30日時点）

「現代の教養講座-宇宙移住に向けた社会構築-」※後半プログラム

申込期間：2024年4月1日～9月12日

定員：100名（応募状況24名 2024年7月30日時点）

#### (2) 「働く人のためのデータサイエンス講座-現場で使える機械学習-」

申込期間：2024年4月1日～5月18日

定員：30名（応募状況21名 2024年5月30日時点）

#### (3) 「対人援助のフロンティア-よりよく生きるための支援とは何かを考える-」（オンデマンド）

申込期間：2024年8月1日～11月15日

定員：100名（応募状況21名 2024年11月28日時点）

#### (4) 「キャリアデザインー人生100年以時代、自らのキャリアプランをデザインしようー」（中止）

※2025年度の本格実装に向けて期中に実施

日時：2024年11月23日（土・祝）10：00～16：00（全5コマ）

場所：キャンパスプラザ京都4階 第4講義室

申込期間：10月31日まで

定員：32名

### 2. 2025年度以降に向けた取組と課題

- ・学び直しに対する評価の浸透およびこれに伴うオープンバッジ作成
- ・出願者が受講しやすい開講形態について検討
- ・ポータルサイトを中心とした広報の検討（チラシの縮小）
- ・広報ターゲットと方法の検討（個人から組織へ）

## 教育事業部 実施スケジュール (主要事項)

※委員会開催日時は除く

### (1) 単位互換事業 (Field I)

- 4月5日(金) 単位互換科目出願期間 3/5～出願開始
- 4月12日(金) 単位互換履修可否通知

### (2) 産学連携教育事業 (旧インターンシップ事業) (Field I)

- 4月10日(水) 京都産業大学出向ガイダンス
- 4月10日(水) 京都ノートルダム大学出向ガイダンス
- 4月11日(木) 花園大学出向ガイダンス
- 4月12日(金) 産学連携教育プログラム出願受付開始 ～5月10日(金)
- 4月13日(土) 大学生向けプログラム説明会・相談会 (全コース対象)
- 4月17日(水) 京都府立大学出向ガイダンス
- 4月17日(水) 京都外国語大学出向ガイダンス
- 4月18日(木) 「プロジェクト企画実践コース」説明会・相談会
- 4月19日(金) 京都光華女子大学出向ガイダンス
- 5月10日(金) 産学連携教育プログラム出願受付終了
- 5月17日(金) 産学連携教育プログラム選考面接①
- 5月18日(土) 産学連携教育プログラム選考面接②
- 6月20日(木) プロジェクト企画実践コース講義①
- 6月22日(土) 事前学習① (エクスターン (就業体験) コース)
- 6月27日(木) プロジェクト企画実践コース講義②
- 7月4日(木) プロジェクト企画実践コース講義③
- 7月6日(土) 事前学習② (エクスターン (就業体験) コース)
- 7月11日(木) プロジェクト企画実践コース講義④
- 7月13日(土) 事前学習③ (エクスターン (就業体験) コース)
- 7月13日(土) 事前学習レポート受付開始～7月20日(土)
- 7月18日(木) プロジェクト企画実践コース講義⑤
- 7月20日(土) 事前学習レポート終了
- 9月5日(木) プロジェクト企画実践コース講義⑥
- 9月14日(土) 事後学習 (エクスターン (就業体験) コース)
- 9月14日(土) 事後学習レポート受付開始～9月28日(土)
- 9月28日(土) 事後学習レポート受付終了
- 10月3日(木) プロジェクト企画実践コース講義⑦
- 10月10日(木) プロジェクト企画実践コース講義⑧
- 10月24日(木) プロジェクト企画実践コース講義⑨
- 11月9日(土) プロジェクト企画実践コース講義⑩ (プレゼンテーション・修了式)

### (3) 生涯学習 (京カレッジ) 事業 (Field I)

- 3月2日(土) 出願受付開始 (WEB・郵送) ～15日(金)
- 3月14日(木) ・15日(金) 持参出願期間
- 7月13日(土) 後期募集科目発表
- 8月6日(火) 後期出願受付開始 ～20日(火)
- 8月20日(火) 持参受付

京都学講座「新しい京都の観光－誰もが満足できる持続可能な観光をめざして－」

		テーマ －サブタイトル－	講師	受講者 数
特別	3/2	古都・京都観光の持続可能な発展を考える	山上 徹 川島 智生	191
基本 ①	5/11	アニメツーリズムの今、そしてこれから －「聖地化」の観点から京都を見る－	山本 寛	AM 183 PM 128
基本 ②	5/25	オーバーツーリズム最新事情から見る新たな課題 －鎌倉・ヴェネチアなど国内外の例を中心に－	佐滝 剛弘	AM 163 PM 129
基本 ③	6/8	着地型観光にみる一步進んだ観光形態と将来性 －郊外型観光から街中観光へ－	山村 純也	AM 173 PM 122
基本 ④	6/22	「光る君」の生きた京都 －再生する『源氏物語』の世界－	須藤 圭	AM 174 PM 118
基本 ⑤	7/13	近代初頭における京都観光と京名所 －国内外の旅行者は京都で何を観て、体験したのか？－	長谷川 奨悟	AM 162 PM 115
基本 ⑥	9/21	みんなで作る京都観光 －市民、観光客、観光事業者・従事者、そして未来。 “四方よし”の持続可能な観光へ－	牧山 安弥子	AM 158 PM 104
基本 ⑦	10/12	京都の観光政策の過去・現在・未来 －持続可能な京都観光をめざして－	若林 靖永	AM 134 PM 110
基本 ⑧	11/9	ダークツーリズムの可能性 －新しい京都の可能性－	井出 明	AM 143 PM 104
基本 ⑨	11/30	ツーリストシップで問う、新しい旅行の仕方 －ツーリストにも、スポーツマンシップのようにシッ プなるものがあれば？－	田中 千恵子	AM 137 PM 95
基本 ⑩	12/21	みんながしあわせになる 京都観光 －『持続可能な京都観光に関する 83 指標』を考察する －	豊田 陽 川島 智生	AM 133 PM 101
実地 ①	7/20	町衆が担う祇園祭の実態と見所とは －山鉦巡行以外の祇園祭の楽しみ方－	山村 純也	AM 25 PM 26
実地 ②	12/12	京都観光のメッカ清水にある歴史的建造物を守って －京都を代表する洋風住宅 清水 五龍閣－	上田 闊三郎 川島 智生	

大学リレー講義

		テーマ	大学	講師	受講者数
①	5/4	『源氏物語』を読む－裏の主題と影 の主演－	佛教大学	神原 勇介	215
②	5/18	健康寿命延伸に向けた食品の持つ栄 養や機能性について	京都先端科学大学	藤田 裕之	107
③	6/29	仏典は言い訳する	京都文教大学	平岡 聡	157
④	8/24	和歌から見る平安人の暮らしとこ ころ	花園大学	鎌田 智恵	132
⑤	9/28	年齢はただの数字でしかない ～100歳時代を健康に生きる運動と 食～	京都文教短期大学	森井 秀樹	107
⑥	10/19	嵯峨大念佛狂言を知る	嵯峨美術大学	芳野 明	114
⑦	10/26	天平の僧・行基菩薩とその社会救済	種智院大学	佐伯 俊源	112
⑧	11/2	やさしい哲学的幸福論	大谷大学	西尾 浩二	88
⑨	12/7	サンタクロースの文化人類学	平安女学院大学	高橋 義人	92

⑩	12/14	"富良野はなぜ観光地になったのか？—観光地化・地域活性化に向けての可能性—"	同志社女子大学	天野 太郎	76
⑪	2/22	陶芸家・石黒宗磨が遺した工房と陶片	京都精華大学	中村 裕太 米原 有二	32

#### (4) リカレント教育事業 (Field I)

- 5月16日(木) 「現代の教養講座-宇宙移住に向けた社会構築-」(前半プログラム) 申込締切  
5月18日(土) 「働く人のためのデータサイエンス講座-現場で使える機械学習-」 申込締切  
9月12日(木) 「現代の教養講座-宇宙移住に向けた社会構築-」(後半プログラム) 申込締切  
10月31日(木) 「キャリアデザイン-人生100年時代、自らのキャリアプランをデザインしよう-」 申込締切  
11月15日(金) 「対人援助のフロンティア-よりよく生きるための支援とは何かを考える-」 申込締切

「現代の教養講座-宇宙移住に向けた社会構築-」

前半プログラム【定員100名 出願者42名 受講者35名】

			講師	受講者	見逃し
①	6/6	宇宙移住に向けたコアソサエティの条件(I)	山敷 庸亮	17	33
②	6/13	超速でわかる！宇宙ビジネス	片山 俊大	11	28
③	6/27	宇宙居住のための人工重力研究	大野 琢也	7	19
④	7/18	サーキュラーエコノミーが拓く宇宙移住	大貫 美鈴	6	20
⑤	7/25	宇宙環境での人体への影響～宇宙医学から宇宙居住を考える～	寺田 昌弘	3	17

後半プログラム【定員100名 出願者24名 受講者16名】

			講師	受講者	見逃し
①	10/3	宇宙移住に向けたコアソサエティの条件(II)	山敷 庸亮	5	15
②	10/17	月に持続的な社会をつくる・・・人類の宇宙進出について考える	稲谷 芳文	4	10
③	10/31	民間が続々参入する有人宇宙分野の世界トレンド(対面・オンラインで開催)	森 裕和 山敷 庸亮	3	15
④	11/7	宇宙移住に向けた国際宇宙法	青木 節子	4	13
⑤	11/14	こころの進化と宇宙	足立 幾磨	3	8

「働く人のためのデータサイエンス講座-現場で使える機械学習-」

【定員30名 出願者22名 受講者18名】

			講師	対面	オンライン	見逃し
①	6/8	機械学習概論	黄 宏軒	4	8	12
②		決定木	黄 宏軒	4	8	9
③		バイズ識別	大塚 琢馬	4	8	11
④	6/29	パターンマイニング	馬 強	2	7	15
⑤		ロジスティック識別	桂井 麻里衣	2	7	7
⑥		サポートベクトルマシン	桂井 麻里衣	2	7	7
⑦	7/13	ニューラルネット	宮森 恒	3	6	3
⑧		深層学習	宮森 恒	3	6	2
⑨		生成系 AI	宮森 恒	3	6	2

「対人援助のフロンティア-よりよく生きるための支援とは何かを考える-」

【定員 100名 出願者 21名 受講者 20名】

		テーマ	講師	受講者数
①	オンデマンド	対人援助職の受援 -COVID-19、能登半島地震の経験を通して-	黒瀧 安紀子	20
②		対人援助における心身の健康と精神栄養学的アプローチ	井戸 由美子	
③		生まれた家庭から離れて暮らす子どものライフストーリーワーク	徳永 祥子	
④		人間的な刑事裁判を目指して～治療的司法の取り組み	西谷 裕子	
⑤		ヤングケアラー/ケアラーの視点から考える家族まるごと支援	斎藤 真緒	
⑥		「多文化」カウンセリングとマイクロアグレッション： ラポール形成を阻害する無自覚な差別の存在	丸一 俊介 朴 希沙	
⑦		第三者に何ができるか！？ -目の前で起きるハラスメントへの介入方法を学ぶ	西井 開	
⑧		学生ジョブコーチによる就労支援の取り組みから考える 対人援助	中鹿 直樹	
⑨	12/5	対人援助のフロンティア	中村 正	10

「キャリアデザイナー-人生 100年以時代、自らのキャリアプランをデザインしよう-」（中止）

【定員 32名 出願者 8名 受講者 0名】

		テーマ	講師	受講者数
①	11/23	キャリアに関する考え方の変化とキャリアデザインの必要性を理解する	皆川 恵美	0
②		キャリアの棚卸を行い、大事にした価値観や興味、関心事を再認識する		
③		キャリアプランを考える		
④		自らのキャリアビジョン・プランを語る		

## 教育事業部 各種委員会

### (1) 単位互換事業 (Field I)

#### ・教育事業企画検討委員会

##### 【委員会構成】

委員長	石倉 忠夫	大学コンソーシアム京都 教育事業部長、同志社大学 スポーツ健康科学部 教授
	阿部 一晴	京都光華女子大学・短期大学部 キャリア形成学部 教授
	仲宗根 充修	京都文教短期大学 ライフデザイン総合学科 准教授
	西尾 浩二	大谷大学 文学部 哲学科 講師
	米本 昌史	京都精華大学 デザイン学部 教授
	稲森 裕実	立命館大学 教学部 事務部長 (6月1日付)
	谷川 悟史	京都橘大学 教学事務部 部長

##### 【開催日程・主要議題】

2024年7月19日 第1回 次年度学年暦、プラザ推奨科目等の方針確認  
2024年12月

## (2) 産学連携教育事業（旧インターンシップ事業）（Field I）

### ・産学連携教育プログラム事業企画検討委員会

#### 【委員会構成】

委員長	古川 秀夫	龍谷大学 国際学部 教授
副委員長	多田 実	同志社大学 政策学部 教授
	桜沢 隆哉	京都女子大学 法学部 教授
	濱田 崇嘉	龍谷大学 経営学部 准教授
	黒宮 一太	京都文教大学 総合社会学部 准教授
	坂本 清彦	龍谷大学 社会学部 准教授
	木下 翔吾	大谷大学 学生支援部キャリアセンター
	中西 善彦	京都先端科学大学 インターンシップ推進課
	青柳 祐	立命館大学 キャリアオフィス（衣笠）
	代崎 拓也	京都文教大学 就職部就職進路課
	渡邊 直裕	京都産業大学 キャリア教育センター
	石川 武	喜一工具株式会社 代表取締役社長
	土肥 遥	大和電設工業株式会社

#### 【開催日程・主要議題】

- 2024年6月28日 第1回 2024年度出願及び受講許可等の状況、2025年度実施方針の策定に向けた課題について 他
- 2024年10月25日 第2回 成績基準について 他
- 2024年12月6日 第3回 成績基準について 他
- 2025年2月21日 第4回 京都市との連携 他

### ・産学連携教育プログラムコーディネーター会議(エクスターンシップ（就業体験）コース)

総合 コーディネーター	多田 実	同志社大学 政策学部 教授
	古川 秀夫	龍谷大学 国際学部 教授
チーフ コーディネーター	濱田 崇嘉	龍谷大学 経営学部 准教授
	黒宮 一太	京都文教大学 総合社会学部 准教授
	上田 修三	京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部 キャリア形成学部 教授
	加藤 康	京都経済短期大学 経営情報学科 教授
	岸岡 洋介	京都外国語大学 外国語学部 准教授
	古谷 伸子	大谷大学 社会学部 講師
	澤井 志保	京都産業大学 外国語学部 准教授
	須賀 涼太	京都産業大学 経営学部 助教
	関 智宏	同志社大学 商学部 教授
	高野 拓樹	京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部 キャリア形成学部 教授
	戸田 香	京都女子大学 ジェンダー教育研究所 助教
	平本 毅	京都府立大学 文学部 准教授
	松村 千鶴	京都府立大学 教職センター 特任教授
	三保 紀裕	京都先端科学大学 経済経営学部 教授
	山岸 達矢	京都橘大学 経済学部 准教授

#### 【開催日程・主要議題】

- 2024年4月11日 第1回 2024年度選考方針等について 他
- 2024年6月13日 第2回 2024年度コーディネーター担当ゼミクラスについて 他
- 2024年7月6日 第3回 「事前学習レポート」の確認・指導、事後学習に向けて 他

2024年9月12日 第4回 2025年度講義計画について  
 2024年10月17日 第5回 2025年度講義計画について 他

・産学連携教育プログラム コーディネーター会議(プロジェクト企画実践コース)

総合 コーディネーター	桜沢 隆哉	京都女子大学 法学部 教授
チーフ コーディネーター	坂本 清彦	龍谷大学 社会学部 准教授
	小辻 寿規	立命館大学 共通教育推進機構 准教授
	築地 達郎	龍谷大学 社会学部 准教授
	西村 雅信	京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 准教授
	藤村 佳子	京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部 キャリア形成学部 准教授
	平賀 緑	京都橘大学 経済学部 准教授

【開催日程・主要議題】

2024年5月30日 第1回 2024年度出願・選考結果、講義計画について 他  
 2024年7月4日 第2回 2024年度各プロジェクト進捗状況について 他  
 2024年8月29日 第3回 2024年度各プロジェクト進捗状況について 他  
 2024年10月24日 第4回 2025年度講義計画について 他  
 2024年11月28日 第5回 2025年度講義計画について 他  
 2024年12月17日 第6回 2025年度講義計画について  
 2025年1月17日 臨時 2025年度講義計画について  
 2025年2月25日 臨時 2025年度講義運営について

**(3) 生涯学習（京カレッジ）事業（Field I）**

・京都学企画検討委員会

【委員会構成】

委員長	河原 典史	立命館大学 文学部 教授
	川島 智生	神戸情報大学院大学 客員教授
	加須屋 明子	京都市立芸術大学 美術学部 教授
	河野 道房	同志社大学 文学部 教授
	笹部 昌利	京都産業大学 文化学部 准教授
	中小路 正憲	京都市 総合企画局 総合政策室 大学政策課長

【開催日程・主要議題】

2024年7月24日 第1回 2025年度京都学講座テーマ  
 2024年10月30日 第2回 2025年度京都学講座テーマ・講師候補選定

**(4) リカレント教育事業（Field II）**

・リカレント教育企画検討委員会

【委員会構成】

委員長	中村 正	立命館大学 産業社会学部 特任教授
	石川 武	喜一工具株式会社 代表取締役社長
	岩佐 博人	オムロン株式会社 取締役室 室長

	大石 尚子	龍谷大学 政策学部 教授
	河原 宣子	京都橘大学 看護学部 教授
	中山 玲子	京都女子大学 副学長、地域連携研究センター センター長
	西川 千嘉子	京都市 総合企画局 総合政策室 大学政策部長
	寶珍 輝尚	京都工芸繊維大学 副学長、情報工学・人間科学系 教授
	武蔵 勝宏	同志社大学 政策学部 教授
	山田 正和	公益財団法人大学コンソーシアム京都 事務局長
	義本 知史	京都府 商工労働観光部 労働政策室 室長
	米本 昌史	京都精華大学 デザイン学部 教授

【開催日程・主要議題】

2024年7月26日 第1回 2025年度講座開講方針、2024年度トライアル講座

2025年2月28日 第2回 第5ステージリカレント教育事業総括 2025年度リカレント講座提案

・リカレント教育プログラムコーディネーター

コーディネーター	テーマ
石川 武 喜一工具株式会社 代表取締役社長	「現代の教養講座-宇宙移住に向けた社会構築-」
寶珍 輝尚 京都工芸繊維大学 副学長 情報工学・人間科学系 教授	「働く人のためのデータサイエンス講座-現場で使える機械学習-」
中村 正 立命館大学 産業社会学部 特任教授	「対人援助のフロンティア-よりよく生きるための支援とは何かを考える-」
岩佐 博人 オムロン株式会社 取締役室 室長	「キャリアデザイン-人生100年以時代、自らのキャリアプランをデザインしよう-」

以 上

### (1) FD事業

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

学修者本位の教育を提供するための教学マネジメントを支える基盤として、FD・SDの推進を図ることが求められている。

FD事業の運営にあたっては、フォーラムを担当する「FD・SDフォーラム企画検討委員会（2024年度からFDフォーラムにSDの要素を盛り込んだフォーラムを企画運営するため2024年4月より名称を変更）」およびフォーラム以外のFD事業を担当する「FD企画研究委員会」の2委員会体制で推進する。

##### ◆FDフォーラム

今年度で30回目を迎える。本財団の第6ステージを踏まえ、SD要素を踏まえたフォーラム開催に向けて、議論を進める。

加盟大学の情報発信を重視した運営や参加者間の交流に、これまでの経験を活かして取り組む。分科会での相互交流やポスターセッションによる情報発信についても、引き続き重視していくこととする。

##### ◆FD合同研修プログラム

FD合同研修プログラムでは、次の3つの事業を展開する。

###### ・大学執行部塾

6月下旬に行われる当財団理事会・評議員会・会員総会開催日に実施する。2020年度までは、各加盟校の学長等の大学執行部層のみを対象とする研修プログラムであったが、2021年度からは、大学執行部層以外も参加対象としオンラインで聴講できるように運用している。

###### ・テーマ別研修

新任教員やFDの基礎的な事項を学び直したいと考える教員や、FD関連部署に勤務する職員、またはFDに関心のある教職員を対象とした研修プログラムを実施する。加盟校教職員が抱える問題や課題をテーマとして設定し、ニーズに合った形態で実施する。

###### ・京都FD交流会

FDに関する様々なテーマのもと、加盟校教職員のFD活動における工夫や悩みを共有しながら課題の解決に向けたヒントを探り、加盟校の枠を越えた教職員の交流機会を提供する。年度内2回の実施を予定している。

##### ◆高等教育情報NAVI「教まちや」

加盟校をはじめとする教育機関が高等教育に関するイベント情報を収集する際のハブ機能を担うツールとして2014年度に開始した。(1)イベントの投稿・掲載、(2)教まちやNews(ブログ機能)、(3)メールマガジンの3つのコンテンツがある。「教まちやNews」に掲載する大学の幅を広げるため、加盟校の事務職員によるリレー方式での掲載など、引き続き、様々な大学の特色ある取り組みを発信する。

## <実績>

### ◆ (第30回) FD・SD フォーラム

全体テーマ 「FD×SD で学生の学びと幸せを支える」

日時 2025年3月1日(土)・2(日)

場所 龍谷大学

参加者数 372名(対面)

#### シンポジウム1 (3月1日)

テーマ 「FD×SD で向き合う新しい学び—学び手ひとりひとりの成長と幸せに寄り添う大学教育を探る—」

コーディネーター 築地 達郎氏(龍谷大学 社会学部 准教授)

登壇者 井上 雅裕氏(慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任教授)

松下 佳代氏(京都大学 教育学研究科 教授)

宮越 敬記氏(京都市立開建高等学校 教頭)

参加者数 235名

#### シンポジウム2 (3月2日)

テーマ 「地域と大学」

コーディネーター 白鳥 秀卓氏(京都産業大学 生命科学部 先端生命科学科 教授)

登壇者 大森 昭生氏(共愛学園前橋国際大学 学長)

森 正美氏(京都文教大学 学長)

三木 仁史氏(ライフイズテック株、元京都市大学政策部長)

参加者数 134名

#### 分科会

<3月1日開催>

(分科会1)

テーマ 「混職協働最前線 これらかの産学連携」

コーディネーター 石原 慶一氏(京都薬科大学 薬学部 薬学科 病態生化学分野准教授)

登壇者 野口 義文氏(立命館大学 副学長)

高橋真木子氏(金沢工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科 教授)

鈴木 忍 氏(京都大学 成長戦略本部総括事業部イノベーション領域副統括)

参加者数 53名

(分科会2)

テーマ 「大学のDX—AI時代の組織・システム・教学」

コーディネーター 横田 明紀氏(立命館大学 経営学部 教授)

川上 浩司氏(京都先端科学大学 工学部 機会電気システム工学科 教授)

登壇者 松木平淳太氏(龍谷大学 副学長、先端理工学部 教授)

鎗水 徹氏(大阪大学 OUDX 推進室 副室長・教授)

浅田 智史氏(学校法人立命館 総合企画部 総合企画課 課長)

沼田 耕並氏(滋賀大学 教育学部教務係 主任)

参加者数 144名

(ワークショップ1)

テーマ 「教・職・学で考える大学の学び」

コーディネーター 多田 泰紘氏（京都橘大学 経営学部経営学科）  
根岸 千悠氏（京都外国語大学 共通教育機構 講師）  
登壇者 竹中 喜一氏（近畿大学 IR・教育支援センター 准教授）  
石井 和也氏（宇都宮大学 大学教育推進機構 基盤教育センター 准教授）  
岸岡 奈津子氏（立命館大学 学生部 SSP コーディネーター）  
肥田 奈緒子氏（成城大学 教育イノベーションセンター 主任）  
参加者数 29 名

<3月2日（午前）開催>

（分科会3）

テーマ 「学校教育における生成 AI 活用の現在と今後の課題」  
コーディネーター 住田 哲郎氏（京都精華大学 共通教育機構 国際マンガ研究センター 准教授）  
登壇者 渡邊 光輝氏（お茶の水大学附属中学校 教諭）  
笠原 諭氏（西武学園文理高等学校 教諭）  
すがや みつる氏（日本マンガ学会会長 漫画家）  
参加者数 125 名

（分科会4）

テーマ 「困難を抱える発達障害学生への対応」  
コーディネーター 市川 寛氏（同志社大学 生命医学部 医生命システム学科 教授）  
登壇者 須賀 英道氏（龍谷大学短期大学部 社会福祉学科 教授）  
広野 ゆい氏（NPO 法人 DDAC（発達障害をもつ大人の会） 代表）  
古川 直子氏（親の会はぐくみ 代表）  
渡辺 良子氏（滋賀県立精神医療センター 地域生活支援部 社会復帰支援係 係長）  
上床 輝久氏（京都教育大学 保健管理センター 教授）  
加藤 郁子氏（滋賀県立精神医療センター 主幹(兼)係長）  
窪 貴志氏（株式会社エンカレッジ 代表取締役）  
参加者数 84 名

（ワークショップ2）

テーマ 「今さら聞けない奨学金、今こそ話したい学生支援」  
コーディネーター 中西 勝彦氏（京都文教大学 総合社会学部 実践社会学科）  
登壇者 水戸 康德氏（札幌大学 学務部学生課 職員）  
中山 博文氏（立命館大 学生部学生オフィス（衣笠）課長補佐）  
山本 愛理氏（京都文教大学 卒業生）  
参加者数 14 名

<3月2日（午後）開催>

（ワークショップ3）

テーマ 「大学とダイバーシティ」  
コーディネーター 坪井 剛氏（佛教大学 仏教学部 仏教学科）  
塘 利枝子氏（同志社女子大学 現代社会学部現代こども学科）  
登壇者 田中 共子氏（岡山大学 社会文化科学学域 教授）

岸 磨貴子氏 (明治大学 国際日本学部 教授)

参加者数 18名

(ワークショップ4)

テーマ 「大学空白地における域学連携と地域活性化」

コーディネーター 野村 実氏 (大谷大学 社会学部 コミュニティデザイン学科 講師)

登壇者 青木 滉人氏 (京丹後市 市長公室政策企画課 主事)

井上 健吾氏 (有限会社責任事業組合 まちの人事企画室 CMO)

杉岡 秀紀氏 (福知山公立大学 地域経営学部 准教授)

参加者数 15名

#### ポスターセッション (3月1日 開催)

参加大学 7大学・15プログラム 《参加募集期間/10月下旬から12月20日(金)》

1. 同志社女子大学  
観光を通じた地域連携プログラムの実践事例ー北海道富良野地域における持続的な課題解決型学習のあり方ー
2. 京都外国語大学・京都外国語短期大学  
学生が将来を描けるコミュニティ通訳者育成プログラム
3. 龍谷大学  
ICT活用教育における学修成果の可視化による主体的な学びへの効果
4. 京都産業大学  
グローバルコモンズ学生ボランティアスタッフ「LINK」実践報告～主体的な活動を通じた学生の学び～
5. 同志社女子大学  
学科開講インターンシップにおける実習ー和菓子屋での起業体験ー
6. 龍谷大学  
DPの実質化を目指した、学生本人による学修状況可視化ツールの開発
7. 京都産業大学  
グローバルコモンズ学生ボランティアスタッフ「LINK」実践報告～多言語イベントを通じた学生の主体的な学び～
8. 京都外国語大学  
コラボレーションと幸福感を \_\_\_\_\_ と共に
9. 龍谷大学  
学生の文章力を支える！龍谷大学ライティングサポートセンターによる相談対応と学生スタッフの成長
10. 大谷大学  
文字から視覚へ： 学びを変えるビジュアル評価の可能性
11. 京都華頂大学・華頂短期大学  
大学生・短期大学生のメンタルヘルスおよびストレス対処の現況ーメンタルヘルスリテラシー教育の導入に向けてー
12. 龍谷大学  
学生の授業観察にもとづく授業改善
13. 京都産業大学

広がる！学生ファシリテータの活動～集まる多様なモチベーション～

14. 京都ノートルダム女子大学

メタバースを駆使した学外連携および教育連携の実践紹介～メタバースサークルの2年間のあゆみより～

15. 龍谷大学

自主的SD「龍谷未来塾2024」の活動を通じた事務職員の資質向上に向けた取り組み

**情報交換会** (3月1日開催)

参加者数 87名

◆大学執行部塾

日時 2024年6月22日(土) 11:30～12:45

開催形式 ハイブリッド形式(当財団理事会・評議員会出席者のみ配信会場からの参加、  
上記以外はオンライン配信)

配信会場 キャンパスプラザ 4階 第3講義室

テーマ 「急速な少子化が進む中での大学の役割」

講師 両角 亜希子 氏(東京大学大学院教育学研究科)

参加者数 85名(対面27名・オンライン58名)

◆IRフォーラム

日時 2024年8月31日(土)

場所 オンライン開催

テーマ 「変革する大学！学習成果の可視化と教学マネジメントの実践  
～IRデータを活用し、学部・学科の教育改善や学生の能力育成に取り組んだ事例～」

**基調講演**

テーマ 少子化の時代に求められる大学とは

講師 古沢 由紀子氏(読売新聞東京本社編集委員)

**事例発表1**

テーマ 総合大学の多彩な教育活動における社会人基礎力の育成事例  
～エビデンスデータを活用した教学マネジメントの取組～

報告者 高 龍秀(甲南大学 副学長(教育担当) 全学教育推進機構長)

**事例発表2**

テーマ 5つの「都市大力」の可視化と、本来のキャリア形成に向けた全学的な動き  
～文部科学省「大学教育再生加速プログラム・テーマ5」採択とその後の取組～

報告者 住田 暁弘氏(東京都市大学 学生支援部 部長/日本私立大学協会 就職・キャリア支援委員会委員長)

事例発表モデレーター 森 正美氏(京都文教大学 学長)

申込者数 895名、当日参加者数 622名 ※オンデマンドの公開を予定、参加者数増の見込み

◆FD合同研修プログラム・テーマ別研修

(1) FD 基礎知識

(シラバス設計/到達目標と評価課題の設計/授業方法の工夫)

公開 2024年9月～2025年3月31日(月)

講 師 中島 英博氏 (立命館大学 教育開発推進機構 教授)  
開催形態 オンデマンド  
聴講者数 187名

(2) 授業設計・授業実践

テ ー マ 社会への入口としての大学教育～PBL 教育の可能性～  
日 時 2024年9月19日(木) 18:30～20:30  
開催形態 オンライン  
講 師 河井 亨氏 (立命館大学 健康科学部 准教授)  
築地原 尚美氏 (龍谷大学 非常勤講師)  
進行・コーディネーター 根岸 裕子氏 (京都華頂大学 現代生活学部 教授)  
竹井 智子氏 (京都工芸繊維大学 基盤科学系 教授)  
参加者数 27名

(3) 授業運営における AI ツールの利用

テ ー マ 生成 AI 技術を導入した大学授業の最前線レポート  
日 時 2024年10月17日(木) 18:30～20:30  
開催形態 オンライン  
講 師 木村 修平氏 (立命館大学 生命科学部 教授)  
進行・コーディネーター 栢木 紀哉氏 (龍谷大学 経営学部 准教授)  
李 冠宏氏 (京都外国語大学 国際貢献学部 グローバル観光学科 講師)  
参加者数 21名

(4) 初年次教育

テ ー マ 学生と教員の協働による初年次科目設計/運営体制と学生ファシリテータ制度  
日 時 2024年12月14日(土) 13:30～15:30  
開催形態 オンライン(ワークショップ型)  
講 師 中澤 正江氏 (京都産業大学 共通教育推進機構 准教授)  
学生ファシリテータ 数名  
進行・コーディネーター 星 優也氏 (池坊短期大学 環境文化学科 専任講師)  
赤岩 香苗氏 (京都産業大学 情報理工学部 准教授)  
参加者数 10名

(5) 科研費の取り方

テーマ 科研費の取り方 ～申請書作成のポイント～  
開催日時 2025年1月23日(木)  
講 師 佐藤 嘉倫氏 (京都先端科学大学 人文学部心理学科 教授)  
射場 大輔氏 (京都工芸繊維大学 工芸科学部機械工芸課程 教授)  
進 行 : 高尾 郁子氏 (京都薬科大学 学生実習支援センター 助教)  
川那部 隆司氏 (立命館大学 文学部 准教授)  
参加者数 39名

## ◆京都 FD 交流会

### (1) ゼミ・研究室運営

テーマ 学生のやる気を引き出すゼミ運営 ～ 文系・理系それぞれの視点から仕掛けを考える～

日 時 2024 年 9 月 21 日 (土) 9:30～12:10

開催形態 対面

講 師 鄭 祐宗 (大谷大学 国際学部 准教授)

来田宣幸氏 (京都工芸繊維大学 基盤科学系 教授)

進行・コーディネーター 小山 智朗氏 (京都先端科学大学 人文学部 教授)

参加者数 8 名

### (2) 学生のメンタルケア・コミュニケーション

テーマ 大学生のメンタルヘルスと授業運営について考える～教員の立場からできること～

日 時 2025 年 3 月 8 日 (土) 14:00～16:40

開催形態 対面

講 師 山本敦也氏 (京都産業大学 障害学生教育支援センター 専門主任 (公認心理師/臨床心理士))

進行・コーディネーター 松本 真治氏 (佛教大学 文学部 教授)

中川 昌幸氏 (平安女学院大学 国際観光学部 助教)

参加者数 8 名

## 【実施スケジュール (主要事項)】

### 【今後の主な予定】

6 月 22 日 (土)	大学執行部塾
8 月 31 日 (土)	IR フォーラム
3 月 1 日 (土) ・2 日 (日)	第 30 回 FD・SD フォーラム

## (2) SD 事業

### 【事業計画の概要および実績】

#### <概要>

#### ◆SD 共同研修プログラム

社会人としての基礎知識から大学職員としての汎用的なスキルの修得など研修内容の幅を拡げ多様な受講生ニーズを踏まえて、職務遂行能力向上に寄与するプログラムを企画・実施する。

#### ◆SD セミナール

実施 10 年目 (8 回目) を迎えている。コロナ禍で、2020 年度～2021 年度の 2 年間は、全日程対面開催が困難なため中止し、2022 年度はオンラインで、2023 年度からは全日程対面で行った。

「受講生者自らが自己の成長を実感できる」満足度の高いプログラムとなっている一方で、参加者が漸減していることが課題となっている。そのため、2024 年度は、その課題に対して対策を講じ受講者数の増加を図る。

#### ◆SD フォーラム

高等教育の動向を踏まえての先進事例紹介の場、また、外部有識者の知識やノウハウを獲得する場として、SD 分野で関心の高いテーマを設定し、大学教職員の能力向上や大学の枠を超えた情報交流の場を提供することを目的として実施する。特に各加盟校や他組織における類似企画との差別化を図るために、プログラム（分科会数、規模等）や運営面でより魅力的なものとなるよう、アンケート結果等からニーズを分析し、SD 研修委員会においてプログラムの充実を図る。

なお、2024 年度は、FD・SD フォーラムの開催を意識して、今後の在り方についても検討する。

#### ◆SD ガイドブック

隔年で更新しており、2025 年度版発行に向けて、アンケート調査を実施し、ニーズを踏まえて充実したものとする。

#### <実績>

##### ◆SD 共同研修プログラム

###### (1) 知るほどなっとくビジネスマナー（対面）

日 時 2024 年 3 月 22 日（金）、5 月 8 日（水） 10:00～16:00

対 象 若手教職員（入職 1～2 年目）（対象以外の方でも参加可能）

講 師 ㈱話し方教育センター

3 月 22 日（金）上野 純子 氏

5 月 8 日（水）藤原 真理弥 氏

参加者数 3 月 22 日（金） 16 名（加盟校 16 名）

5 月 8 日（水） 20 名（加盟校 20 名）

[参考]2023 年度実績 3 月 22 日（7 名）、3 月 24 日（15 名）、5 月 12 日（12 名）

2022 年度実績 3 月 24 日（9 名）、3 月 25 日（10 名）、5 月 25 日（9 名）

###### (2) 教務が分かると大学事務が見えてくる！『教務と関係法令』（対面）

→質の高い仕事を目指す！『大学教育関連制度・法令・組織の理解』

※SD ゼミナールとの合同開催

日 時 2024 年 6 月 1 日（土）13:50～17:00

対 象 全教職員（勤続年数にかかわらず参加可能）

講 師 宮林 常崇 氏（東京都立大学理系管理課長（学務課長兼務））

参加者数 23 名（SD ゼミ受講生含む）

###### (3) ChatGPT で大学事務をこなしてみる（対面またはオンライン）

日 時 2024 年 6 月 14 日（金）13:00～16:00

対 象 全教職員（勤続年数にかかわらず参加可能）

講 師 相生 芳晴 氏（学校法人上智学院 IR 推進室 室長）

参加者数 112 名（対面 34 名・オンライン 78 名）

###### (4) 大学職員のための高等教育情勢（基礎）（対面またはオンライン）

日 時 2024 年 7 月 3 日（水）13:00～16:30

対 象 全教職員（勤続年数にかかわらず参加可能）

講 師 岡田 雄介氏（龍谷大学 入試部・高大連携推進室 事務部長）

参加者数 45 名（対面 19・オンライン 26 名）

(5) IR 入門ーデータ収集・取扱い・分析・可視化の基本マスターー (対面またはオンライン)

日 時 2024年7月19日(金) 13:00~16:00

対 象 勤続10年目まで(勤続10年目までの者を優先、対象外の方でも参加可能)

講 師 相生 芳晴 氏(学校法人上智学院 IR 推進室 室長)

参加者数 51名(対面13名・オンライン38名)

(6) 仕事に役立つタイムマネジメント講座(対面)

日 時 2024年8月28日(水) 13:00~16:00

申込者数 19名

(台風10号接近に伴い、延期)

2024年10月16日(水) 13:00~16:00

対 象 勤続5年目まで(勤続5年目までの者を優先、対象外の方でも参加可能)

講 師 土井 しのぶ氏(立命館大学 法学部事務室 事務長)

参加者数 14名

(7) 学校法人会計から読み解く大学の財務状況(対面)

日 時 2024年9月20日(金) 13:00~16:00

対 象 勤続10年目まで(勤続10年目までの者を優先、対象外の方でも参加可能)

※ 私立大学向けの研修

講 師 池上 作 氏(同志社大学 財務部 経理課 法人係長)

参加者数 24名

(8) 労働者人口の減少と DEI (Diversity Equity and Inclusion) (対面)

日 時 2024年11月15日(金) 13:00~16:00

対 象 全教職員(勤続年数にかかわらず参加可能)

講 師 山田 容子 氏(株ビジネスプラスサポート 人財育成プロデューサー)

参加者数 6名

(9) 大学職員のパーパスとキャリアデザイン(対面)

日 時 2024年12月6日(金) 13:00~16:00

対 象 全教職員(勤続年数にかかわらず参加可能)

講 師 倉部 史記 氏(進路づくりの講師、高大共創コーディネーター)

参加者数 27名

#### ◆SD セミナール

申込締切 2024年4月24日(水) 受講者:13名(2023年度8名、2022年度10名)

【オリエンテーション】2024年5月25日(土) 13:00~14:30

【第1回】 「アカデミック・ライティングの基礎—「問題意識」を具体的な「問い」に変換する方法とは?—」(対面)

日 時 2024年5月25日(土) 14:50~17:30

講 師 坂本 尚志 氏(京都薬科大学 基礎科学系 一般教育分野 准教授)

- 【第2回】 「大学の制度・法令・組織一質の高い仕事のために大学教育関連制度・法令・組織を理解する一」(対面) ※SD 共同研修との合同開催  
 日 時 2024年6月1日(土) 13:50~17:00  
 講 師 宮林 常崇 氏(東京都公立大学法人 東京都立大学管理部理系管理課長(学部課長兼))
- 【第3回】 「アカデミック・リテラシーと政策提言レポート—アカデミック・リテラシーを理解し、リサーチを開始する一」(対面)  
 日 時 2024年6月8日(土) 13:50~17:00  
 講 師 村山 孝道 氏(京都文教学園 法人事務局庶務部担当課長)
- 【第4回】 「大学と社会 —地域連携の意味と大学の役割一」(対面)  
 日 時 2024年6月15日(土) 13:50~17:00  
 講 師 深尾 昌峰 氏(龍谷大学 政策学部 教授)
- 【第5回】 「大学教育の質保証に向けた教学マネジメント  
 —自校の教学マネジメントを推進していくための討議と助言一」(対面)  
 日 時 2024年6月22日(土) 13:50~17:00  
 講 師 西野 毅朗 氏(京都橘大学 教育開発・学習支援室/経営学部 経営学科 准教授)
- 【第6回】 「大学の戦略とリーダーシップ —戦略を創出する組織づくり一」(オンライン)  
 日 時 2024年6月29日(土) 13:50~17:00  
 講 師 吉武 博通 氏(情報・システム研究機構監事/東京家政学院理事長/筑波大学名誉教授)
- 【第7回】 「ブランディング・学生募集 —大学ブランディングの進め方一」(対面)  
 日 時 2024年7月6日(土) 13:50~17:00  
 講 師 上條 憲二 氏(愛知東邦大学 経営学部 地域ビジネス学科 教授)
- 【第8回】 「大学と高大連携・高大接続 —高等学校教育から、高大接続について考える一」(対面)  
 日 時 2024年7月13日(土) 13:50~17:00  
 講 師 荒瀬 克己 氏(独立行政法人教職員支援機構 理事長)
- 【第9回】 「大学と高等教育政策 —高等教育政策の側から大学を見ると一」(対面)  
 日 時 2024年7月20日(土) 13:50~17:00  
 講 師 松坂 浩史 氏(文部科学省 大臣官房 総務課長)
- 【公開プレゼンテーション】 2024年9月14日(土) 13:00~18:00  
 【公開プレゼンテーションフォロー研修】 2024年9月21日(土) 13:50~17:00  
 【政策提言レポート一次提出締切】 2024年10月7日(月)  
 【政策提言レポート最終提出締切】 2024年11月5日(火)
- 【2023年度SDゼミナール修了生対象 フォローアップ研修】  
 日 時 2024年5月25日(土) 14:50~17:30  
 講 師 白藤 康成 氏(京都産業大学 学長室 IR 推進室)

◆第 22 回 SD フォーラム

日 時 2024 年 10 月 27 日 (日)

全体テーマ 大学職員の高度化・専門化とは ―教育研究実施組織の構成員として―

参加者数 126 名

**基調講演**

テーマ これからの大学職員に求められる能力を考える

講 師 倉部史記 氏 (追手門学院大学 客員教授/情報経営イノベーション専門職大学(iU)客員/Lab 研究員「WEEKDAY CAMPUS VISIT」認定パートナー (NPO 法人 LEGIKA))

参加者数 125 名

**分科会 1**

テーマ 自分だけの体験的職員論

講 師 小野 宏氏 (関西学院大学 常任理事、計画推進・評価部長)

参加者数 37 名

**分科会 2**

テーマ 各種調査の分析結果から考える、大学職員の「高度化」

講 師 木村 弘志氏  
(一橋大学 ソーシャル・データサイエンス学部・研究科事務室 総務係長)

参加者数 74 名

情報交換会 60 名

**【実施スケジュール (主要事項)】**

**【主な予定】**

3 月 22 日 (金)	SD 共同研修プログラム「知るほどなっとくビジネスマナー」
5 月 8 日 (水)	SD 共同研修プログラム「知るほどなっとくビジネスマナー」
5 月 25 日 (土)	2023 年度 SD ゼミナール修了生対象 フォローアップ研修
5 月 25 日 (土)	SD ゼミナール オリエンテーション
	SD ゼミナール (第 1 回)「アカデミック・ライティングの基礎」
6 月 1 日 (土)	SD ゼミナール (第 2 回)・SD 共同研修プログラム合同開催 「大学教育関連制度・法令・組織の理解」
6 月 8 日 (土)	SD ゼミナール (第 3 回)「アカデミック・リテラシーと政策提言レポート」
6 月 14 日 (金)	SD 共同研修プログラム 「ChatGPT で大学事務をこなしてみる」
6 月 15 日 (土)	SD ゼミナール (第 4 回)「大学と社会」
6 月 22 日 (土)	SD ゼミナール (第 5 回)「大学教育の質保証に向けた教学マネジメント」
6 月 29 日 (土)	SD ゼミナール (第 6 回)「大学の戦略とリーダーシップ」
7 月 3 日 (水)	SD 共同研修プログラム 「大学職員のための高等教育情勢 (基礎)」
7 月 6 日 (土)	SD ゼミナール (第 7 回)「ブランディング・学生募集」
7 月 13 日 (土)	SD ゼミナール (第 8 回)「大学と高大連携・高大接続」
7 月 19 日 (金)	SD 共同研修プログラム 「IR 入門」
7 月 20 日 (土)	SD ゼミナール (第 9 回)「大学と高等教育政策」
8 月 28 日 (水)	SD 共同研修プログラム 「仕事に役立つタイムマネジメント講座」
9 月 14 日 (土)	SD ゼミナール 公開プレゼンテーション

9月20日(金)	SD 共同研修プログラム「学校法人会計から読み解く大学の財務状況」
9月21日(土)	SD ゼミナール 公開プレゼンテーションフォロー研修
10月7日(月)	SD ゼミナール 政策提言レポート一次提出締切
11月5日(火)	SD ゼミナール 政策提言レポート最終提出締切
11月15日(金)	SD 共同研修プログラム「労働者人口の減少と DEI」
12月6日(金)	SD 共同研修プログラム「大学職員のパーパスとキャリアデザイン」

### (3) 京都高大連携研究協議会事業

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

高大連携事業は、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所及び当財団の連携によって「京都高大連携研究協議会」を組織し、2003年度から取り組んでいる。

現在、文部科学省では、変化の激しい時代において、新たな価値を創造していく力を育成するために「高大接続改革」の取り組みが進められている。その動向を十分に踏まえながら、各種事業を展開する。

##### ◆高大連携教育フォーラム

高校・大学間の連携・接続教育問題における国内最新動向の情報共有、事例研究や京都における取り組みの情報発信に一定の評価を得ており、多くの関係者の参加者を得ている。「高大接続改革」の動向を見据え、高等学校、大学の双方の視点を摺り合わせながらテーマを検討し企画・実施する。また、高等学校、大学関係者が相集い、交流できる企画となるよう検討する。

##### ◆高大社連携フューチャーセッション

高校生・大学生のキャリア発達を促すことを目的として、設定したテーマについて、高校生・大学生・社会人といった世代、学校間を越えて対話・交流する。京都府北部地域、京都市内地域ともに多くの高校生・大学生の参加が得られるよう、高等学校関係者と連携を取りながら、高校生・大学生が参加しやすい内容の企画を検討する。

2024年度は、京都府北部地域で開催を検討する。

##### ◆京都高校・大学教職員交流会

「高大接続改革」の推進が求められる中、高等学校および大学教職員がともに課題を出し合い、それぞれの立場への理解促進を図り、交流を深める場として「京都高校・大学教職員交流会」を開催する。引き続き、本交流会の知名度向上を図るとともに、参加者自らが主体的に関与できるよう工夫しながら実施する。

##### ◆京都高大接続地域ネットワーク (KARN)

京都全体の大学入学者の受け入れ体制の強化、魅力発信を進め、高大接続(入試、教育、高大連携等)を実現できる人材育成を目指し、2024年度は、研修会を企画する。

##### ◆高大連携・接続に関わる先進事例等の調査研究

京都地域での高大連携に関わる試行的取組に関する情報の収集や課題を整理したうえで、高校生を

対象とした主体的な学びの実現に寄与する「京都ならではの」プログラムのあり方について検討を行う。

### <実績>

#### ◆第22回高大連携教育フォーラム

日時 2024年11月16日(土)

場所 対面開催

テーマ 高校から大学、そして社会へとつながる「学び」を育てる  
～高校生・大学生のキャリア形成・発達の視点から～

参加者数 73名

(第1部)

##### 基調講演Ⅰ

タイトル 学びにおける“I”の価値～学校を、もっともっと「自由な場」にするために～

講師 寺田 拓真氏(広島県総務局付課長・元文部科学省キャリア官僚)

##### 基調講演Ⅱ

タイトル 「探究×キャリア教育」がちな高校・大学の学び

講師 酒井 淳平氏(立命館宇治高等学校 教諭)

##### 指定討論・質疑応答

登壇者 寺田 拓真(広島県総務局付課長・元文部科学省キャリア官僚)

酒井 淳平氏(立命館宇治高等学校 教諭)

コーディネーター 乾 明紀氏(京都橘大学 経済学部教授・高大連携推進室員)

参加者数 60名

(第2部 分科会)

参加者数 57名

##### 《第1分科会/京都府教育委員会》

テーマ 『高校での探究活動を、どのように高校生のキャリア形成・発達につなげるか～指導のあり方、校内体制、展望や苦悩の視点から～』

報告者 中井 裕彰氏(京都府立宮津天橋高等学校(宮津学舎)教諭)

戸田 智和氏(京都府立洛北高等学校 教諭)

コメンテーター 乾 明紀氏(京都橘大学 経済学部 教授)

コーディネーター 井上 実氏(京都府教育委員会 指導部高校教育課 指導主事)

##### 《第2分科会/京都市教育委員会》

テーマ 『高大連携によるキャリア教育

ー大学、高校双方にとって持続可能で有意義な連携のあり方とは?ー』

報告者 宮越 敬記氏(京都市立塔南・開建高等学校 教頭)

東山 加奈子氏(龍谷大学 高大連携推進室 課長)

コーディネーター 上杉 まり氏(京都市教育委員会 指導部学校指導課 指導主事)

竹田 昌弘氏(京都市教育委員会 指導部学校指導課 参与)

《第3分科会／京都府私立中学高等学校連合会》

テーマ 『高大における情報教育の課題と挑戦  
～受験指導、AI教育の行方～』

報告者 高畑 祐輔氏（東山中学高等学校 教諭）

山田 修司氏（京都産業大学 理学部 教授）

コーディネーター 長谷川 卓也氏（京都橘高等学校 教諭）

《特別分科会①》

テーマ 『大学入試におけるリスクマネジメント』

報告者 木村 拓也氏（九州大学 人間環境学研究院 教育学部門 教授）

コーディネーター 山本 以和子氏（高大連携推進室員／京都工芸繊維大学 工芸科学部 教授）

《特別分科会②》

テーマ 『総合的な探究の時間と教科における探究との往還をどのように取り組めばいいのか』

報告者 阪本 和則氏（京都府立南陽高等学校 教諭）

報告者 清水 雄亮氏（京都府立山城高等学校 教諭）

コーディネーター 滋野 哲秀氏（高大連携推進室員／日星高等学校 校長／元龍谷大学文学部 教授）

（情報交換会）

◆2024年度高大社連携フューチャーセッション

日時 令和6年12月22日（日）（対面開催）

テーマ イマの探究をミライの探求へブラッシュアップ  
～世代、学校を超えて「探究」を考える～

会場 あやテラス／京都府綾部市

話題提供者 稲本 朱珠 氏（与謝野町高校魅力化コーディネーター）

高田 智哉 氏（日星高等学校 教諭）

多々納 智 氏（宮津天橋高校 探究推進部長）

長谷川夕起 氏（京都橘中学校・高等学校 探究学習コーディネーター主任）

コーディネーター 乾 明紀 氏（京都橘大学 経済学部 教授）

杉岡 秀紀 氏（福知山公立大学 地域経営学部 准教授）

オブザーバー 滋野 哲秀 氏（日星高等学校 校長／元龍谷大学 文学部 教授）

参加対象 高校生・大学生等

参加者数 33名（高校生11名、大学生14名、高校教員8名）

◆京都高校・大学教職員交流会

（第19回）

日時 令和6年10月5日（土）

テーマ 探究学習と教科学習をつなぐ

～「QFTと対話型論証を取り入れた教科学習が生徒にもたらす変化」と「生徒の主体性を尊重した探究のカリキュラム」を考える～

実施形態 対面とオンライン

コーディネーター 滋野 哲秀 氏（元龍谷大学 文学部・元京都教育大学 教授）

事例報告者 平尾 俊博 氏（日星高等学校 教諭）  
大場 凜 氏（龍谷大学文学部 3 回生）  
参加者数 25 名（対面 12 名／オンライン 13 名）

（第 20 回）

日 時 令和 7 年 2 月 1 日（土）  
テーマ 「探究学習の学びのストーリー」 探究学習はキャリア形成にどのような影響を与えるのか  
～探究学習の実践から進路選択の関係をひもとく～

実施形態 対面とオンライン

コーディネーター 滋野 哲秀 氏（元龍谷大学 文学部・元京都教育大学 教授）

事例報告者 酒井 淳平 氏（立命館宇治中学校・高等学校 教諭）

堀井 隆文さん（立命館大学 文学部 3 年次生）

松井 陽菜さん（立命館大学 経営学部 1 年次生）

参加者数 36 名（対面 20 名、オンライン 16 名）

#### ◆京都高大接続地域ネットワーク（KARN）

##### ・第 1 回

テーマ「基礎から学ぶ大学入試 入試制度とデータを正しく理解し、大学の今後を考えよう！」

日 時 令和 6 年 5 月 18 日（土）

講 師 佐藤 竜二 氏

（京都大学教育推進・学生支援部入試企画課特定専門業務職員（特色入試担当））

参加者数 15 名

##### ・第 2 回

テーマ「あなたの大学は広告？広報？違いがわかる学生募集広報とは」

日 時 令和 6 年 6 月 22 日（土）

講 師 長野 留三子 氏

（共立女子大学 大学企画課 広報企画グループ）

参加者数 9 名

#### 【実施スケジュール（主要事項）】

##### 【今後の主予定】

5 月 18 日（土）	京都高大接続地域ネットワーク（KARN）セミナー 第 1 回「基礎から学ぶ大学入試」
6 月 22 日（土）	京都高大接続地域ネットワーク（KARN）セミナー 第 2 回「未定」
11 月 16 日（土）	第 22 回高大連携教育フォーラム
12 月 22 日（日）	2024 年度高大社連携フューチャーセッション
10 月 5 日（土） ／2 月 1 日（土）	京都高校・大学教職員交流会【ハイブリッド形式】

各種委員会等の開催について

■開催報告■

(1) FD 事業

① FD・SD フォーラム企画検討委員会

6月26日	第1回 FD フォーラム企画検討委員会
8月1日	第2回 FD フォーラム企画検討委員会
9月3日	第3回 FD フォーラム企画検討委員会
10月8日	第4回 FD フォーラム企画検討委員会
11月5日	第5回 FD フォーラム企画検討委員会
2月14日	第6回 FD フォーラム企画検討委員会
3月27日	第7回 FD フォーラム企画検討委員会

◆委員一覧【理事会の際は非表示】

委員氏名〈敬称略〉	所属等
石原 慶一	京都薬科大学 病態薬科学系 病態生化学分野 准教授
川上 浩司	京都先端科学大学 工学部 教授
塘 利枝子	同志社女子大学 現代社会学部 現代こども学科 教授
白鳥 秀卓	京都産業大学 生命科学部 先端生命科学科 教授／教育支援研究開発センター 副センター長
住田 哲郎	京都精華大学 共通教育機構 准教授
多田 泰紘	京都橘大学 経営学部 経営学科 専任講師
築地 達郎	龍谷大学 社会学部 コミュニティマネジメント学科 准教授
市川 寛	同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科 教授
坪井 剛	佛教大学 仏教学部 仏教学科 准教授
中西 勝彦	京都文教大学 総合社会学部 総合社会学科 助教
野村 実	大谷大学 国際学部 国際文化学科 講師
根岸 千悠	京都外国語大学・京都外国語短期大学 共通教育機構 講師
横田 明紀	立命館大学 経営学部 教授

② FD 企画研究委員会

6月27日(木)	第1回 FD 企画研究委員会
8月2日(金)	第2回 FD 企画研究委員会
10月3日(木)	第3回 FD 企画研究委員会
2月6日(木)	第4回 FD 企画研究委員会
3月28日(金)	第5回 FD 企画研究委員会

◆委員一覧【理事会の際は非表示】

委員氏名〈敬称略〉	所属等
赤岩 香苗	京都産業大学 情報理工学部 准教授
栢木 紀哉	龍谷大学 経営学部 准教授
小山 智朗	京都先端科学大学 人文学部 教授
高尾 郁子	京都薬科大学 学生実習支援センター 助教

鄭 祐宗	大谷大学 国際学部 国際文化学科 准教授
中川 昌幸	平安女学院大学 国際観光学部 助教
川那部 隆司	立命館大学 文学部 准教授
根岸 裕子	京都華頂大学 現代生活学部 教授
竹井 智子	京都工芸繊維大学 基盤科学系 教授
星 優也	池坊短期大学 文化芸術学科 専任講師
李 冠宏	京都外国語大学 国際貢献学部 グローバル観光学科 講師
松本 真治	佛教大学 文学部 教授

## (2) SD事業

### ③ SD研修委員会

5月10日(金)	第1回SD研修委員会
6月28日(金)	第2回SD研修委員会
9月25日(水)	第3回SD研修委員会
12月5日(木)	第4回SD研修委員会
3月18日(火)	第5回SD研修委員会

#### ◆委員一覧【理事会の際は非表示】

委員氏名(敬称略)	所属等
小野 高歩	同志社大学 人事部 人事課 人事企画係 係長
小椋 幹子	京都女子大学 学術研究支援部 連携推進課長
五反田 康裕	大谷大学 総務部 総務課 課長
小南 恵美	京都芸術大学 法人事務局総務課 課長
給田 佳名子	京都外国語大学・京都外国語短期大学 人権教育啓発室 次長
津田 直哉	龍谷大学・龍谷大学短期大学部 総務部 人事課 課長
中原 正樹	京都産業大学 総務部(人事担当) 課長
長田 勝	学校法人立命館 人事部 次長
村山 孝道	京都文教学園 法人事務局 庶務部 担当課長

### (3) 京都高大連携研究協議会事業

以下の④・⑤の会議は、大学コンソーシアム京都に設置された専門委員会とは異なり、京都高大連携研究協議会に設置された委員会である。

#### ④ 京都高大連携研究協議会 役員会

7月13日(土)	第1回役員会(書面会議)
3月19日(水)	第2回役員会(書面会議)

#### ◆委員一覧【理事会の際は非表示】

委員氏名(敬称略)	所属等
小原 克博	公益財団法人 大学コンソーシアム京都 理事長/同志社大学 学長
前川 明範	京都府教育委員会 教育長
稲田 新吾	京都市教育委員会 教育長
佐々井 宏平	京都府私立中学高等学校連合会 会長/ 京都先端科学大学附属中学校高等学校 校長
村田 勝彦	京都府立高等学校長会 会長/京都府立桃山高等学校 校長
岩佐 峰之	京都市立高等学校長会 会長/京都市立西京高等学校 校長
福家 崇明	京都府私立中学高等学校連合会 副会長/京都産業大学附属中学校・高等学校 校長
荻野 達也	京都商工会議所理事・事務局長
森井 秀樹	京都文教短期大学 学長

#### ⑤ 京都高大連携研究協議会 運営委員会

7月12日(金)	第1回運営委員会
3月19日(水)	第2回運営委員会

#### ◆委員一覧【理事会の際は非表示】

委員氏名(敬称略)	所属等
田中 明範	京都府教育庁 指導部 高校教育課 首席総括指導主事
船越 康平	京都市教育委員会 指導部 学校指導課 主任指導主事
谷内 秀一	高等学校コンソーシアム京都 事務局長
林 信康	京都府私立中学高等学校連合会 理事/京都女子中学校・高等学校 校長
今井 千和世	京都府私立中学高等学校連合会 理事/平安女学院中学校高等学校 校長
長谷川 豊	公益財団法人 大学コンソーシアム京都 高大連携推進室 室長/ 京都府立大学 公共政策学部 准教授
野村 明宏	公益財団法人 大学コンソーシアム京都 教育開発事業部 事業部長/ 大谷大学 教育推進室 副室長
山田 正和	公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事務局長

#### ⑥ 高大連携推進室会議

5月7日(火)	第1回高大連携推進室会議
6月7日(金)	第1回拡大高大連携推進室会議
9月24日(火)	第2回高大連携推進室会議

11月 1日 (金)	第3回高大連携推進室会議
2月 4日 (火)	第4回高大連携推進室会議
3月 6日 (木)	第5回高大連携推進室会議 (メール会議)
3月 25日 (火)	第2回拡大高大連携推進室会議

◆委員一覧【理事会の際は非表示】

委員氏名 (敬称略)	所属等
長谷川 豊 (室長)	京都府立大学 公共政策学部 准教授
乾 明紀	京都橘大学 経済学部 教授
滋野 哲秀	元龍谷大学 文学部 教授
杉岡 秀紀	福知山公立大学 地域経営学部 准教授
細尾 萌子	立命館大学 文学部 准教授
山本 以和子	京都工芸繊維大学 工芸科学部 教授

■事業進捗■

(1) 京都学生祭典事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

京都学生祭典は、「大学のまち京都」を盛り上げるべく2003年から開催され、2024年度で第22回を迎えた。学生で組織する京都学生祭典実行委員会は、10月に主催する祭典当日の企画・運営だけでなく、近年では、1年間を通して、地域交流を深めるため精力的に活動を行っている。

時代の変化の中には明るい話題だけでなく、将来に不安を感じる人もいるなか、「京都学生祭典だからこそできることは何か」と学生自ら問いに向き合い、学生の力を結集させたお祭りをつくり、京都から日本を盛りあげていくことを目指す。

事務局の一翼を担う当事業部では、祭典に向けての支援に加え、1年間の活動を学生の成長の機会として捉え、年間を通じた支援体制の整備を行う。

I. 第22回京都学生祭典

大学の枠を越えた学生の力を結集させ、「大学のまち・学生のまち」京都の魅力を社会に発信し、京都の地域活性化に貢献するとともに、その活動を通して学生が共に成長していくことを目的に、「京都学生祭典」を京都学生祭典組織委員会の一員として共催した。

《開催日時》2024年10月13日（日）11時00分～19時00分

《会場》平安神宮前・岡崎プロムナード一帯（京都市左京区）

《テーマ》繋ぐ軌跡、築く未来“Bridge the Past, Build the Future”

《企画趣旨》第22回京都学生祭典本祭では、これまでの京都学生祭典が築き上げてきた伝統と人との繋がりを大切に受け継ぎ、京都学生祭典が第30回、また何十年後も続くお祭りとなるために、「未来を築き上げ、継承していく」という使命のもと更なる進化を遂げることを目標とする。

《企画内容》ここ数年は新型コロナウイルス感染症によるオンライン開催や雨天による短縮開催であったが、今年度は天候に恵まれ、5年ぶりに全面開催となった。当日は、企画されていた、オープニング企画（パレード、マーチングバンドのによる演奏など）を始め、全国おどりパフォーマンス、京炎 そでふれ！コンテストやKyoto Student Music Award、食企画、体験企画、Grand Finale、総踊りなどを実施し、来場者数は昨年度を上回る121,172人であった。

（参考：昨年来場者数66,110人）

※今年度はYouTubeでのライブ配信は実施なし。（後日、録画した動画をYouTubeで配信した。）

【実施スケジュール（主要事項）】（2025年3月31日時点）

12月21日（火）	第22回京都学生祭典事務局会議（2023年第6回）
1月31日（水）	第22回京都学生祭典企画検討委員会（2024年第1回）
2月15日（木）	第22回京都学生祭典事務局会議（2024年第1回）

3月6日(水)	第22回京都学生祭典企画検討委員会(2024年第2回)
3月27日(水)	第22回京都学生祭典組織委員会(2024年第1回)
4月26日(金)	第22回京都学生祭典事務局会議(2024年第2回)
5月24日(金)	第22回京都学生祭典企画検討委員会(2024年第3回)
6月14日(金)	第22回京都学生祭典事務局会議(2024年第3回)
7月23日(火)	第22回京都学生祭典企画検討委員会(2024年第4回)
8月9日(金)	第22回京都学生祭典事務局会議(2024年第4回)
9月3日(火)	第22回京都学生祭典企画検討委員会(2024年第5回)
9月19日(木)	第22回京都学生祭典組織委員会(2024年第2回)
10月25日(金)	第22回京都学生祭典事務局会議(2024年第5回)
11月13日(水)	第22回京都学生祭典企画検討委員会(2024年第6回)
11月22日(金)	第22回京都学生祭典組織委員会(2024年第3回)
12月11日(水)	第23回京都学生祭典事務局会議(2024年第6回)
1月28日(火)	第23回京都学生祭典企画検討委員会(2025年第1回)
2月20日(木)	第23回京都学生祭典事務局会議(2025年第1回)
3月5日(水)	第23回京都学生祭典企画検討委員会(2025年第2回)
3月25日(火)	第23回京都学生祭典組織委員会(2025年第1回)

◆第22回京都学生祭典実行委員会研修実施一覧(2025年3月31日時点)

開催日	テーマ	対象	講師/所属	参加者数
2月9日(金)	稟議書研修	全員	第22回副実行委員長	14名
2月15日(木)	マネジメント研修①	執行部	保利 雅彦氏(一般社団法人京都経済同友会 事務局 課長/第21回京都学生祭典 事務局構成員)	6名
3月6日(水)	スタートアップ研修	執行部	企画検討委員長 木村 光博氏	7名
3月10日(日)	就活ガイダンス OBOG 座談会	全員	(株)マイナビ 鶴見耕太郎氏 キャリアカウンセラー 中本雅氏(第21回京都学生祭典企画検討委員)・OBOG4名	13名
3月20日(水)	安寧小学校研修 (使用方法に関する確認)	担当	第21回おどり手リーダー	7名
4月13日(土)	マネジメント研修②	全員	京都市 東 祐大氏	13名
4月21日(日)	ビジネスマナー研修①	営業部	第21回副実行委員長	9名
4月27日(土)	岡崎地域・平安神宮に関する研修	全員	京都岡崎魅力づくり推進協議会 藤井 容子氏 平安神宮 総務部 広報渉外課長 権禰宜 大井 孝之氏	16名
4月27日(土)	コンプライアンス基礎研	全員	個人情報保護士 中本 雅和氏	11名

	修		大学コンソーシアム京都 調査・ 広報事業部 河合 良彦 氏	
5月2日(木)	協賛活動研修	執行部・ 営業部	保利 雅彦 氏 (一般社団法人京都 経済同友会 事務局 課長/第22 回京都学生祭典 事務局構成員)	8名
6月1日(土)	救命講習	全員	京都市消防局 消防学校教育管 理課 応急手当指導隊 大西様、宮田様、永井様	18名
7月7日(日)	中間振り返り会	全員	キャリアカウンセラー 中本 雅和 氏	34名
7月7日(日)	就活報告会・相談会	全員	キャリアカウンセラー 中本 雅和 氏 第21回実行委員長 第21回副実行委員長 第21回おどり普及部長 第21回おどり手リーダー	34名
7月12日(金)	ビジネスマナー研修②	全員	公益社団法人 日本青年会議所 監事 長谷川 淳二 氏	19名
10月19日(土)	仕事研究会	全員	キャリアカウンセラー 中本 雅和 氏 第21回実行委員長 第21回おどり普及部長 第21回営業部長	18名
10月19日(土)	事後振り返り会	全員	キャリアカウンセラー 中本 雅和 氏	48名
11月2日(土)	祭典を知る研修	第23回 全員	同窓会長 川端 悠輔 氏 第17回実行委員長 山田聡司 氏	8名
12月4日(水)	企業に愛される祭典、愛 されない祭典(協賛企業 との関わりについて)	第23回 執行部・ 営業部	保利 雅彦 氏 (一般社団法人京都 経済同友会 事務局 課長/第22 回京都学生祭典 事務局構成員)	9名
12月8日(日)	目標を考える会	第23回 全員	キャリアカウンセラー 中本 雅和 氏	17名
12月8日(日)	アイデアが10割研修	第23回 全員	第5回実行委員長 藤田卓也 氏	17名
1月18日(土)	ファシリテーション研修 モチベーションUP研修	第23回 全員	同窓会長 川端 悠輔 氏	6名
1月23日(木)	京都学生祭典の活動や歴 史に関する研修	第23回 執行部	企画検討委員長 木村 光博 氏	10名

1月25日(土)	輪転機の使い方に関する研修	第23回 全員	第23回実行委員長 峯田 真裕	8名
2月8日(土)	安寧小学校の使い方研修	第23回 執行部	第22回おどり手リーダー	3名
2月9日(日)	就活ガイダンス	第23回 全員	キャリアカウンセラー 中本 雅和 氏	13名
2月9日(日)	OBOG 座談会	第23回 全員	第13回企画運営部長 漆間智彦 氏 第17回実行委員長 山田聡司 氏 第18回副実行委員長 共田桃菜 氏 同窓会長 川端悠輔氏	13名
3月14日(水)	ビジネスマナー研修	第23回 執行部	京都経済同友会 保利雅彦 氏	8名
3月27日(木)	京炎 そでふれ!を知る研修	全員、 ホスト チーム	企画検討委員長 木村 光博 氏	27名

※引き続き3回生向けの就活選考対策に関するセミナーや個別相談等も実施予定であるが、それらの運営は同窓会およびキャリアカウンセラーの支援を受けて行っていく予定である。

※上記のほか、第22回から第23回への体制移行時と同じく、第24回発足前の準備会段階～第24回発足当初段階での研修として、2025年11月～2026年1月頃に同窓会等の支援を受けた研修を複数実施予定。

◆第22回京都学生祭典実行委員会活動内容一覧(2025年3月31日時点)

開催日	活動内容	担当部	参加者数
12月2日(土)	紫竹ルネサンス	全体	12名
12月20日(水)	岡崎夜警	全体	8名
1月14日(日)	CoCo 白川ランタン祭り	全体	4名
1月20日(土)	岡崎夜警	第22回全体	8名
1月23日(火)	京都市表敬訪問	第21回・22回実行委員長	2名
2月18日(日)	京都マラソンボランティア	全体	10名
2月20日(火)	岡崎夜警	全体	11名
3月20日(水)	岡崎夜警	全体	11名
3月22日(金)～24日(日)	アップサイクルでSDGsフェス	全体	5名
3月25日(月)	K-Style radio 収録	第21回・第22回実行委員長	2名
4月10日(水)	K-Style radio 収録	全体・副実行委員長	2名
4月20日(土)	岡崎夜警	全体	21名
4月21日(日)	K-Style radio 収録	実行委員長・おどり普及部	2名
5月10日(金)	京都市表敬訪問	執行部	9名
5月15日(水)	K-Style radio 収録	実行委員長・営業部	2名

5月18日(土)	KYOTO SUNRISE 2024	全体	22名
5月19日(日)	KYOTO SUNRISE 2024	全体	20名
5月23日(木)	第1回留学生交流会	全体	12名
5月24日(金)	向島ウェルカムパーティー	全体	8名
6月2日(日)	わんぱく相撲(京都青年会議所) ボランティア	全体	11名
6月3日(月)	K-Style radio 収録	実行委員長・企画運営部長	2名
6月22日(土)	第2回留学生交流会	全体	12名
6月29日(土)	イオンモール北大路プレイベント	全体	39名
7月5日(金)	京都府表敬訪問	執行部	6名
7月13日(土)	新入生歓迎会	全体	30名
7月15日(月)	祇園祭ごみゼロ大作戦	全体	6名
7月20日(土)	岡崎夜警	全体	24名
7月24日(水)	三条通お神輿祭り	全体	4名
7月27日(土)	岡崎夏祭り	全体	13名
8月4日(日)	白川あわた夏祭り	全体	19名
8月12日(月)	K-Style radio 収録	実行委員長	1名
8月18日(日)	ローラー・キャラバン	全体	15名
8月25日(日)	にっぽんど真ん中祭り	全体	21名
9月1日(日)	イオンモールKYOTO プレイベント	全体	30名
9月7日(土)	京都未来創造フェスティバル	全体	13名
9月8日(日)	第21回全国大学コンソーシアム研究 交流フォーラム	全体	4名
9月8日(日)	ローラー・キャラバン	全体	23名
9月8日(日)	こいや祭り視察	実行委員長・副実行委員長	2名
9月9日(月)	京都府表敬訪問	全体	4名
9月10日(火)	ローラー・キャラバン	全体	7名
9月13日(金)	J:COM 京都みやびじょん 番組収録	実行委員長	1名
9月14日(土)	紫竹まつり	全体	17名
9月15日(日)	ローラー・キャラバン	全体	27名
9月20日(金)	岡崎夜警	全体	19名
9月22日(日)	成功祈願	全体	37名
9月22日(日)	ローラー・キャラバン	全体	33名
9月22日(日)	KYO-SENSE 活動	全体	37名
9月23日(月)	イオンモール北大路 イベント	全体	17名
9月23日(月)	ローラー・キャラバン	全体	28名
9月25日(水)	SPLASH MIX KYOTO 出演	実行委員長	1名
9月28日(土)	第3回留学生交流会	全体	16名

9月29日(日)	ローラー・キャラバン	全体	35名
10月4日(金)	KBS 京都ラジオ「ももの桃源郷」 出演	実行委員長・企画運営部長	2名
10月5日(土)	河原町 OPA イベント	全体	10名
10月5日(土)	ローラー・キャラバン	全体	12名
10月6日(日)	ローラー・キャラバン	全体	30名
10月6日(日)	決起集会	全体	94名
10月8日(火)	ローラー・キャラバン	全体	2名
10月9日(水)	岡崎神社 氏子祭りボランティア	全体	6名
10月9日(水)	ローラー・キャラバン	全体	3名
10月10日(木)	岡崎神社 氏子祭りボランティア	全体	4名
10月11日(金)	岡崎神社 氏子祭りボランティア	全体	2名
10月11日(金)	ローラー・キャラバン	全体	2名
10月12日(土)	岡崎神社 氏子祭りボランティア	全体	5名
10月12日(土)	ローラー・キャラバン	全体	13名
10月17日(木)	岡崎神社 氏子祭りボランティア	全体	2名
10月20日(日)	岡崎地域運動会	全体	12名
11月20日(水)	岡崎夜警	全体	24名
12月2日(日)	紫竹ルネサンス	全体	11名
12月20日(金)	12月夜警	全体	5名
1月20日(月)	1月夜警	全体	9名
2月7日(金)	関西財界セミナー賞 2025 授賞式	第22回・23回実行委員長	2名
2月16日(日)	京都マラソンボランティア	全体	17名
2月20日(木)	2月夜警	全体	7名
3月14日(金)	福井県おおい町立名田庄中学校より インタビュー	実行委員長	1名
3月20日(木)	3月夜警	全体	5名

#### ◆関西財界セミナー賞 2025 「特別賞」受賞

関西財界セミナー賞は、関西全体の競争力強化や地域の活性化に寄与することを目的として2005年に創設され、「関西において、優れた技術やビジネスモデルを持ち、独自性を生かして関西の活性化に貢献している企業・団体・個人など」を表彰している。今年の「関西財界セミナー賞 2025」において、京都学生祭典実行委員会はこれまでの功績が評価され、同賞の「特別賞」を受賞した。

#### ◆新実行委員説明会

第22回では3月より新実行委員の募集を開始した。実施の可能な各大学で、チラシの配布や新歓ブースを実施した。今年度は新入生ガイダンスでの登壇等で案内ができた大学からの入会が増加した。また、HPやSNSを活用し、説明会についての投稿をしたうえで、主に毎週土曜日にキャンパスプラザ京都にて説明会を行った。説明会は7月13日(土)まで実施した。さらに、本祭当日の短期スタッフの募

集を9月中旬まで実施した。第23回では新年度に向けた新実行委員獲得のための新歓活動を2024年12月以降、進めている。昨年同様、各大学での新歓活動や、毎週土曜日のキャンパスプラザ京都内での説明会を実施している。

◆第23回実行委員構成人数（3月31日時点）

構成人数 38名（16大学 0大学院 1短期大学 0専修学校（昨年同時 47名）

① 財団加盟校 計 38名

（単位：名）

加盟校名	本年度	前年度	加盟校名	本年度	前年度
京都大学	2	0	京都芸術大学	0	0
京都教育大学	0	0	京都橘大学	0	1
京都工芸繊維大学	0	0	京都ノートルダム女子大学	2	0
京都市立芸術大学	1	0	京都美術工芸大学	3	1
京都府立大学	0	0	京都文教大学	2	3
京都府立医科大学	0	0	京都文教短期大学	0	0
福知山公立大学	0	0	京都薬科大学	0	1
池坊短期大学	0	0	嵯峨美術大学	0	0
大谷大学	1	3	嵯峨美術短期大学	0	0
京都医療科学大学	0	0	種智院大学	0	0
京都外国語大学	0	2	成安造形大学	0	1
京都外国語短期大学	0	0	同志社大学	1	2
京都華頂大学	0	0	同志社女子大学	2	4
華頂短期大学	0	0	花園大学	0	0
京都看護大学	0	0	佛教大学	2	3
京都経済短期大学	2	0	平安女学院大学	0	0
京都光華女子大学	1	2	明治国際医療大学	0	0
京都光華女子大学短期大学部	0	0	立命館大学	7	8
京都産業大学	7	8	龍谷大学	1	1
京都女子大学	2	4	龍谷大学短期大学部	0	0
京都精華大学	0	0	大阪医科大学	0	0
京都西山短期大学	0	0	京都情報大学院大学	0	0
京都先端科学大学	2	3	放送大学・京都学習センター	0	0

② 財団非加盟校 0名(昨年同時期0名)

※実行委員数は、①誓約書提出、②会費納入、③会員情報の登録完了をもってカウントする。

③ 各部署人数

（単位：名）

部署名	本年度	昨年度	部署名	本年度	昨年度
四役	4	4	年間交流部	4	4
企画運営部	7	7	営業部	3	6

警備部	5	5	広報部	4	4
おどり普及部	8	14	総務部	3	3

◆第23回おどり手構成人数（3月31日時点）

構成人数 518名／20大学 0大学院 0短期大学 0専修学校（前年同時期：500名）

① 財団加盟校 517名

（単位：名）

加盟校名	本年度	昨年度	加盟校名	本年度	昨年度
京都大学	25	12	京都芸術大学	0	0
京都教育大学	0	0	京都橘大学	51	59
京都工芸繊維大学	6	1	京都ノートルダム女子大学	20	15
京都市立芸術大学	0	0	京都美術工芸大学	0	0
京都府立大学	25	13	京都文教大学	3	27
京都府立医科大学	0	0	京都文教短期大学	0	0
福知山公立大学	0	0	京都薬科大学	37	36
池坊短期大学	0	0	嵯峨美術大学	0	0
大谷大学	1	3	嵯峨美術大学短期大学部	0	0
京都医療科学大学	1	0	種智院大学	0	0
京都外国語大学	1	0	成安造形大学	0	0
京都外国語短期大学	0	0	同志社大学	43	40
京都華頂大学	0	0	同志社女子大学	52	55
華頂短期大学	0	0	花園大学	0	0
京都看護大学	0	0	佛教大学	0	0
京都経済短期大学	0	0	平安女学院大学	0	0
京都光華女子大学	13	10	明治国際医療大学	0	0
京都光華女子大学短期大学部	0	0	立命館大学	104	88
京都産業大学	54	61	龍谷大学	55	47
京都女子大学	24	30	龍谷大学短期大学部	0	0
京都精華大学	1	2	大阪医科薬科大学	0	0
京都西山短期大学	0	0	京都情報大学院大学	0	0
京都先端科学大学	1	1	放送大学・京都学習センター	0	0

② 財団非加盟校 1名（前年同時期：0名）

石川県立看護大学 1名

1. 本祭

第22回京都学生祭典（本祭）

開催日時 10月13日（日）11：00～19：00

テーマ 繋ぐ軌跡、築く未来 “Bridge the Past, Build the Future”

@平安神宮前・岡崎プロムナード一帯

《来場型企画》

ステージ企画	Opening 企画
	開演！京炎 そでふれ！
	パレード
	全国おどりパフォーマンス
	京炎 そでふれ！コンテスト企画
	Kyoto Student Music Award
	総おどり
	Grand Finale 企画
岡崎プロムナード企画	食企画、京滋 SDGs プロジェクト、企業ブース
岡崎グラウンド企画	体験企画
京セラ美術館前でのブース出展	行政ブース

2. プレイベント

第 22 回京都学生祭典ではイオンモールでの対面でのプレイベントを 2 回、配信企画を 1 回実施した。

【イオンモールでのプレイベント】

日時：6 月 29 日（土）10:00～16:00

場所：イオンモール北大路 1 階センタープラザ

企画内容：京炎 そでふれ！演舞披露

展示企画（学生祭典紹介ブース）、制作ブース（オリジナル四竹の制作）、体験ブース（巨大神経衰弱、巨大ジェンガ）

家族連れの方々を中心に、オリジナル四竹の制作は 144 名、巨大神経衰弱は 102 名、巨大ジェンガは 127 名に参加いただいた。

日 時：9 月 1 日（日） 10：00～16：00

場 所：イオンモール KYOTO センターコート

企画内容：京炎 そでふれ！演舞披露

年間交流部による工作ブース（手形アート、ミサンガ作り）と遊びブース（巨大ジェンガ、リサイクルからできるボウリング）

家族連れや外国人観光客を中心にご参加いただき、事前広報物（うちわ・B7 冊子）の配布を通じて本祭の告知を実施した。

【みんなで作ろう井祭り】

食と SDGs を関連させた企画（京滋 SDGs プロジェクト）の一環として本祭で実施予定の食企画「井食べて未来ビルドン！」に向けて、京都市・大津市の高校生（京都市立紫野高等学校・滋賀県立大津商業高校）と実行委員が井のレシピを共同して考案する「みんなで作ろう井祭り」と題したプレイベント（試作会）を京都市立紫野高等学校で 8 月 6 日（火）に実施した。大津商業高等学校では 9 月 9 日（月）に実施した。試作の様子は動画で撮影し、公式 Instagram で当日の実施の様子を投稿した。試作会を経て、京都市立紫野高校についてはチュモツパ井を、大津商業高校についてはじゅんじゅん井

(すき焼き風の丼) を出店した。

### 3. 広報関係

#### (1) 広報方針

- ・第 22 回京都学生祭典の広報方針では、第 21 回に引き続き、学生を主なターゲットとし、京都学生祭典の知名度向上に向けた広報を実施した。また、若者を主なターゲットとして、SNS 広告を過年度より多く実施した。

#### (2) 本機校正を伴う広報物の制作・編集業務の委託契約

- ・広報物の制作は、納品時期にあわせて分割で委託契約を行った。A4 チラシ、A2 ポスターは (株) 京富士印刷に依頼した。うちわ (オリジナルグッズ)・B7 冊子・公式パンフレット・報告パンフレットについてはアール工芸印刷社に依頼した。8 月下旬～10 月上旬にかけて、うちわ・B7 冊子は街頭での配布を実施した。また、各種広報物は公共施設等にも配架した。今年度は京都市内の各銭湯、京福電鉄の四条大宮駅・帷子ノ辻駅・嵐山駅・北野白梅町駅にも配架協力いただいた。報告パンフレットについては 11 月 27 日に納品後、協賛企業および関係者へ順次配布した。

#### (3) 新聞広告の掲載

- ・第 22 回でも京都新聞にて広告掲載を実施した。  
一面広告を 10 月 6 日 (日) に、京都学生祭典×京滋 SDGs プロジェクトの 5 段広告を 10 月 5 日 (土) に掲載した。本年度は京都新聞社主催のイベントが京都学生祭典本祭同日開催であることに伴い、京都新聞社から追加で 5 段広告を提供いただいたため、9 月 29 日 (日) に交通規制情報を掲載した。

#### (4) 交通広告

- ・京都市営地下鉄中づり広告 (10/7～10/13)、デジタルサイネージ広告 (京都駅・9/30～10/13) を実施した。京都市営バス側面広告は 9/13～10/12 まで実施した。また、A2 ポスターを地下鉄の各駅に掲示いただいた。

#### (5) SNS 広告

2024 年 9 月 14 日 (木) ～10 月 13 日 (日) の掲載期間で Instagram・YouTube での広告と Google リスティング広告を配信した。また、Instagram については、自動運用システムを導入し、より多くの人に京都学生祭典を認知していただけるよう取り組んだ。

#### (6) 京都市「市政広報板」への掲載

- ・京都市と調整し京都市市政広報板に広告を 9 月 16 日 (月) ～9 月 30 日 (月) に掲載した。また、京都市の市民しんぶんと京都府の府民だよりにもイベント情報を掲載いただいた。

#### (7) 他のメディアへの掲載

No	掲載日	掲載メディア	掲載内容
1	12 月 7 日 (木)	NHK 国際放送「Core Kyoto～学生のまち～」	京都学生祭典について 5 月 9 日 (木) 日本語版で再放送
2	3 月 18 日 (月)	京都新聞 (WEB) 京都・滋賀プレスリリース (PR TIMES)	2025 年大阪・関西万博機運醸成『MIXTURE-STATION』開催について (出演者情報記載)
3	3 月 18 日 (月)	西日本旅客鉄道株式会社のプレスリリース	2025 年大阪・関西万博機運醸成『MIXTURE-STATION』開催について (出演者情報記載)

4	4月23日(火)	USENの音楽情報サイト encore	平安神宮奉納LIVE“KYOTO SUNRISE 2024”出演者情報・「協力」の記載
5	4月23日(火)	Real Sound (web ページ)	平安神宮奉納LIVE“KYOTO SUNRISE 2024”出演者情報・「協力」の記載
6	4月23日(火)	Sony Music Artists Inc. (CHEMISTRY 出演情報ページ)	平安神宮奉納LIVE“KYOTO SUNRISE 2024”出演者情報・「協力」の記載
7	5月14日(火)	Leaf KYOTO (Web ページ)	平安神宮奉納LIVE“KYOTO SUNRISE 2024”出演者情報記載
8	5月中旬	スルッと KANSAI バスマつり HP	出演者情報掲載
9	6月3日(月)	イオンモール北大路公式 HP イベント ニュース	イオンモール北大路で実施の「第22回京都学生祭典 プレイメント」の告知
10	6月27日(木)	第22回・23回京都検定 問題と解説	設問の一つとして掲載
11	8月8日(木)	JR おでかけネット	第22回京都学生祭典 本祭告知
12	8月9日(金)	京都市 HP	「京都未来創造フェスティバル」の出演者情報掲載
13	8月11日(日)	京都観光 Navi	第22回京都学生祭典 本祭告知
14	9月6日(金)	京都経済同友会 HP	第22回京都学生祭典 本祭告知
15	9月19日(月)	じゃらん net 観光ガイド	第22回京都学生祭典 本祭告知
16	9月20日(金)	イオンモール北大路 HP イベント ニュース	イベント情報掲載 (9/25のイオンモール北大路でのおどり披露)
17	9月20日(金)	京都市西京区 HP	洛西“SAIKO”プロジェクト 公民連携「せせらぎシアター2024」の開催について (出演者情報)
18	9月21日(土)	J:CPM 京都みやびじょん局「ジモトトピックス」	第22回京都学生祭典 本祭告知
19	9月25日(水)	SPLASH MIX KYOTO (北区・上京区)	第22回京都学生祭典 本祭告知
20	9月28日(土)	KYO-DENT	第22回京都学生祭典 本祭告知
21	9月29日(日)	京都新聞	第22回京都学生祭典実施に伴う交通規制について
22	4月～9月	エフエム京都「K-Style radio」	京都学生祭典について紹介
23	10月1日(火)	きょうと府民だより	第22回京都学生祭典本祭 本祭告知
24	10月1日(火)	KYOTO 市民しんぶん No.990	第22回京都学生祭典 本祭告知
25	10月4日(金)	京阪電車お出かけ情報誌 KPRESS	第22回京都学生祭典 本祭告知
26	10月4日(金)	KBS ラジオ『ヨルナマ!ももの桃源郷』	第22回京都学生祭典 本祭告知
27	10月5日(土)	京都新聞	京滋 SDGs プロジェクト×京都学生祭典
28	10月5日(土)	ALKOTTO	実行委員長インタビュー

29	10月6日(土)	京都府公式 SNS (LINE・X・Facebook)	第22回京都学生祭典 本祭告知
30	10月6日(土)	京都新聞	第22回京都学生祭典本祭 本祭告知
31	10月14日(日)	京都新聞 朝刊	京都学生祭典 本祭当日の様子について
32	10月26日(土)	J:COM 京都みやびじょん局「ジモトトピックス」	第22回京都学生祭典 京炎 そでふれ! コンテストについて
33	12月	RSK 山陽放送 (岡山・香川地域) RSK 地域スペシャル「メッセージ」	実行委員長インタビュー・本祭の様子
34	1月16日(木)	KYO-DENT	新実行委員募集について
35	1月31日(金)	京都市 HP	報道発表資料_オール京都の万博イベント「EXPO KYOTO MEETING～和のこころと地球の未来～」の開催(第1報)
36	1月号	SHAKE ART! 1月号 vol.34	京都学生祭典とメインビジュアル募集について
37	2月7日(金)	関西経済同友会 HP	第63回関西財界セミナー開催報告 関西財界セミナー賞 2025 受賞者
38	2月7日(金)	朝日新聞	関西財界セミナー賞 2025 受賞者 (写真あり)
39	2月7日(金)	神戸新聞 NEXT	関西財界セミナー賞 2025 受賞者 (写真あり)
40	2月7日(金)	産経ニュース ※Yahoo! ニュース、goo 等、多数	関西財界セミナー賞 2025 受賞者
41	2月7日(金)	日本経済新聞	関西財界セミナー賞 2025 受賞者
42	2月8日(土)	京都新聞	関西財界セミナー賞 2025 受賞者 (写真あり)
43	2月8日(土)	神戸経済ニュース	関西財界セミナー賞 2025 受賞者
44	2月22日(土)	KYO-DENT	メインビジュアル募集について
45	2月下旬	コンテスト情報サイト『登竜門』	メインビジュアル募集について
46	3月6日(木)	コンテスト情報サイト『Koubo』	メインビジュアル募集について
47	3月25日(火)	コンテスト情報サイト『GENSEKI マガジン』	メインビジュアル募集について
48	3月26日(水)	京都市 HP	報道発表資料_オール京都の万博イベント「EXPO KYOTO MEETING～和のこころと地球の未来～」の開催(第2報)

## 4. 営業関係

### (1) 営業方針

- ・年間を通じて必要な活動資金を獲得すること・京都学生祭典が今以上に協賛企業との距離を縮め、より多くの方にご支援いただき、京都 学生祭典をより魅力あるものにすることを目指している。

### (2) 協賛アプローチ

#### 《スペシャルパートナー》

- ・2022年12月に第20回のスペシャルパートナー企業より第21回から協賛を降りるとの連絡があった。新規でスペシャルパートナー企業を獲得するのは困難なため、昨年度に引き続き、既存の金額アップや少額の新規企業開拓の方向で営業活動を行った。

#### 《KYO-SENSE パートナー》

- ・5月下旬：協賛案内実施（株式会社GSユアサ）。6月中旬に昨年同様、200万円の協賛回答を得た。

#### 《プラチナパートナー・ゴールドパートナー（旧オフィシャルパートナー）》

- ・3月下旬：プラチナパートナー・ゴールドパートナーへアプローチを開始した。
- ・5月下旬時点で昨年同様、株式会社堀場製作所から200万円、株式会社キャリアパワー・京都青果合同株式会社・株式会社長栄・株式会社奈良自動車学校から100万円の協賛回答を得た。
- ・6月上旬に京都信用金庫から100万円（前年度より+50万円）の協賛回答を得た。

#### 《その他協賛企業》

- ・4月上旬：既存協賛企業と、昨年度、協賛希望の連絡をいただいた新規企業へのアプローチを開始した。
- ・5月下旬：既存企業へのアプローチが概ね終了し、京都市内の企業を中心に、新規企業へのアプローチを開始した。
- ・6月末で協賛企業アプローチを終了し、広報物へのロゴ掲載など、スポンサープログラムを実施できなくてもよい協賛企業の場合には本祭直前まで営業活動を継続した。
- ・10月16日（水）時点で63社12,375,000円の協賛回答を得た。また、場所協賛3件（イベント会場2件、イベント出演会場1件）、物品協賛4件の協賛回答を得た。物品協賛でいただいた物品は本祭で来場者アンケート回答特典として配布した。（第22回京都学生祭典 協賛合計70件）

### (3) 個人サポーター

- ・第22回京都学生祭典では、個人サポーター270組（330,000円）の獲得を目標とした。
- ・2024年4月30日時点で14組51,000円獲得（OBOG・関係者より）
- ・2024年5月30日時点で103組202,386円獲得（OBOG・関係者・そでふれ演舞披露先より）
- ・2024年7月18日時点で108組212,386円獲得（各大学・行政の関係者のより）
- ・2024年9月26日時点で137組268,386円獲得（各大学・行政・そでふれ演舞披露先より）
- ・2024年10月16日時点で153組501,708円獲得（本祭来場者・地域の方々・各大学・行政の関係者・OBOG等より）
- ・2024年11月23日時点で228組635,963円獲得（10月31日で今年度分は受付終了）

### (4) パートナー交流会

- 8月7日（水）に京都学生祭典をご支援頂いている協賛企業等のご担当者様（以下、パートナ

一)をお招きし、協賛企業と学生実行委員の交流の場を設けた。協賛企業関係者 17 社にご参加いただいた。第 22 回では新たに「輪になって話そう」(50 万円以上のご協賛をいただいた協賛企業とのテーマ別座談会)も 11 月 6 日(水)を QUESTION にて実施した。

(5) 輪になって話そう

シルバーパートナー以上の協賛企業と、学生が深く関わる場を増やすことを目的として、座談会を 11 月 6 日(水)に QUESTION 7 階 Creative Commons<sup>2</sup> で開催した。協賛企業 4 社 6 名と実行委員 23 名が、事前に各企業からヒアリングした「学生と話したいこと」をテーマに話し合った。

(6) 成果報告会・感謝祭

関係者・協賛企業の皆様に本年度の総括と感謝を伝える場として、12 月 6 日(金)にキャンパスプラザ京都にて実施し、第 22 回にご支援いただいた皆様へのお礼と、第 23 回実行委員から関係者各位への挨拶を行った。

## 5. 公募関係

(1) メインビジュアル

第 22 回京都学生祭典のメインビジュアルは 2 月 1 日(木)～4 月 22 日(金)募集受付、エントリーは 21 件であった。

実行委員会と審査員(芸術系の大学の先生方 3 名)による審査を経て決定した。

大賞: 松下ひまり様(京都精華大学・3 回生)

佳作: 山根桃華様(京都精華大学・4 回生)

第 23 回京都学生祭典のメインビジュアルの募集については第 22 回同様、加盟校の教員による審査員形式を導入し、2025 年 1 月 29 日(水)～4 月 21 日(月)の期間で応募を受け付けた。加盟校のポータルサイトに加え、関西アートプロデュースグループ「SHAKE ART!」が発刊しているフリーマガジン『SHAKE ART!』、コンテスト情報サイト「登竜門」「GENSEKI マガジン」「Koubo」に募集情報を掲載いただいた。

(2) 本祭企画

食企画・全国おどりパフォーマンス・Kyoto Student Music Award 等、6 月 1 日(土)より募集を開始した。全国おどりパフォーマンス・Kyoto Student Music Award については当初よりも募集期間を 2 週間延長して募集を実施した。応募団体数は以下の通り。

・食企画: 11 団体(うち京滋 SDGs プロジェクト、地域団体 1 団体、学生団体 9 団体)

→学生団体 1 団体が本祭前に出店キャンセルとなり、計 10 団体が丼メニューを出店した。

・全国おどりパフォーマンスは全国から対面 18 団体、動画放映 12 団体の応募があった。対面参加の団体については抽選で本祭に出演する 13 団体を確定した。当日は K-POP やよさこい等、様々なジャンルのパフォーマンスが披露された。なお、当選しなかった場合も、希望があれば動画放映での参加は可能とした。動画放映はうち 2 団体が出演キャンセルとなり、当日は 10 団体分を放映した。

・Kyoto Student Music Award については 35 団体の応募があり、審査により本祭に出場する 8 団体を決定した。本祭当日、8 団体でコンテストを実施し、上位 3 団体を決定した。

- ・岡崎グラウンド企画には地域団体・学生団体に依頼し、京都国際学生映画祭（映画祭の紹介）・京都青年会議所（ストラックアウト）・CoCo.しらかわ（モルック）・同志社ワーキングコーラ（ガチャガチャ等）の4団体が当日出展した。また、留学生ブースを実施した。
- ・京炎 そでふれ！コンテストについては全ホストチームである11チームが出演した。
- ・企業ブースには株式会社GSユアサ・株式会社キャリアパワー・株式会社長栄・株式会社奈良自動車学校に出展いただいた。
- ・行政ブースについては京都府2ブース（国際課・健康対策課）と京都市4ブース（消防局2ブース・くらし安全推進課・大学政策担当）に出展いただいた。
- ・今年度は過去の企画を参考に吹奏楽による演奏を取り入れ、Openingでは京都両洋高校の吹奏楽部に、Grand Finaleでは京都府京都すばる高校の吹奏楽に出演・演奏いただいた。また、Grand Finaleでは昨年の「京都文化と教育の日 in フェ」の開催に伴い、京都学生祭典が訪問したベトナム フェ省の学生に出演いただいた。

## 6. 交通規制・警備関係

### (1) 交通規制

川端警察署と連携を取り、準備を進める。4月3日に1回目の打ち合わせを実施した。7月9日に2回目の打ち合わせを実施した。交通規制・神宮道南ステージの施工について複数回の打ち合わせを行い、本祭当日、交通規制を実施した。また、京都府警HPと京都市交通局HPにも交通規制情報およびバス迂回情報を掲載いただいた。

### (2) 警備

交通規制を行うにあたり、警備員を配置する必要があるため、警備会社の選定を行い、株式会社コトナに依頼した。

## 7. その他

### (1) おどり普及部活動内容一覧（踊り披露・出前教室）

開催日	活動内容	参加 実行委員数	参加者数
1月10日（水）	錦林児童館（振り落とし）	4名	14名
2月3日（土）	岡崎自治連合会 わいわい文化祭	9名	-
2月18日（日）	京都マラソン沿道盛り上げ隊	17名	-
3月24日（日）	万博機運醸成イベント『MIXTURE-STATION』	12名	-
3月31日（日）	さくらよさこい	5名	-
4月7日（日）	鴨川茶店	12名	-
5月5日（日）	KIDS DAY in 京都駅ビル	14名	-
5月6日（月）	大阪ベイエリア祭 World アポロン	18名	-
5月12日（日）・13日（月）	都ホテル 台湾観光客向け披露イベント	12名	331名
5月16日（木）	京都市立大原小中学校（出前教室）	5名	50名

5月18日(土)	KYOTO SUNRISE 2024	17名	-
5月20日(月)	京都市立大原小中学校(出前教室)	4名	50名
5月21日(火)	京都市立大原小中学校(出前教室)	5名	50名
5月28日(火)	京都市立大原小中学校(出前教室)	5名	50名
6月2日(日)	わんぱく相撲(京都青年会議所)	8名	-
6月9日(日)	スルッとKANSAIバスまつり	11名	-
7月6日(土)	Sailling Kobe	48名	-
8月4日(日)	桂駐屯地 納涼祭	10名	-
8月10日(土)	浴衣DEナイト(長岡京市商工会主催)	10名	-
8月11日(日)	北山夏祭り(京都市北区のお祭りでの披露)	10名	-
8月25日(日)	第26回につぼんど真ん中祭り	21名	-
8月29日(木)	京都市立八条中学校(出前教室)	4名	270名
9月5日(木)	京都市立八条中学校(出前教室)	4名	270名
9月5日(木)	京都市立二条北小学校(出前教室)	3名	60名
9月7日(土)	第21回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム	11名	
9月7日(土)	京都未来創造フェスティバル(京都青年会議所)	13名	-
9月10日(火)	京都市立藤城小学校	3名	50名
9月12日(木)	西京区役所洛西支所(四竹づくり体験)	5名	-
9月12日(木)	京都市立八条中学校(出前教室)	5名	270名
9月13日(金)	京都市立梅津北中学校(出前教室)	4名	40名
9月16日(月)	高齢者福祉総合施設 健光園あらしやま	5名	-
9月17日(火)	京都市立藤ノ森小学校(出前教室)	5名	108名
9月17日(火)	プリンスホテル京都宝ヶ池での披露	11名	-
9月17日(火)	京都市立八条中学校(出前教室)	4名	270名
9月18日(水)	京都市立大宮小学校(出前教室)	4名	120名
9月20日(金)	京都市立大宮小学校(出前教室)	3名	120名
9月20日(金)	京都市立梅津中学校(出前教室)	4名	40名
9月23日(月)	イオンモール北大路 イベントでの披露	17名	-
9月25日(水)	京都市立梅津北中学校(出前教室)	5名	40名
9月26日(木)	京都市立大宮小学校(出前教室)	5名	120名
9月27日(金)	京都市立梅津北中学校(出前教室)	3名	40名
10月1日(火)	京都市立藤ノ森小学校(出前教室)	4名	108名
10月5日(土)	河原町 OPA イベントでの披露	10名	-
10月12日(土)	京都イロドリ EXPO こといろ	5名	-
10月26日(土)	洛西"SAIKO"プロジェクト公民連携「せせらぎシアター2024」	21名	-
10月27日(日)	もしも FES 大阪 2024	10名	-

11月3日(日)	朱雀第六学区自治連秋祭り	10名	-
11月9日(土)	京都光華女子大学文化祭(華羅紅との披露)	6名	-
11月10日(日)	龍馬よさこい	23名	-
11月17日(日)	みやこふれあいまつり 2024	8名	-
12月9日(土)	異文化コミュニケーション学会	6名	-
12月14日(土)	第8回「クリスマスステーション in 八瀬 2024」	15名	-
12月19日(木)	太秦老人デイサービスセンタークリスマス会	8名	-
1月26日(日)	宇多野自治会連合会 新年会での披露	9名	-
2月1日(土)	近畿スポーツ推進委員研究協議会	14名	-
2月1日(土)	第13回岡崎わいわい文化祭	11名	-
2月16日(日)	京都マラソン沿道盛り上げ隊	7名	-
2月16日(日)	KOTO(古都)で一緒に考える!サイバーセキュリティ(防犯啓発イベント)	13名	-
3月19日(水)	京都ハンナリーズ オープニングアクトでの披露	13名	-
3月20日(木)	ねんねんさいさいフェスティバル 2025	9名	-
3月20日(木)	桜まつり(向日市商工会)	5名	-
3月30日(日)	京都市知的障害者学習ホーム ひかり学園 出前教室	3名	30名

※参考：各大学のホストチーム(おどり手)との関係強化として、京炎 そでふれ!スペシャルバージョンの振り落としや各チームの代表・副代表との情報共有(会議)を以下の通り実施した。

NO	実施日	イベント名	参加人数 (実行委員)	参加人数 (ホストチーム)
1	2/16	そでフレンズ訪問 Tacchi (京都橘大学)	7名	20名
2	3/5	そでフレンズ訪問 彩京前線 (京都大学・京都府立大学)	3名	25名
3	3/6	そでフレンズ訪問 京小町(京都女子大学)	5名	20名
4	3/7	そでフレンズ訪問 花風姿(同志社女子大学)	7名	12名
5	3/14	第1回全体練習	12名	25名
6	3/22	そでフレンズ訪問 華羅紅(京都光華女子大学)	5名	7名
7	4/13	そでフレンズ訪問 京躍華(京都薬科大学)	8名	15名
8	4/18	第2回全体練習	12名	23名
9	4/18	第1回 FRD 会議	12名	20名
10	4/24	第3回全体練習	10名	18名
11	5/16	第4回全体練習	14名	10名
12	5/22	第5回全体練習	16名	20名
13	5/26	決起交流会	16名	132名
14	6/7	そでフレンズ訪問 咲産華(京都産業大学)	9名	50名
15	6/12	第6回全体練習	15名	23名

16	6/20	第7回全体練習	8名	33名
17	7/11	第8回全体練習	6名	12名
18	7/24	第9回全体練習	10名	10名
19	8/5	そでフレンズ訪問 華羅紅（京都光華女子大学）	7名	9名
20	8/8	第1回スペバ練習会	10名	11名
21	8/16	第2回スペバ練習会	12名	10名
22	8/20	京炎 そでふれ！コンテスト説明会 第2回 FRD 会議	7名	19名
23	8/23	第3回スペバ練習会	13名	8名
24	8/28	第4回スペバ練習会	5名	6名
25	9/11	第10回全体練習	8名	8名
26	9/19	第11回全体練習	12名	28名
27	9/25	そでフレンズ訪問 京躍華（京都薬科大学）	8名	30名
28	10/23	第12回全体練習	16名	8名
29	10/30	第13回全体練習	20名	7名
30	12/22	そでふれ感謝祭	30名	55名
31	1/15	第1回 FRD 会議	12名	17名
32	2/17	そでフレンズ訪問 花風姿（同志社女子大学）	6名	16名
33	2/24	そでフレンズ訪問 華羅紅（京都光華女子大学）	3名	7名
34	3/1	そでフレンズ訪問 彩京前線（京都大学・京都府立大学）	5名	23名
35	3/13	第1回全体練習	9名	17名
36	3/18	そでフレンズ訪問 Tacchi（京都橘大学）	5名	32名
37	3/19	そでフレンズ訪問 京躍華（京都薬科大学）	5名	35名
38	3/27	第2回 FRD 会議	8名	19名
39	3/31	新歓披露（京都光華女子大学）	7名	13名

※その他、2025年4月23日の大阪・関西万博の出演に向けたレッスンを2月に2回（2/6、2/27）実施した。

## （2）本祭施工業者選定

- ・本祭施工及び運営支援業務委託に関わる説明会を2024年3月22日（水）に開催した。4月28日（金）見積書提出締め切りで3社より見積書の提出があった。4月26日の第2回事務局会議を経て、臨時で開催した企画検討委員会にて（株）新通に委託することが承認され、5月下旬より打ち合わせを開始した。月に1～2回ほど会議を実施し、施工・進行についての確認と準備を行った。

## （2）京都国際学生映画祭事業

### 【事業計画の概要および実績】

#### <概要>

京都国際学生映画祭は、学生の実行委員会が運営する日本最大規模の国際学生映画祭で、2002年（第5回）から財団が単独で主催している。2024年度においても、国内外を問わず実行委員が広く学生作家

の映像作品をコンペ形式で募集し、選考した作品を上映する第27回京都国際学生映画祭（京都文化博物館フィルムシアター・2025年2月6～9日開催予定）の企画や運営、PRを1年間担っていく。

京都国際学生映画祭は、文化芸術都市であり、「学生のまち」でもある京都で、学生クリエイターの発掘や情報発信、国際交流を深める上で開催する意義は大きい。実行委員の成長を促すための支援を行うとともに、実行委員とのコミュニケーションを図り、当該事業を展開していく。

<実績>

**【実施スケジュール（主要事項）】**

2024年	
5月4日（土）	第27回京都国際学生映画祭実行委員会発足
5月9日（木）10時 ～7月31日（水）16時	第27回京都国際学生映画祭コンペティション作品募集期間
5月9日（木）	コンペ作品募集開始および新規実行員募集の案内・広報開始
6月18日（火）	2024年度 京都国際学生映画祭第1回企画検討委員会
8月31日（土）	2024年度 京都国際学生映画祭第2回企画検討委員会
10月19日（土）	第27回京都国際学生映画祭イベント実施
11月5日（火）	2024年度 京都国際学生映画祭第3回企画検討委員会
12月1日（日）	第27回京都国際学生映画祭 最終審査会
12月10日（火）	2024年度 京都国際学生映画祭第4回企画検討委員会 (メール審議)
2025年	
2月6日（木）～9日（日）	第27回京都国際学生映画祭 in 京都文化博物館フィルムシアター
2月27日（木）	2024年度 京都国際学生映画祭第5回企画検討委員会

◆第27回実行委員構成人数<3月31日時点>

構成人数：41名 大学40 短期大学1 交換留学生1 専修学校0 （前年度：32名 内非加盟校6名）

① 加盟校 計34名

大学・短期大学名	本年度	前年度	大学・短期大学名	本年度	前年度
京都大学	5	1	京都先端科学大学	0	0
京都教育大学	0	0	京都橘大学	0	1
京都工芸繊維大学	0	0	京都ノートルダム女子大学	0	0
京都市立芸術大学	0	0	京都美術工芸大学	0	0
京都府立大学	0	0	京都文教大学	0	0
京都府立医科大学	0	0	京都文教短期大学	0	0
福知山公立大学	0	0	京都薬科大学	0	0
池坊短期大学	0	0	嵯峨美術大学	0	1
大谷大学	0	0	嵯峨美術大学短期大学部	1	1
京都医療科学大学	0	0	種智院大学	0	0
京都外国語大学	2	5	成安造形大学	0	0

京都外国語短期大学	0	0	同志社大学	4	5
京都華頂大学	0	0	同志社女子大学	3	1
華頂短期大学	0	0	花園大学	0	0
京都看護大学	0	0	佛教大学	1	1
京都経済短期大学	0	0	平安女学院大学	0	0
京都芸術大学	1	1	明治国際医療大学	0	0
京都光華女子大学	0	0	立命館大学	4	7
京都光華女子大学短期大学部	0	0	龍谷大学	2	1
京都産業大学	9	0	龍谷大学短期大学部	0	0
京都女子大学	2	0	大阪医科薬科大学	0	0
京都精華大学	0	1	京都情報大学院大学	0	0
京都西山短期大学	0	0	放送大学・京都学習センター	0	0

② 非加盟校：7名

(大阪大学1名、神戸大学1名、大阪公立大学1名、神戸学院大学1名、Simmelweis Univ 1名、大阪芸術大学1名、California College of the Arts 1名)

【特記事項】

進捗報告 (第27回)

① 国内部門

・第27回京都国際学生映画祭コンペティション作品募集

(2024年5月9日(木)10時(JST)～7月31日(水)16時(JST))

[ ] はアニメーション作品数

	国内	海外	総数
2024年度(第27回)受付作品数	134 [24]	377 [48] (44カ国)	511 [72]
2023年度(第26回)受付作品数	134 [29]	300 [26] (37カ国)	434
2022年度(第25回)受付作品数	160 [22]	221 [55] (29ヶ国)	381
2021年度(第24回)受付作品数	172 [34]	143 [52] (25ヶ国)	315
2020年度(第23回)受付作品数	100 [16]	272 [33] (22ヶ国)	372
2019年度(第22回)受付作品数	101 [12]	176 [45] (29ヶ国)	277
2018年度(第21回)受付作品数	98 [23]	490 [115] (33ヶ国)	588

・第27回京都国際学生映画祭入選作品決定

英題	監督	国籍	ジャンル
REDMAN	キムソンジェ	韓国	アニメーション
にわとりはじめてとやにつく	栗原侑莉	日本	アニメーション
ボウル ミーツ ガール	関 駿太	日本	フィクション
BOY MEETS HOME	永井哲太	日本	フィクション

On the 8th Day	Agathe S�n�chal, Alicia Masseur, Elise Debruyne, Flavie Carin, Th�o Duhautois	フランス	アニメーション
Heirloom	Rui Song	米国	フィクション
Stabat Mater	Hadrien Maton, Quentin Wittevrongel, Arnaud Mege, Coline Thelliez, William Defrance	フランス	アニメーション
Dissonance	Gervaise Gauthier	フランス	フィクション
MM, UH, OH, AH	Choi Nahye	韓国	フィクション
Searching for Sol	Jaime Morados	フィリピン	フィクション
Birthday Blowout	Chung Jaehoon	韓国	フィクション
Vortex	JANG Jae-Woo	韓国	フィクション
Chaehwa	HONG Seung gi	韓国	フィクション
THE BURDEN	孫博驍	韓国	フィクション
The hills of birds	Lee Euntaek	韓国	フィクション
How to Find Your Comrade in a Trance?	Zhenxu Wu	中国	ドキュメンタリー

- ・最終審査員は以下の3名に決定（12月1日（日）最終審査）  
荒木 啓子氏（ぴあフィルムフェスティバルディレクター）  
今泉 力哉氏（映画監督）  
立川 譲氏（アニメーション監督、脚本家）

・最終審査会結果

2024年12月1日（日）キャンパスプラザ京都にて開催された最終審査会の結果、以下の通り受賞者が決定した。

	作品名	部門	国
 グランプリ	How to Find Your Comrade in a Trance?	ドキュメンタリー	中国
 準グランプリ	Stabat Mater	アニメーション	フランス
最終審査員賞（荒木啓子賞）	MM,UH,OH,AH	フィクション	韓国
最終審査員賞（今泉力哉賞）	Dissonance	フィクション	フランス
最終審査員賞（立川譲賞）	On the 8th day	アニメーション	フランス

実行委員会賞（奨励賞）	ボウル ミーツ ガール	フィクション	日本
-------------	-------------	--------	----

## ② 企画部門

- ・プレイベント企画として10月19日（土）元・安寧小学校講堂での上映会「思い出スクリーン」を実施した。

プレイベント名：『思い出スクリーン』

オープニング企画「プレイバック・ホームルーム」

上映作品：「プレイバック・プレイボール」

申込者12名、参加者5名

メイン企画「放課後の体育館（ミニシアター）」

上映作品：「棒つきキャンディー」「こちら放送室よりトム少佐へ」「映画の夢」

申込者40名、参加者35名

※ゲスト：柿沼キヨシ氏（映像作家・ユーチューバー）

- ・京都学生祭典（10月13日）において、京都国際学生映画祭の歴史を振り返るブースを出展した。

## ③ 国際部門

翻訳ボランティア募集説明会（Zoom）を実施。

翻訳作業を開始。

字幕付き上映ディスクの制作開始

## ④ 広報部門

### (1) 渉外

- 1) 第26回京都国際学生映画祭：協賛/後援先への事業報告 3月30日（土）完了
- 2) 第27回京都国際学生映画祭：協賛依頼を開始  
新規獲得：4件（内2件物品協賛）  
継続企業獲得：8件（内1件物品協賛）

### (2) 広報

- 1) 第27回京都国際学生映画祭コンペ作品および新規実行員募集の案内・広報
  - ・チラシポスターの発送（国内発送295件 海外発送200件）
  - ・X、Instagram等SNSにてコンペティション作品募集、新規実行委員募集の案内。
- 2) 第27回京都国際学生映画祭 プレイベント実施に伴う広報
  - ・X、Instagram等SNSにて広報
  - ・ビラ配り
- 3) 第27回京都国際学生映画祭 本祭開催に伴う広報
  - ・チラシポスターの発送開始
  - ・X、Instagram等SNSにて広報
  - ・京都市を通じて関係各所にチラシを配架
  - ・会場である京都文化博物館近くの烏丸御池交差点にてビラ配りを実施

・京都市営地下鉄烏丸御池駅のデジタルサイネージ「一粒万倍ヴィジョン」に掲出

(3) 制作

- 1) 第 27 回京都国際学生映画祭コンペ作品および新規実行員募集チラシ、ポスター制作
- 2) メインビジュアルの制作
- 3) 第 27 回京都国際学生映画祭 プレイベントチラシ、パネル等の制作
- 4) 第 27 回京都国際学生映画祭公式カタログの制作

⑤ その他

(1) 助成金事案

- ・令和 6 年度 芸術文化振興基金助成金 交付申請書 申請済
- ・令和 7 年度 NISSHA 財団助成金 交付申請書 申請済

(2) ndjc:若手作家育成プロジェクト 2024 (文化庁委託事業)

推薦者なし

- (3) 京都市主催の京都映画祭「京都シネマスクエア」(10月19日・20日)で第26回京都国際学生映画祭グランプリ作品と準グランプリ作品を上映。
- (4) 龍谷大学の講義にて実行委員長が登壇し、映画祭及び実行委員の活動を紹介。
- (5) SHINPAvol.17(2024年12月15日)で第26回京都国際学生映画祭入選作品を上映、実行委員長が登壇し、本年度の映画祭を広報。
- (6) 「KRP 創発ライブ by Buckskin Vol.35」(2025年2月21日)として、GOCONC(京都リサーチパーク 10号館 1F)にて、過去の入選作品を上映。学生実行委員が登壇し、作品上映への思いについて語った。
- (7) 京都大学医学部附属病院と連携して、各病床モニターより過去入選作品を配信(2025年3月)。
- (8) 映画祭開催にあたり、チケット購入方法のオプションとして、現金のほかキャッシュレス決済を導入。また、来場者数の把握のため、各プログラムの事前申し込みを案内した。

【本祭】

①日程：2025年2月6日（木）～2月9日（日） 4日間

②会場：京都文化博物館フィルムシアター

③タイムテーブル：



④実施企画：

入選作品			
プログラム A	ボウル ミーツ ガール	How to Find Your Comrade in a Trance?	
	Dissonance	REDMAN	
プログラム B	Birthday Blowout	Heirloom	Vortex
	The hills of birds		
プログラム C	Searching for Sol	On the 8th day	The Burden
	Stabat Mater	にわとりはじめてとやにつく	
プログラム D	MM, UH, OH, AH	Chaehwa	BOY MEETS HOME
最終審査員企画			
①荒木啓子 PFF ディレクター上映企画	『I AM NOT INVISIBLE』 『秋の風吹く』		
②今泉力哉監督 上映企画	『最低』		
③立川譲監督 上映企画	『BLUE GIANT』		
サイレントシネマ～弁士の語り、音の響き、無声映画の情熱～			
小津安二郎監督（1930年）	『落第はしたけれど』 活動写真弁士 大森くみこ氏、ピアノ 鳥飼りょう氏		
牧野光之丞、須藤啓介、伊勢元貴監督（2022年）	『殺し屋』		

活躍する監督たち～学生時代の作品特集～	
Nina GANTZ (2015年、イギリス)	『EDMOND』
Micheal LABARCA (2016年、ベネズエラ)	『The guilt, probably』
QIU Yang (2015年、オーストラリア・中国)	『Under the Sun』
水江未来 (2007年、日本)	『LOST UTOPIA』
前野朋哉 (2008年、日本)	『GO GO まりこ』
Scream on Screen!～学生ホラーの世界～	
JUNG Kyungyuoul (韓国、Suwon Univercity)	『BLACKBOX』
OH Daeun (韓国、Ewha Womans Univercity)	『Flicker』
吉岡一靖、貴村響 (日本、東京藝術大学)	『Perspective』
最終審査員トークショー	
荒木 啓子氏、今泉 力哉氏、立川 譲氏	
授賞式	1) 入選作品監督入場・紹介 2) 受賞作品発表・表彰／贈呈・講評・受賞者コメント ・実行委員賞 ・最終審査員賞 ・準グランプリ、グランプリ 3) 閉会 休憩後、グランプリ作品上映

### ⑤交流会

本祭3日目に開催し、最終審査員、入選作品の監督等関係者、協賛企業・団体、企画検討委員、学生実行委員の約40名が参加した。海外からの監督もご招待する事ができ、協賛企業・団体など関係者との交流が図られ、人脈づくりの一助となる企画となった。

会場	京都経済センター 3階 会議室 3-F
日時	2月8日(土) 19時30分～20時30分
参加者	最終審査員(荒木啓子、今泉力哉、立川譲)、入選作品監督(関 駿太、吳鎮序、Gervaise Gauthier 代理人 Enzo Delepine、キム ソンジェ、Chung Jaehoon、Rui Song、JANG Jae-Woo 代理人 Choi Kyoungilm、Lee Euntaek、孫博驍、栗原侑莉、Choi Nahye、HONG Seung gi、永井 哲太) 協賛企業(株式会社フェローズ)、実行委員、事務局
次第	1) 開会 2) 実行委員長挨拶 3) 歓談 4) 閉会

### ⑥その他

ジョン・イニョン氏作曲の映画祭テーマソング「Youth」を、クラシック奏者(ピアノ: 田宮緋紗子氏、ヴァイオリン: 河村真央氏、ヴィオラ: 北川もみじ氏、チェロ: 清水陽介氏)に演奏を依頼し、その様子を収録したドキュメンタリー映像を映画祭の開会式で上映した。

### ⑦来場者数

本祭来場者数 549名(第26回296名)

## (3) 障がい学生支援事業

### 【事業計画の概要および実績】

#### <概要>

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(「障害者差別解消法」)が2016年4月から施行されたことに伴い、各大学は障がい学生支援業務に携わる担当者の能力向上や大学の枠を超えた情報共有や連携の場が求められることとなった。これらのニーズに対応するため、京都を中心とした関西にある大学の障がい支援業務に携わる担当者による「関西障がい学生支援担当者懇談会」を開催し、今後の対応について意見交換を行う。

また、障がい学生支援に関して高等学校が特別支援学校(以下、「高等学校等」と大学がつながりをもつ機会が少ないという現状に鑑みて、高等学校等の教員と大学において障がい学生支援に携わる教職員との情報交換、交流を目的とした懇親会を実施する。

さらに、障がい学生支援事業企画検討委員会を積極的に活用し、加盟大学のニーズを踏まえた研修会も実施する。

<進捗>

1. 大学における障がい学生支援に関する高校教員との懇談会

日時：2024年7月31日（金）14：00～17：00

会場：キャンパスプラザ京都

内容：①話題提供1：「大学における障がい学生支援の現状と課題について

～主に身体障がいのある学生への支援～

（講師：同志社大学 学生支援センター SDA 室 チーフコーディネーター 土橋 恵美子 氏）

②話題提供2：「大学における障がい学生支援の現状と課題について

～精神・発達障がいのある学生支援～

（講師：京都大学 DRC（学生総合支援機構 障害学生支援部門）コーディネーター

寫田 裕子 氏）

③グループ別懇談会

参加者：26名（加盟校11名、高等学校教員（特別支援学校含む）他15名）

2. 第1回テーマ別研修会

<教務・学生系職員対象>障がいのある学生への対応について

日時：2024年8月20日（火）13：00～15：00

会場：キャンパスプラザ京都

内容：話題提供：「障がい学生支援の在り方～初等中等教育から高等教育への接続」

講師：京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 こども教育学科 准教授 太田 容次 氏

同志社大学 学生支援センター SDA 室 チーフコーディネーター 土橋 恵美子 氏

聞き手・進行役：大学コンソーシアム京都 学生支援事業部長

／立命館大学 共通教育推進機構 教授 山口 洋典 氏

グループディスカッション・質疑応答：「合理的配慮、あなたならどうする？

～仮想事例から考える」

参加者：34名（加盟校教職員12名、非加盟校教職員22名、その他1名）

3. 第33回関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）

日時：2024年9月4日（水）13：00～17：00

会場：キャンパスプラザ京都

内容：①話題提供：「高等教育機関における合理的配慮と教育の質保証

～テクニカルスタンダード？実習？資格取得？～

講師：筑波大学 ヒューマンエンパワーメント推進局（BHE） 准教授 船越 高樹 氏

②分科会A：障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第三次まとめ）の

解釈・疑問について ※レクチャー形式

分科会B：支援体制・合理的配慮の周知、トラブル・紛争事例について

分科会C：コーディネーター業務 ～身体障がい学生支援と支援者養成～

分科会D：合理的配慮の決定プロセスと依頼方法について（サンプル提示）

分科会E：発達障がい、精神障がい者への実験・実習対応について

参加者：74名（加盟校38名、非加盟校34名、その他2名）

#### 4. 第2回テーマ別研修会

<教職員対象>障がいのある学生への対応について

日時：2024年12月19日（木）13：00～15：00

会場：キャンパスプラザ京都

内容：話題提供：「障がい学生支援が大学の価値を高める・多様な社会をみざして」

講師：楠 敬太 氏（佛教大学 学生支援センター 特別任用教員（講師））

質疑応答：「実際の現場での困りごと」

参加者：19名（加盟校教職員7名、非加盟校教職員12名）

#### 5. 第34回関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）

日時：2025年3月6日（木）13：00～17：20

会場：キャンパスプラザ京都

内容：①話題提供：『今大学で工夫している点（法律の変遷に従って）』

話者：

大谷大学 学生支援部 学生支援課 障がい学生支援チーム チームリーダー/コーディネーター

鈴木 美佳子 氏

京都精華大学 学生グループ 学生支援チーム 障害学生支援室

寺尾 藍子 氏

②分科会 A：社会的障壁・建設的対話について ※レクチャー形式

分科会 B：管理職（マネジメント）が考える社会的障壁の除去

分科会 C：コーディネーターの専門性（合理的配慮の判断、アセスメント、建設的対話）

分科会 D：精神・発達障がいのある学生への対応（意思の表明、合理的配慮、保護者対応など）

分科会 E：障がいのある学生のキャリア支援

参加者：73名（加盟校37名、非加盟校35名、その他1名）

#### 【実施スケジュール（主要事項）】

5月16日（木）	障がい学生支援事業企画検討委員会（第1回）
6月20日（木）	関西障がい学生支援担当者懇談会幹事会（第1回）
7月31日（水）	大学における障がい学生支援に関する懇談会
8月20日（火）	第1回テーマ別研修会
9月4日（水）	第33回関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）
10月30日（水）	関西障がい学生支援担当者懇談会幹事会（第2回）
12月19日（木）	第2回テーマ別研修会
1月16日（木）	障がい学生支援事業企画検討委員会（第2回）
3月6日（木）	第34回関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）

## 各種委員会等の開催について

### (1) 京都学生祭典事業

#### ① 京都学生祭典組織委員会

第1回 3月27日(水)

主要議題：第21回決算報告、第22回事業方針、事業企画、当初予算ほか

第2回 9月19日(木)

主要議題：第22回実施方針、補正予算ほか

第3回 11月22日(金)

主要議題：第22回実施状況報告・決算見込み、第23回実行委員会発足ほか

第1回 3月25日(火)

主要議題：第22回決算報告、第23回事業方針、事業企画、当初予算ほか

委員一覧

小原 克博(委員長)	公益財団法人 大学コンソーシアム京都 理事長
西脇 隆俊	京都府知事
松井 孝治	京都市長
内田 隆	一般社団法人京都経済同友会 代表幹事
土井 伸宏	京都商工会議所 副会頭
木村 光博	京都学生祭典企画検討委員会 委員長

#### ② 京都学生祭典企画検討委員会

第1回 2024年1月31日(水)

主要議題：委員長・副委員長選出、第22回テーマ・各部署実施計画ほか

第2回 2024年3月6日(水)

主要課題：第21回事業報告、第22回当初予算、各部署実施計画ほか

第3回 5月24日(金)

主要議題：第22回本祭実施方針、事業進捗報告ほか

第4回 7月23日(火)

主要議題：第22回本祭実施方針、事業進捗報告ほか

第5回 9月3日(火)

主要議題：第22回本祭実施方針、補正予算ほか

第6回 11月13日(水)

主要議題：第22回実施状況報告・決算見込み、第23回実行委員会発足、監査人選ほか

第1回 1月28日(火)

主要議題：委員長・副委員長選出、第23回テーマ、各部署実施計画ほか

第2回 3月5日(水)

主要議題：第22回事業報告、第23回当初予算、各部署実施計画ほか

委員一覧

木村 光博 (委員長)	株式会社キャリアパワー 代表取締役 一般社団法人経済同友会 常任理事
巽 大輔	京都府 総合政策環境部 大学政策課 参事
西川 千嘉子	京都市総合企画局 総合政策室 大学政策部長
渡守 紘宜	公益社団法人 京都青年会議所 副理事長
綿貫 裕子	京都商工会議所 会員部 共済・雇用労務支援課 課長
上田 清和	一般社団法人 京都経営者協会 専務理事
西岡 誠司	公益社団法人 京都工業会 理事・事務局長
下間 健之	一般社団法人 京都経済同友会 理事事務局長
中上 博幸	公益社団法人 京都市観光協会 事務局長
山下 泰生	株式会社堀場製作所 コーポレートオフィサー 管理本部長
西村 祐一	京の三条まちづくり協議会 事務局長
松村 宗一	安寧自治連合会 会長
澤邊 吉信	岡崎学区自治連合会 会長
村崎 謙志朗	京都大学 教育推進・学生支援部 厚生課 課外活動掛 掛員
柴田 祐美	京都教育大学 学生課 学生支援グループ グループリーダー
山野内 貴斎	京都工芸繊維大学 学生支援・社会連携課 学生生活係長
横道 友香子	京都市立芸術大学 教務学生課 学務担当課長
塚本 康浩	京都府立大学 学務課 学長兼学生部長
中尾 智	福知山公立大学 学務課 学生支援係 係長
上野 牧夫	大谷大学 学生部長
山口 佳紀	京都医療科学大学 総務課
中嶋 大輔	京都外国語大学・京都外国語短期大学 学生支援部 部長
二橋 良憲	京都華頂大学・華頂短期大学 学生部 学生課 学生課長
奥村 紫	京都看護大学 総務部 一般職員
山上 孝治	京都経済短期大学 事務局 学生支援課 課員
薦田 祐子	京都芸術大学 教学支援一課 課長
篠崎 大司	京都産業大学 学生生活支援機構 課長
瀬尾 浩	京都女子大学 学生支援課 課長
三浦 茂治	京都精華大学 学生グループ 学生支援チームリーダー
中村 祥子	京都先端科学大学 学生課 主査
上村 拓也	京都橘大学 学生事務部・課外活動振興課 課員
田中 裕喜	京都ノートルダム女子大学 学生部 学生部長
大坪 正典	京都美術工芸大学 事務局 課長代理
藤元 大介	京都文教大学・京都文教短期大学 学生部 学生課 課員
太田 亮史	京都薬科大学 学生課
大前 智	嵯峨美術大学・嵯峨美術大学短期大学 学生・キャリア支援グループ 事務部長
スダン・シャキヤ	種智院大学 学生部 学生部長
土井 もゆ	成安造形大学 教学課 課長補佐
中園 拓也	同志社大学 今出川校地学生支援課 係員
林 智之	同志社女子大学 学生支援部 学生支援課 係員

佐藤 誠	花園大学 学務部 学生支援課 係長
田中 康雅	佛教大学 学生支援部 学生支援課 課長補佐
中川 昌幸	平安女学院大学 学生部
大西 毅彦	明治国際医療大学 学課
坂井 亜希子	立命館大学 衣笠学生オフィス 課員
石原 芳典	龍谷大学・龍谷大学短期大学部 学生部（深草）課長
川端 悠輔	京都学生祭典同窓会 会長
山田 正和	公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事務局長
山口 洋典 (副委員長)	公益財団法人 大学コンソーシアム京都 学生支援事業部 部長

### ③ 京都学生祭典事務局会議

第6回 12月21日(木)

主要議題：第22回テーマ・当初予算・各部署実施計画ほか

第1回 2月15日(木)

主要議題：第21回事業報告、第22回当初予算、各部署実施計画ほか

第2回 4月26日(金)

主要議題：第22回本祭開催方針、企画概要、各部署実施計画ほか

第3回 6月14日(金)

主要議題：第22回本祭開催方針、企画概要ほか

第4回 8月9日(金)

主要議題：第22回本祭開催方針、補正予算ほか

第5回 10月25日(金)

主要議題：第22回実施状況報告、決算見込み、第23回実行委員会発足ほか

第6回 12月11日(水)

主要議題：第23回テーマ、当初予算、各部署実施計画ほか

第1回 2月20日(木)

主要議題：第22回事業報告、第23回当初予算、各部署実施計画ほか

#### 委員一覧

山本 忠明	京都府 総合政策環境部 大学政策課 主事
吉原 結城	京都市 総合企画局総合政策室 留学生支援係長
古賀 かおり	京都商工会議所 会員部 共済・雇用労務支援課 主任
保利 雅彦	一般社団法人京都経済同友会 事務局 課長
齊藤 明	公益財団法人 大学コンソーシアム京都 学生支援事業部 副事務局長・次長

## (2) 京都国際学生映画祭事業

### ① 京都国際学生映画祭企画検討委員会

第1回 6月18日(火)

主要議題：企画検討委員長選出、本祭会場、コンペ応募状況、一次審査状況、企画案提出ほか

第2回 8月31日(土)

主要課題：募集結果、審査状況、最終審査員候補報告、プレイベント案、プログラム案提出ほか  
第3回 11月5日（火）

主要課題：入選作品報告、本祭プログラム枠、広報協力依頼ほか  
第4回 12月10日（火）メール審議

主要課題：受賞作品報告、本祭プログラム・企画ほか  
第5回 2月27日（木）

主要課題：総括、次年度開催方針

委員一覧（※はオブザーバー）

由良 泰人（委員長）	大阪電気通信大学 総合情報学部 ゲーム&メディア学科 教授
江村 耕市	嵯峨美術大学 芸術学部 デザイン学科 教授
西 光一	京都精華大学 芸術学部 造形学科 教授
松本 ヨシユキ	立命館大学 映像学部 映像学科 教授
秦 岳志	京都芸術大学 芸術学部 映画学科 准教授
森脇 清隆	京都府京都文化博物館 映像文化創造支援センター長
山田 正和	公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事務局長
※板倉 一成	京都クロスメディア推進戦略拠点 事務局長
※横地 由起子	株式会社 Brand new day 代表取締役

### （3）障がい学生支援事業

#### ① 障がい学生支援事業企画検討委員会

第1回 5月16日（木）

主要議題：委員長選出、2024年度障がい学生支援事業

第2回 1月16日（木）

主要議題：2025年度障がい学生支援事業、KSSK開催、2024年度事業実施報告

委員一覧

山口 洋典	公益財団法人 大学コンソーシアム京都 学生支援事業部長（立命館大学教授）
太田 容次	京都ノートルダム女子大学 現代人間学部こども教育学科 准教授
阪口 春彦	龍谷大学 障がい学生支援室 室長（短期大学部社会福祉学科教授）
村田 淳	京都大学 学生総合支援機構（准教授）DRC（障害学生支援部門）・チーフコーディネーター
土橋 恵美子	同志社大学 学生支援センター学生ダイバーシティ・アクセシビリティ支援室 コーディネーター
大塚 ひろみ	立命館大学 学生部 衣笠学生オフィス
山田 正和	公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事務局長

#### ② 関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）幹事会

第1回 6月20日（木）

主要議題：第33回 KSSK の開催について

第2回 10月30日（水）

主要議題：第34回 KSSK の開催について

委員一覧

土橋 恵美子 (座長)	同志社大学 学生支援センター スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室 コーディネーター
村田 淳 (副座長)	京都大学 学生総合支援機構 (准教授) DRC (障害学生支援部門)・チーフ コーディネーター
金澤 明子	大阪公立大学 学務部 学生課 アクセシビリティセンター コーディネーター
八木 真紗子	大阪公立大学 学務部 学生課 アクセシビリティセンター コーディネーター
鈴木 美佳子	大谷大学 学生支援部 学生支援課 障がい学生支援チーム チームリーダー/コーディネーター
望月 直人	大阪大学 キャンパスライフ健康支援・相談センター 相談支援部門 准教授
永井 友幸	大阪大学 キャンパスライフ健康支援・相談センター 相談支援部門 特任研究員
西岡 崇弘	関西学院大学 学生生活動支援機構 総合支援センター
山口 七重	関西学院大学 学生生活動支援機構 総合支援センター 事務課
石原 加奈	関西学院大学 学生生活動支援機構 総合支援センター
梅本 直	京都外国語大学 学生支援部健康支援課 障がい学生支援室 コーディネーター
寺尾 藍子	京都精華大学 学生グループ 学生支援チーム 障がい学生支援室
田中 秀明	京都精華大学 学生グループ 学生支援チーム 障がい学生支援室
櫻村 健一	京都女子大学 学生相談・障がい学生支援センター 主任
楠 敬太	佛教大学 学生支援センター 講師
西浦 由季子	佛教大学 学生支援部 学生支援課
鶴野 恵子	桃山学院大学 学生支援課 キャンパスソーシャルワークセンター

以上

### (1) 事業の概況

#### 【事業計画の概要および実績】

#### ① 留学生誘致・支援事業

2015年度から、大学コンソーシアム京都が事務局となり、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関など産官学のオール京都による留学生誘致・支援組織「留学生スタディ京都ネットワーク」を設立し、留学生の受入体制の強化、留学生と留学生同士・日本人学生等との交流促進を図ってきた。「留学先としての京都」の認知度・ブランド力の更なる向上に向け、観光と連携した「学びのまち」の情報発信など、より効率的・効果的な留学生誘致プロモーション活動等に取り組んでいくこととしている。

また、京都で学ぶ留学生に対する交流・日本語学習・就職等の支援として、留学生と地域活動団体等との交流や留学生支援・交流コミュニティ「KyoTomorrowAcademy（京トゥモローアカデミー）」をプラットフォームとした日本語学習支援（スタディグループ等）、企業見学ツアー、他の団体との連携による就職支援、日本人学生と留学生の交流などに取り組むとともに、留学生対象のインターンシッププログラムの実施や、留学生向け就職支援情報ポータルサイト、留学生のための住宅情報発信サイトの運営などを行っている。

#### ② 学生の海外留学・交流促進事業

IELTS、TOEFLをはじめとする語学習得支援や「英語で京都をプレゼンテーション」研修を実施し、加盟校学生の海外留学促進やグローバル意識の向上等を目指し、取組を進めている。

加えて、財団ならではの取組として、例えば、1～2週間程度の期間で安価、安全かつ質の高い英語学習環境を提供できる、近場の東南アジアなどをフィールドとした安近短（安全・近場・短期）のプログラム開発を行っている。

併せて、教職員の英語力向上や国際実務に役立てるよう、教職員対象スキルアップ研修や、IELTS講座等を実施するとともに、加盟校における教職員の研修方法や留学生対応、海外大学との交流実績等の共有など、タイムリーかつニーズの高いテーマによる事例共有等を実施している。

### (2) 留学生誘致・支援事業（留学生スタディ京都ネットワーク事業）

#### 【事業計画の概要および実績】

#### ＜留学生スタディ京都ネットワーク＞

2015年度から京都地域における留学生（外国人研究者を含む。以下同じ）の誘致、受入体制の整備や、留学生の知識・経験を地域の国際化や活性化に活かすための仕組みづくりをオール京都で推進し、「大学のまち・学生のまち」としての京都の魅力向上を図るため、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関等による

「留学生スタディ京都ネットワーク」を運営し、事業を実施している。  
2025年3月末時点で94団体・機関に参画いただいている。

#### 【取組の概要】

- 1 「留学先・学びのまち」としての認知度の向上（情報発信）
  - 京都留学総合ポータルサイトの運営
  - 留学生PRチームの運営
  - 海外教育旅行向け支援メニューの提供
  - 「留学先としての京都」のブランド力測定手法等の検討
- 2 各大学・日本語学校の誘致活動等の支援
  - 国内外での京都進学説明会等の開催
  - 京都留学ガイド「STUDY KYOTO」の活用
  - 会員向けセミナー・交流会の開催
- 3 留学生受入環境の整備
  - 留学生向けインターンシップの実施【有給・無給ハイブリッド型として実施】
  - 留学生のための住宅情報サイトの運営
  - 留学生向け就職支援事業の連携促進
  - 留学生支援・交流コミュニティの運営

#### 1 「留学先・学びのまち」としての認知度の向上（情報発信）

##### (1) 京都留学総合ポータルサイト「STUDYKYOTO」の運営

8言語（英・簡・繁・韓・タイ・ベトナム・インドネシア・日）により、京都の学校情報、生活情報、就職情報等、京都留学に関する情報を留学検討層と在京留学生向けに発信するものである。

引き続き、在校生インタビューや留学生・OBOGインタビュー、Magazine 記事の追加等コンテンツの充実を図る。

アクセス数（2025年3月末時点）：163,873セッション  
（2023年度年間160,464セッション、

##### (2) 留学生PRチームの運営

京都で学ぶ現役留学生によるPRチームが、各国における日本留学関連の情報収集、京都の留学情報の現地向け発信をソーシャルメディア等により行うもの。

7か国（地域）〔中国、韓国、台湾、タイ、インドネシア、ベトナム、欧米・英語圏〕、9名体制でFacebook、Instagram、YouTubeを運営するとともに、中国版SNSのWeiboとWeChat、動画投稿サイトBilibiliなども活用し、順調にファン数を伸ばしている。また、新たに中国向けの発信ツール「Redbook」の運用を開始した。

[Study Kyoto Facebook] 英語 (20,033 ファン)、Thailand (6,399)、京都留學情報 (3,039 ファン)			
[Study Kyoto Weibo]	1,323 フォロワー	[Study Kyoto WeChat]	2,509 フォロワー
[Study Kyoto YouTube]	1,260 フォロワー	[Study Kyoto Bilibili]	254 フォロワー
[Study Kyoto Instagram]	2,243 フォロワー	※2025.3 末現在	

### (3) 教育旅行支援

日本を修学旅行（教育旅行）先として訪れる海外の高校生・大学生ツアーグループ、教職員グループに対し、京都留学情報の提供や京都の大学・日本語学校・専修学校等を交えた説明会、京都の大学等からの模擬講義、学生交流等のコンテンツをコーディネートする教育旅行支援を実施するもの。

2024年7月には香港の中学校（4校）が京都大学を訪問した際に、京都留学についての魅力を説明した。10月には京都府を通じてベトナムからフエ大学の学生の訪問受入れを実施するなど、徐々に海外からの訪問依頼等が増加している。

### (4) 「留学先としての京都」のブランド力測定手法等の検討

留学生にとっての京都留学の魅力やプロモーション活動の成果等について継続的に測定するため、2023年度に第3回目の「留学生満足度調査」を実施したもの。20サンプル以上の回答数をいただいた学校への個別フィードバックを行うとともに、2024年5月に開催した留学生スタディ京都ネットワーク総会において実施結果を報告した。

#### <主な集計結果>

##### (ア) 京都についてのイメージ

順位	1位	2位	3位	4位	5位
項目	文化的なまち	古都	観光のまち	大学・学生のまち	安全なまち

##### (イ) 京都での留學生活の全体的な満足度（無回答除く％）

項目	とても満足	満足	ふつう	あまり満足していない	ぜんぜん満足していない
今回	30.6	46.1	19.3	3.0	0.9
前回	26.9	46.2	23.7	2.6	0.6

##### (ウ) 友達への京都留學推薦度（無回答除く％）

項目	とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	ぜんぜんそう思わない
今回	32.8	43.0	20.4	2.1	1.8
前回	28.3	43.0	21.9	5.4	1.4

##### (エ) 日本留學で参考になった情報や出来事

順位	1位	2位	3位	4位	5位
項目	Web, 雑誌, 本等	SNS	友だちや留學生	留學エージェント等	留學フェア

##### (オ) 将来、京都で仕事をしたいか（無回答除く％）

項目	はい	いいえ	まだ決めていない
％	43.3	12.9	43.7

(カ) 京都で仕事を見つけた後、将来どうしたいか(無回答除く%)				
項目	京都ですっと仕事がしたい	将来は自国に帰って仕事がしたい	まだ決めていない	その他
%	31.2	48.4	50.5	4.2

(キ) 留学を続ける上で困っていること(複数回答%)						
項目	進路(進学・就職)	学費	学習	話し相手がない	ない	その他
%	49.5	31.6	28.3	12.6	22.1	3.1

## 2 各大学・日本語学校の誘致活動等の支援

### (1) 京都留学説明会等

NW加盟校の留学生誘致活動等の支援として、海外で京都に特化した京都留学説明会を開催し、京都の留学先としての知名度向上を目指すとともに、留学生の誘致促進を図るもの。

2020年度から22年度はオンラインフェアの取組が中心だったが、2023年度以降、現地フェアの参画を本格的に再開。

国・地域	2024年度
インドネシア	11月24日 ジャカルタ〔主催：日本学生支援機構（JASSO）〕 2024年度日本留学フェア（インドネシア）
	2月28日 インドネシア元資源エネルギー大臣 スディルマン・サイード氏来訪（計6名）インドネシアにおける留学事情や京都における留学生誘致に関する意見交換を実施
韓国	8月3日：釜山、4日：ソウル〔主催：日本学生支援機構（JASSO）〕 2024年度日本留学フェア（韓国）
中国	5月18日：上海、19日：重慶〔主催：日中文化交流センター〕 日本留学フェア in CHINA【資料参加】
	8月下旬：京都市・西安姉妹都市50周年事業への協力 西安培華学院/西安外語大学における資料及びノベルティ提供 ※ 京都留学の説明については京都市総合企画局国際交流・共生推進室から実施
	9月17日：日中教育国際シンポジウム〔主催：日中文化交流センター〕 会場：桜美林大学(神奈川県) シンポジウムに出席していた中国教育機関に対して、留学生スタディ京都ネットワークの取組や京都留学の魅力などを説明
	11月13日：第10回日中教育交流会〔主催：日中文化交流センター〕 会場：東京国際交流館プラザ平成 ブース出展を行い、交流会に出席していた中国教育機関に対して、留学生スタディ京都ネットワークの取組や京都留学の魅力などを説明
	2月15日：香港〔主催：日本留学支援協会〕 日本留学文化展(香港)【資料参加】

ベトナム	10月19日：ホーチン、20日：ハノイ[主催：日本学生支援機構（JASSO）] 2024年度日本留学フェア（ベトナム）
	11月23日：オンライン 日越大学グエン・テイ・トク・フオン先生を通じて、現地学生に対して、留学生スタディ京都ネットワークの取組や京都留学の魅力などを説明
台湾	9月15日：台北 [主催：ライセンスアカデミー] 日本留学フェア in 台湾
タイ	1月25日～26日 バンコク [主催：J-education] 2025年初春 タイ留学フェア
JASSO	12月8日：オンライン[主催：日本学生支援機構（JASSO）] 日本留学オンラインフェア

## (2) 首都圏をはじめとした日本語学校への京都留学説明会等

国内における留学生誘致をより戦略的に進めていくため、首都圏の日本語学校で学ぶ留学生や教職員を主な対象に、京都の大学等への進学を促進することを目的とした「京都の大学等進学説明会」や「京都の大学と日本語学校の教職員交流会」などを実施するもの。

4月16日	首都圏日本語教育機関との情報交換（留学生サポートフォーラム） 主催：アクセスネクステージ 会場：渋谷クロスタワー24階
5月16日	日本語学校教職員対象 国内留学フェアへの出展（大阪） 主催：アクセスネクステージ 会場：アクセス梅田フォーラム
5月21日 ～24日	日本語学校教職員対象 京都進学オンライン説明会主催 京都側の大学・短大・専修学校等が全国各地の日本語学校の教職員に対して学校情報のPR等を実施（1校当たり20分を基本とし、留学生に参加いただける学校については時間延長）。 参加校：大学・専修学校側24校 日本語学校側：33校
5月28日	留学生対象 国内留学フェアへの出展（大阪） 主催：アクセスネクステージ 会場：アクセス梅田フォーラム
5月29日	留学生対象 国内留学フェアへの出展（東京） 主催：さんぽう 会場：AP西新宿6階
6月6日	日本語学校教職員対象 京都進学説明会の主催（東京） 主催：留学生スタディ京都ネットワーク 委託事業者：ライセンスアカデミー 会場：ライセンスアカデミー本社会議室 参加校：大学・専修学校側18校 日本語学校側：17校

7月12日	留学生対象 京都の留学生・日本語学校で学ぶ留学生の交流会 主催：留学生スタディ京都ネットワーク 会場：キャンパスプラザ京都 ※ オンラインと対面のハイブリッド ※ 京都の大学に通う留学生 11大学 22名 日本語学校留学生 4校 5名
10月29日	日本語学校教職員・留学生対象 京都進学フェアの開催（大阪） 委託事業者：アクセスネクステージ 会場：アクセス梅田フォーラム 参加校：大学・専修学校側16校 日本語学校側：6校
11月22日	日本語学校教職員・留学生対象 京都進学フェアの開催（オンライン） ※ 従来のzoomでのオンライン説明会では参加者数が低調であった。その要因としては、リアリティのなさや質疑応答のやりにくさなどが考えられる。一方、教職員側には、移動を伴わず参加できるオンラインでの説明会は一定程度のニーズがある。そのため、zoomと比べて「より対面に近い実感が得られるような方法」として、メタバース空間（就職説明会などで用いられている）を活用したオンライン説明会として開催した。 参加校：大学・専修学校側11校 日本語学校側：8校

### (3) 京都留学生フォト・動画コンテスト

従来から、留学生目線での京都留学の魅力を表現したフォトや動画を募集し、国内で学ぶ留学生や海外の学生に向けたコンテンツとして活用することで、京都への留学生誘致につなげてきた。

2023年度については、フォト・動画とも一定程度ストックがあることから実施しなかった。

2024年度においては、出展による誘致活動や留学生の交流事業など、他事業への注力の必要もあり、それらの兼ね合いもあるため、実施を見送った。

### (4) 留学生スタディ京都ネットワーク会員向けセミナー

先進事例等の把握や会員間の交流促進のため、有識者等を招いたセミナー・交流会等を実施。

第1回 5月31日	2024年度留学生スタディ京都ネットワーク総会・情報交換会 参加者：55団体（総会出席者数） <情報提供団体> ① 留学生スタディ京都ネットワーク、②京都府、③京都市、④京都市国際交流協会、⑤グローバルセンター、⑥グローバルトラストネットワークス、⑦ハチノジ、⑧キャリアリンク、⑨アドリンク
第2回 7月24日	外国人留学生の在留審査手続の申請取次に係る研修会（対面：第1講義室） 講師：大阪出入国在留管理局 京都出張所 大塚 修三 参加者：73名

第3回 1月16日	テーマ：ベトナムにおける日本留学動向(※) 講師：学校法人立命館 総合企画部 総合企画課 ASEAN 事務所(ハノイ)所長 兼インドオフィス(デリー)所長 若山 周平 様  参加者：32名
--------------	--

※ 大学コンソーシアム京都「加盟大学の事例共有セミナー」としても実施

### 3 留学生の受入環境整備・コンテンツの強化

(\*) 印は「留学生支援・交流コミュニティ(KyoTomorrow Academy)事業」関連事業

学生生活・就職活動の体験や情報を共有する仲間を増やすための留学生支援・交流コミュニティ「KyoTomorrow Academy(京トゥモローアカデミー)」を活かして、「日本語学習支援」(日本語スタディグループや日本語学習プログラムの運営)、「就職支援」(地元企業を知る企業見学ツアー(Company Visit)や他団体との連携による就職支援)、「交流支援」(留学生同士、留学生と日本人学生、留学生と地域活動団体等との交流機会の創出)を実施。

#### (1) 留学生向けインターンシップ

京都地域の大学等で学ぶ留学生に、京都地域の企業の事業内容を理解する機会を提供するとともに、留学生と企業との相互理解を深め、卒業後の京都における採用促進や就職後の定着を図るため、有給及び無給によるインターンシッププログラムを提供するもの。

	内容等
5月22、24、25日	ガイダンス
5月31日	参加企業募集〆切
6月15日	企業との交流会
8月上旬	マッチング決定
8月8日	事前研修(対面：集合研修)
8月13日 ～9月末	インターンシップ就業 (留学生スタディ京都ネットワークにおいても、8/20-24に短期・有給で1名の留学生を受入れた。) 全体では15社・21名でインターンシップ受入が成立
10月	事後研修(オンライン：個別研修)

#### (2) オープン・カンパニー(タイプ1)(\*)

京都企業について学ぶ機会の少ない留学生に訪問の機会を提供することにより、京都企業の理解と留学生の京都での就職・定着の促進を図るものとして、「企業訪問プログラム Company Visit」を実施してきた。この度、インターンシップ制度改正に伴い、オープン・カンパニー(タイプ1)として実施していくものである。

7月10日	株式会社 サムコ（参加留学生数：10名） (1) 企業概要説明（京都市伏見区の半導体製造事業者） (2) 謎解きワークショップ (3) 半導体業界や当社の事業内容、技術について詳しく紹介 (4) 質疑応答
12月19日	山田繊維（参加留学生：9名） (1) 企業概要や海外展開を含めた事業内容 (2) フランス出身の外国人職員とのワークショップ (3) 「ふろしき」の魅力や使い方講座

### (3) 就業支援事業連携促進

京都で学ぶ留学生がスムーズに就職活動を行えるよう、就業支援事業を行う団体が連携を図り事業を実施しており、その一環として、京都の大学等の就職支援担当者を対象に、留学生向け就業支援事業の紹介を行う「留学生対象就業支援事業説明会」を開催。

4月25日	大学・学校向け留学生対象就業支援事業説明会（対面） ・留学生対象就業支援事業を行っている7団体から今年度の事業計画を説明 ・2023年7月に開設された京都国際スタートアップセンターの事業紹介 ・出席者による意見交換・発表 ・参加実績 16校 19名
10月	府・市及び関係機関による第1回就業支援担当者会議→資料共有等で代替
3月13日	府・市及び関係機関による第2回就業支援担当者会議

### (4) 京都府や京都市の就職支援の取組との連携

京都府や京都市で実施している就職支援や日本語教育等の取組について、共催・後援や周知広報などの形で連携を図っている。

	内容等
1月22日・28日	《後援》 京都市・アイシーエル 留学生採用実践的 ポイントを知るセミナー
1月24日	《後援》 京都市・京都市高度技術研究所（ASTEM） 留学生・外国人創業希望者対象「京都の外国人起業家との交流会」
2月27日	《後援》 京都市・京都市高度技術研究所（ASTEM） 「留学生と京都のスタートアップ・地域企業等との交流会」
2025年度	【共催】 京都市・京都府 京都発！留学生ビジネス日本語実践プログラム

(5) 留学生の交流・連携促進（＊）

留学生支援・交流コミュニティ「KyoTomorrow Academy(京トゥモローアカデミー)」を活かした、学生生活や就職活動等における留学生同士、留学生と日本人学生、留学生と地域活動団体等との交流を促進。

[KTA コミュニティ活動等]

4月20日	春のウェルカムセッション（会員勧誘活動、キャンパスプラザ京都）留学生28名参加
5月18日	京都ジョブ博取材
5月29日	就活準備フェア取材
7月13日	就活準備フェア in イオンモールKYOTO
9月18日	サムコ(株)企業見学会
10月19日	秋のウェルカムセッション（会員勧誘活動、キャンパスプラザ京都）留学生39名参加
10月26日	京都ジョブフェア引率参加 留学生10名参加

[留学生と地域の交流・連携促進（KTA 文化交流）]

留学生と留学生の交流を希望する市民活動団体等との交流会を開催し、マッチングの機会を創出するとともに、留学生交流事業担当者会議をベースに、担当者間の情報共有や留学生交流に関する情報の効果的な発信手法の検討など事業連携を促進するもの。

7月6日	～高級絹織物・西陣織を学ぼう！～ 会場：西陣織会館（京都市上京区） 参加者数：留学生32名
11月2日	～和菓子作り体験～ 会場：甘春堂（京都市東山区） 参加者数：留学生数30名
12月7日	～紅葉狩りとウォークと石臼抹茶づくり～ 会場：茶づな（京都府宇治市） 参加者数：留学生数30名
3月22日	～着物体験～ 会場：京ごごろ松本、その後近隣のスポットなど散策 参加者数：留学生数32名

(6) 日本語で話そう！（Chat in Japanese）（日本語スタディグループ）（＊）

日本人学生サポーターを中心に留学生向けに日本語を使ったアクティビティを実施。

5月11日	日本語で話そう！①（33名参加）ボードゲームを使ったアクティビティ
6月29日	日本語で話そう！②（36名参加）京都水族館へのお出かけ企画
7月20日	日本語で話そう！③（14名参加）ウイングス京都・祇園祭
8月23日	日本語で話そう！④（17名参加）地藏盆、夏祭り・昔遊び
9月21日	日本語で話そう！⑤（15名参加）日本の苗字
11月2日	日本語で話そう！⑥※（30名参加）和菓子作り体験

11月30日	日本語で話そう！⑦ (20名参加) しりとりなど言葉遊び
12月7日	日本語で話そう！⑧※ (30名参加) 紅葉狩りとウォークと石臼抹茶づくり
12月21日	日本語で話そう！⑨ (36名参加) KTA 忘年会
1月18日	日本語で話そう！⑩ (14名参加) 上賀茂神社 初詣&スポーツ
2月21日	日本語で話そう！⑪ (29名参加) 和束町 手打ちうどん作りと茶畑
3月8日	日本語で話そう！⑫ (17名参加) 卒業・進級に関する日本語学習
3月22日	日本語で話そう！⑬ (32名参加) 着物体験
3月27日	日本語で話そう！⑭ (25名参加) 日吉ヶ丘高校にて部活動体験

※ 留学生と地域の交流・連携促進としても実施

## (7) 日本語学習支援プログラム（\*）

＜キャリア形成のための日本語講座＞

留学生の日本語運用力の更なる向上を目指し、何らかの知識・経験が得られる機会と併せて日本語学習ができるセミナーを企画・開催（全3回シリーズ）。今年度は秋学期に実施〔講師：京都光華女子大学キャリア形成学科 教授 上田 修三氏 定員15名〕。

9月28日	第1回講座 自己紹介の基礎について学ぶ（留学生8名参加）
10月5日	第2回講座 日本の企業文化を学ぶ（留学生8名参加）
10月12日	第3回講座 就職活動や面接・留学生の強みについて学ぶ（留学生7名参加）

＜【新規】 やってみよう グループディスカッション＞

今年度新規の取組として実施。ファシリテーションについては、「キャリア形成のための日本語講座」でも講師をお願いしている京都光華女子大学キャリア形成学科の上田修三教授に依頼している。

日時：2025年2月6日（木）14:00～

参加者：京都で学ぶ留学生4名×日本人学生7名

内容：①就活でのグループディスカッションについて知ろう

②1グループ4～5名で就活本番さながらのグループディスカッション体験

③講師からの個別アドバイス

## (8) 京都プレミアム体験・交流事業

留学生満足度調査において、「日本の伝統文化が残っていること」が京都を留学先として選んだ主な理由とする留学生が多い。一方、「課外活動（学外での学び）」や「学校外での交流（とりわけ、日本人学生との交流）」の満足度については、相対的に低水準にとどまっている。

これを踏まえ京都市では2024年5月に補正予算を市会に上程。オール京都によるネットワークが有する多様なつながりを活用し、「文化の都・京都」で学ぶ魅力をより深く留学生に実感してもらえよう、京都ならではの多様で奥深い魅力を学ぶ体験の場を創出するとともに、日本人学生を交えた事業内容とすることで、「留学生と日本人学生の交流の場」としても展開していくこととした。

7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>留学生スタディ京都ネットワークにおける事業計画の修正及び予算の補正</li> <li>京都市大学政策担当との間で事業内容協議</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>公募型プロポーザルによる委託事業者募集（8月5日～20日）、事業者決定（8月23日：日本旅行株式会社）</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体の交流・体験イベントの企画立案</li> <li>広報・参加者募集</li> </ul>
11月9日	<p>交流・体験イベント（1回目） 場所：京都市左京区（大原） 内容：OHARA FARMYにて収穫体験/三千院（拝観・法話） 参加者： （1）日本人学生 合計9名 （2）外国人留学生 合計9名</p>
1月11日	<p>交流・体験イベント（2回目） 場所：京都市東山区 内容：甘春堂東店にて和菓子作り体験/高台寺において茶室見学・茶席体験/その他特別拝観 参加者： （1）日本人学生 合計7名 （2）外国人留学生 合計8名</p>
2月22日	<p>交流・体験イベント（3回目） 場所：京都市右京区（嵐山） 内容：京都のアート体験（福田美術館・人力車・和菓子体験②） 参加者： （1）日本人学生 合計7名 （2）外国人留学生 合計9名</p>

### （3）学生の海外留学・交流促進事業

#### 【事業計画の概要および実績】

#### (1) オーストラリア（メルボルン）語学研修プログラム留学 ※単位互換〔龍谷大学国際学部主催〕

加盟校学生に様々なレベルでの留学機会を提供できるよう、大学コンソーシアム京都とビクトリア大学連携組織との協定に基づくオーストラリアビクトリア州メルボルンでの留学派遣プログラムを実施してきたもの。2023年度以降の実施を見送っている。

- 2009年10月1日に大学コンソーシアム京都とビクトリア州大学連携組織の間で留学機会に関する一般協定を締結、上記協定に基づき、龍谷大学からの単位互換事業としてメルボルン語学研修プログラムがスタート。
- 同協定については3年ごとの自動更新となっており、現在の協定の有効期間は2021年10月1日から

2024年9月30日となっている。

- その後、現地関係者からの情報収集を継続しているが、現時点では具体的なプログラムの構築が困難であることから、協定については失効としたうえで、今後の在り方を検討する。

## (2) 英語で京都をプレゼンテーション

海外留学を目指す学生や英語で日本・京都の魅力を発信することに興味がある学生を対象に、日本文化や京都の奥深い魅力を英語で知り理解する機会を提供し、京都や日本の魅力について英語でプレゼンテーションできる能力の向上を図る研修事業を実施。

<2024 年度>

3月中旬	実施に関して Web 掲載
4月	受講生募集（～5月中旬）受講決定者 21名
5月25日	①開講、IceBreak・日本文化概論
6月1日	②寺院見学・歴史[聖護院門跡]
6月8日	③伝統文化・茶道体験 [宝松庵]
6月15日	④伝統文化・華道体験 [キャンパスプラザ京都]
6月22日	⑤留学生セッション・グループワーク
7月6日	⑥個人プレゼンテーション（最終：18名）

## (3) 英語試験対策講座

日本人学生の海外留学促進に向けた IELTS や TOEFL など英語試験対策講座を実施。

6月29日	(学生対象) TOEFL iBT テストスキルアップセミナー 32名受講
8月2日	(学生・教職員対象) IELTS スキルアップセミナー 15名受講
12月7日	<後援事業> TOEFL iBT テスト®スキルアップセミナー

## (4) 安近短（安心・安価、近場、短期）な語学留学プログラムの開発

加盟校学生に様々なレベルでの留学機会を提供するとともに、中長期にわたる本格的な海外留学につながるきっかけづくりを促進するため、留学初心者でも参加しやすい安近短な留学プログラムの開発を進めてきた。2023年度は京都外国語大学や、国立マレーシア科学大学日本文化センターにもご協力いただき、事前調査を行っており、2024年度は実際の学生を募集して留学・研修プログラムとして実施する。経費のうち、事前研修や現地での研修に係る経費の一部を財団予算で負担する（別紙参照）。

<これまでの検討経過・今後の予定など>

2019年度 第5ステージプランにおいて「安近短（安心・近場・短期）の留学プログラム開発」について記載し、その具体化に向けた検討に着手

2020年度～2021年度 コロナ禍に伴い検討できる状況ではなかったため一旦、取組を凍結

2022年度 国際連携事業運営委員会で課題提起したところ、京都外国語大学を通じてマレーシア科学大学日本文化センター長の徳永氏を紹介いただき、複数回意見交換を実施

2023年度 上半期 徳永氏と複数回意見交換を実施、11月にマレーシア科学大学及びジョージタウン

各所訪問。その後、旅行者へのヒアリングを経て、プログラム作成及び調整に着手

2024年4月～8月 研修内容の詳細な調整、国際連携事業運営委員会委員への情報提供

9月 運営委員会における報告、参加学生の募集開始  
(ホームページやKYO-DENTへの掲載、加盟校へのメール案内及び訪問説明など)

10月17日 同日時点で定員上限(12名)に達したため募集を停止

11月15日 <当初>参加学生の募集〆切  
※ 定員未達の場合は二次募集等を実施する予定だったが、実施可能性は低い

11月末以降 事前説明会を毎月1回程度開催

- ・旅行会社からの注意事項や各種手続きの説明
- ・現地からの情報提供
- ・安全研修
- ・事前学習

### (5) 京都韓国教育院との連携

京都韓国教育院は、韓国と外務省が協議の上に設立した駐大阪大韓民国総領館の附属機関である。2022年度に、当時の留学生スタディ京都ネットワーク留学生誘致プロモーションワーキンググループの庵途座長(立命館大学文学部教授)からの紹介があり、日本人における韓国への留学促進及び韓国から日本への留学促進の両方向の進展を見据え、会議やイベントへの出席を通じて、今後取組に向けた情報収集及びパイプ作りを進めてきている。

#### <取組の実績>

- ・ 韓国への留学フェアへの出席や周知協力(毎年5～6月頃)
- ・ 韓国教育院や大学関係者との勉強会出席(毎年10月頃)
- ・ 韓国人留学生と韓国からの高校生の交流会・研修会への協力
- ・ 留学生満足度調査に実施に関する周知協力
- ・ 韓国からの留学事情に関する情報提供 など

### (5) 教職員スキルアップ研修

高等教育の国際化が加速するなか、大学教員・職員の英語運用能力に加え、多様な文化的背景を持つ留学生と円滑な意思疎通を図るための、語学を超えた習慣や社会通念、宗教等への理解も欠かせないものとなっていることから、実務能力の底上げとスキルアップに対する意欲向上を図るため、様々な場面を想定したケーススタディができる英語運用能力向上研修や英語圏以外の文化を学ぶ研修を実施。

	日時:	研修内容:
第1回 【語学】	7月20日(土) 9:30 - 16:30	大学でのコミュニケーションスキル 講師: オーウェン・マーク・コズロウスキ氏
第2回 【文化】	7月27日(土) 9:30 - 16:30	中国文化理解研修 講師: 毛 興華氏
第3回(※) 【文化】	8月24日(土) 9:30 - 16:30 オンライン(Zoom)	東南アジア諸国を中心としたイスラム文化研修 講師: ハンガルダ・プリヤヒタ氏

第4回 (※) 【語学】	9月14日(土)/18日(水) 13:30 - 16:30 オンライン(Zoom) ※ 受講申し込みが1名のみであったため、開講せず	ビジネス英語リテラシー：大学における異文化理解と英語によるコミュニケーション 講師：長崎大学 准教授 西川 美香子氏
第5回 【語学】	11月9日(土) 9:30 - 16:30	Email & ウェブ会議で使える英語表現 講師：オーウェン・マーク・コズロウスキ氏
第6回 【語学】	11月30日(土) 9:30 - 16:30	Meeting and Discussion 講師：グレン・グレガス氏

(6) 教職員向け IELTS Pretesting 体験会

※ 学生向けと合同実施

(7) 加盟校の国際化に向けた取組事例共有セミナー

教職員の国際化支援の一環として、大学における様々な国際化の取組に係る事例を共有する目的で、セミナー・講座等を実施するもの。今年度については、本項目及び留学生スタディ京都ネットワークの「会員向け交流セミナー」として、2025年1月16日に立命館大学ASEAN事務所の協力を得てベトナムの留学事情などのテーマでセミナーを開催した（参加者 32名）。

<別紙>

2025年3月「マレーシア・ペナン異文化理解研修」

1 経過・事業趣旨

第6ステージプランにおいて「(学生の) 海外留学・交流促進事業」を重点施策に掲げておる、その具体的な取組として、「マレーシア・ペナン異文化理解研修」を実施したものである。

2 研修の狙い

従来の学生の海外留学の意義等を念頭に置き、英語をはじめとした語学学習の意欲向上や多文化共生に関する理解を深めるなどの効果を狙うものである。

特に、今回の研修先であるマレーシア・ペナン州ジョージタウンは、古くからの東西交易の舞台として歴史遺産も多いこと、世界から多くの観光客が訪れるなど、京都との類似性も高い。まちづくりや観光政策など、リアリティを持った学びにつなげることが可能なエリアである。

現地のマレーシア科学大学の協力を得て、施設での学びや学生バディとの交流などを実施することができ、実感を伴った学びや他者への寛容、リスペクトする精神を育むには格好の舞台でもある。

今回の研修は本格的な留学というものではないものの、将来の本格的な留学に向けたマインドの醸成であったり、社会人になって以降も国際感覚を持って幅広く活躍するための「きっかけづくり」であったり、第6ステージプランに掲げた「アントレプレナーシップ (起業精神)」を育むことなど、学生のような成長にも大いに資するものとして企画検討を進めてきた。

3 学生参加費

305,780 円

(全体経費の内、現地移動経費や研修の実施企画に係る経費約 500,000 円については大学コンソーシアム京都で負担することにより、実質的には学生側の負担額を1人当たり3~4万円程度軽減させている。)

4 スケジュール

日付	時間帯	訪問先
3/1(土)	夕方	関西国際空港近辺にて前泊
3/2(日)	7:00	コンソ職員・旅行事業者 関西国際空港にて集合、学生到着受付
	7:30	参加学生集合時刻→搭乗準備
		関西国際空港 9:55→クアラルンプール空港着 15:55 (MH1162 便)
		クアラルンプール空港 19:00→ペナン空港 20:00 (MH1162 便)
		入国手続きの後、専用車にて宿泊先へ移動
3/3(月)	午前	ロヒンギャ難民教育センター 難民学習及び交流
	午後	マレーシア科学大学 英語講義 (地理・歴史概要)・キャンパスツアー
3/4(火)	終日	クアラ・セペタンにおいてマングローブ保護に関する学習
3/5(水)	終日	ジョージタウン 世界遺産エリアフィールドワーク

3/6(木)	午前	ペナン国立公園 森林における生物多様性学習
	午後	海洋科学センターCEMACS 海洋環境保護に関する講義・実習
3/7(金)	午前	日系企業訪問 住友ゴム(株)マレーシア工場(工場見学、職員との交流)
	午後	マレーシア科学大学 英語講義(伝統文化概要)
3/8(土)	終日	フィールドワーク/学生プレゼン準備
3/9(日)	終日	フィールドワーク/学生プレゼン準備
3/10(月)	午前	マレーシア科学大学 学生バディとの交流会
	午後	マレーシア科学大学 学生最終プレゼン・講評・クロージング
		終了後、専用車でペナン空港へ移動
		ペナン空港発 20:35→クアラルンプール国際空港 21:35 着 (MH1165 便)
		クアラルンプール空港 22:40 発→機中泊 (MH052 便)
3/11(火)		関西国際空港到着 5:40 諸手続終了後、解散

※1 滞在先は Hotel Neo+ (ジョージタウン中心部に立地し、安全性や快適性、経済性を考慮)

※2 移動について、基本的にはマレーシア科学大学が手配したバス利用(フィールドワーク等を除く)  
その際はマレーシア科学大学から講師(2~3名)及び学生バディ(5名)が同行

## 5 写真

① 関空出発時



② ロヒンギャ難民センターでの活動



③ マレーシア科学大学での講義(3/3)



④ マングローブ林での保護活動



⑤ 世界遺産視察



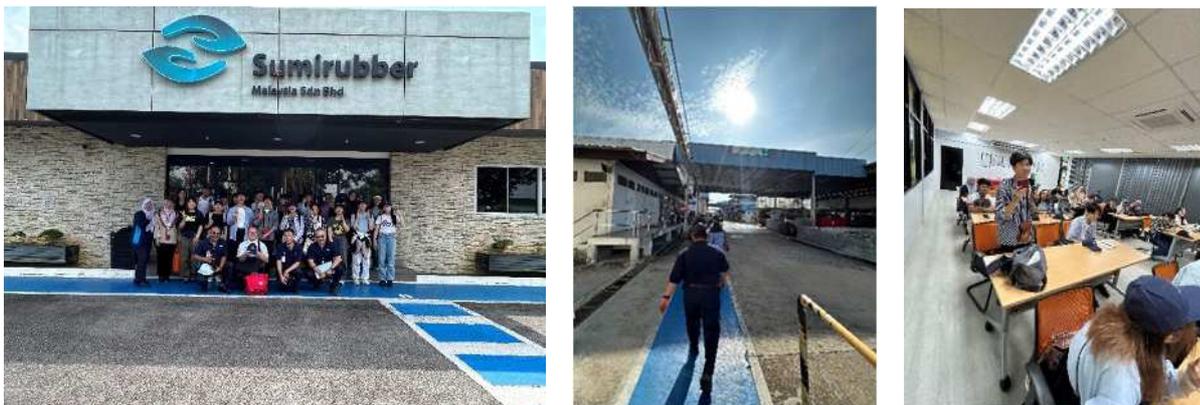
⑥ ペナン国立公園での生物多様性学習



⑦ 海洋科学センターでの実習



⑧ 企業見学（住友ゴム工業マレーシア工場）



⑨ マレーシア科学大学での講義(3/8)



⑩ 最終日



6 参加学生の概況（定員=参加者数=12名）

(1) 所属大学

京都大学1名、京都光華女子大学1名、京都女子大学1名、京都府立大学7名、同志社大学2名

(2) 学年

1回生6名、2回生3名、3回生3名

(3) 性別

男子学生2名、女子学生10名

## 7 関連する取組など

### (1) 事前学習

日程	内容
第1回 11月20日(水) 17:30-19:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学生同士の親睦</li> <li>●海外旅行の手続きと準備(旅行会社から説明)</li> <li>●マレーシア文化講座(マレーシア・サンウェイ大学)</li> </ul>
第2回 12月18日(水) 17:30-19:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マレーシアからの留学生2名によるプレゼンと交流「マレー語を学ぼう」 「数字・挨拶・宗教・習慣・風習・マレーシアの祭など、Q&amp;A」</li> <li>●英語講座①</li> </ul>
第3回 1月15日(水) 17:30-19:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SDGs学習と難民学習などグループ活動の内容決め</li> <li>●英語講座②</li> </ul>
第4回 2月19日(水) 17:30-19:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出発前最終確認(旅行会社から説明)</li> <li>●グループ活動や3/8および3/9の活動内容協議</li> <li>●役割や部屋割りの決定</li> </ul>
第5回(事後) 3月19日(水) 10:00-12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>●振り返り学習</li> <li>●グループ発表</li> <li>●次年度以降の学生に対するメッセージなど</li> </ul>

### (2) 安全管理に関する取組

- ① 海外旅行保険への加入
- ② 外務省職員による安全研修セミナー(2025年1月22日(水)16:00-17:00 オンライン)。
- ③ 緊急連絡体制の構築
  - ・ LINE、WhatsappなどSNSや無料通話アプリの活用
  - ・ 財団PCを活用したテレワークシステムの活用
  - ・ 事業部の他の職員における携帯電話の携行
  - ・ 事前の危機管理体制の構築(危機の種別、レベル、その場合の連絡先など)

## 国際事業部 各種委員会等の開催について

◎：委員長又は座長

※ 会議日程は2024年度のものであり、2025年度については調整次第更新していく。

### (1) 国際連携事業

#### ① 国際連携事業運営委員会

2024年12月10日 第一回会議

2025年3月14日 第二回会議

黒住 淳人	京都外国語大学 国際部 部長
松尾 章子	京都華頂大学 総合文化学科 学科長 教授
OBERMEIER Andrew (アントリュー・オーバマイヤー)	京都教育大学 教育学部 准教授
堀田 幸平	京都産業大学 国際交流センター事務室 主任
羽者家 真理	京都女子大学学術研究支援部 国際交流課長
森川 桃子	京都芸術大学 教学支援二課 国際交流センター 職員
Steven Herder (スティーブ・ハーダー)	京都ノートルダム女子大学 国際言語文化学部英語英文学科教授 国際教育センター長
井上 真琴	同志社大学 国際連携推進機構 事務部長
鶴 浩幸	明治国際医療大学 国際交流推進センター長
遠山 千佳	立命館大学 法学部 教授 兼 衣笠国際教育センター長
八幡 耕一	龍谷大学 教授 グローバル教育推進センター長
中村 尚志	京都市総合企画局 総合政策室 留学生支援・大学連携推進担当課長
山田 正和	公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事務局長
◎ 今西 利之	公益財団法人 大学コンソーシアム京都 国際事業部長 京都産業大学 外国語学部 学部長

### (2) 留学生スタディ京都ネットワーク事業

#### ① 留学生スタディ京都ネットワーク運営委員会

2025年2月4日 第一回会議

2025年3月27日 第二回会議

道上 初美	京都大学 教育推進・学生支援部国際教育交流課長
木村 優里	同志社大学 留学生課長
片岡 龍之	立命館大学衣笠 国際課長
篠田 真智子	龍谷大学 グローバル教育推進センター事務部課長
小寺 敦子	京都情報大学院大学 学生課長
荒起 北斗	学校法人瓜生山学園 京都文化日本語学校校 事務局長
阿部 和博	学校法人京都YMCA学園 事務局長
柴 隆利	京都商工会議所 会員部長

下間 健之	一般社団法人京都経済同友会理事、事務局長
畑中 健司	京都府知事室長
西川 千嘉子	京都市 総合企画局 大学政策部長
山田 正和	大学コンソーシアム京都 事務局長・専務理事
◎ 今西 利之	大学コンソーシアム京都 国際事業部長

## ② 留学生誘致プロモーションワーキンググループ

2024年11月15日 第一回会議 ②③の合同ワーキングとして

2025年2月27日 第二回会議 ②③の合同ワーキングとして

◎ 遠山 千佳	立命館大学 法学部 教授 兼 衣笠国際教育センター長
韓 立友	京都大学 国際高等教育院 准教授
大羽 勇憲	京都精華大学 グローバル推進グループ長
小林 忍	京都ノートルダム女子大学 教育支援部 国際教育課長
荒起 北斗	京都文化日本語学校 事務局長
阿部 和博	学校法人京都 YMCA 学園 事務局長
庄 秀輝	日本貿易振興機構 京都貿易情報センター 所長
塩見 康子	京都府 国際課 参事
中村 尚志	京都市 総合企画局総合政策室 留学生支援・大学連携推進担当課長

## ③ 留学生満足度向上ワーキンググループ

2024年11月15日 第一回会議 ②③の合同ワーキングとして

2025年2月27日 第二回会議 ②③の合同ワーキングとして

◎ 中谷 真憲	京都産業大学 法学部 教授
道上 初美	京都大学 教育推進・学生支援部国際教育交流課 課長
岩田 淳史	京都先端科学大学 国際センター 課長
片岡 龍之	立命館大学衣笠 国際課長
作岡 友樹	学校法人大和学園 法人事務局 総合企画・大学設置準備室 部長
井尾 美穂	ISI ランゲージスクール京都校 副校長
下間 健之	一般社団法人京都経済同友会 理事事務局長
中口 優子	公益財団法人 京都府国際センター 事務局長
井上八三郎	公益財団法人 京都市国際交流協会 事務局長
今居 英和	特定非営利活動法人 フリーダム 理事長
塩見 康子	京都府 国際課 参事
中村 尚志	京都市 総合企画局 総合政策室 留学生支援・大学連携推進担当課長

## (1) 調査企画事業

### 【事業計画の概要および実績】

第6ステージ（2024-2028年）の2年目にあたる2025年度は、初年度に生じた各事業の課題を検証しつつ、引き続きプランに掲げた重要指標（KGI）の達成を目指した取組を推進する。

共同研究調査事業においては、複数加盟校の教職員や産官学連携による共同研究、指定する課題も大学コンソーシアム京都の事業以外でも可とするなど事業展開を複線化し、京都地域の発展に資する調査研究への拡充を目指していく

広報事業においては、これまで以上に大学間連携組織のハブとして産官学民をむすび、新たな価値を生み出していくために、大学コンソーシアム京都のプレゼンス向上を図るとともに、各事業の意義や目指す方向性のステークホルダーへの浸透を図っていく。また、京都学生広報部においては、全国に影響力のある京都にある団体・企業等とのコラボレーションを推進し、発信力の強化に努めるとともに、これらの団体・企業等と広報部員が協働して広報課題の解決に取り組む機会を設け、学生の成長を促していく。

都市政策事業、地域連携事業については、学生・地域・行政・産業界をつなぐ「コーディネーター」としての機能を強化するとともに、行政や産業界との連携をより一層強め、京都地域の活性化を目指していく。

### 1 共同研究調査事業について

第6ステージでは、「指定調査課題調査」として第5ステージまで取り組んできた従前の共通指標及び指定調査課題のスキームを見直し、「財団事業の課題解決に資する調査研究」(①)及び「財団の今後の方向性または中長期計画の評価に資する調査研究」(②)の2つのスキームを柱とする「共同研究調査事業」として展開する。

#### (1) 2024年度の共同研究調査について

2024年度については、「財団事業の課題解決に資する調査研究」、並びに「財団の今後の方向性または中長期計画の評価に資する調査研究」に係る研究者の選定、並びに研究準備期間とし、正式な調査研究は2025年度からの開始を予定している。

#### (2) 研究者、研究費等について

研究者は調査事業企画検討委員会において選定し、1件あたり年間150万円を上限とする。また、研究期間については各調査研究につき1～2年とする。

#### (3) スケジュールについて

2024年6月25日	第1回調査事業企画検討委員会
2024年8月20日	第2回調査事業企画検討委員会
2024年12月26日	第3回調査事業企画検討委員会
2025年3月21日	第4回調査事業企画検討委員会
2025年4月	研究開始

#### (4) 調査研究テーマについて

スキーム①（財団事業等の課題解決に資する調査研究）

- ・高等教育における障害学生支援の包括的実態調査と「学びのユニバーサルデザイン」構築に向けたコンソーシアム型支援モデルの提案

研究代表者：同志社大学 ダイバーシティ研究センター長（文化情報学部 教授）

阪田真己子（さかた まみこ）氏

スキーム②（財団各事業及び財団中期計画の評価に資する調査研究）

- ・「第6ステージプラン」の評価手法と各種事業の方向性に関する政策提言

研究代表者：京都産業大学 学長室 IR推進室 専任専門員 白藤 康成（しらふじ やすなり）氏

なお、研究委託期間はスキーム①、②とも2025年4月1日～2027年3月31日の2年間。

## 2 中期計画の策定と運用

### (1) 第6ステージプラン（計画期間：2024-2028年度）

財団では、5年ごとに財団の目指すべき方向性や事業のあり方についてまとめた「ステージプラン」を策定し、事業運営の指針としている。「第5ステージプラン（2019-2023年度）」の4年目となる2022年度に、大学政策委員会、同幹事会、次期中期計画策定検討プロジェクトチーム会議を開催し、第5ステージプランの事業検証及び第6ステージに向けた検討課題を洗い出すとともに、「第6ステージプラン（2024-2028年度）」（仮称）のコンセプトを固めた。

2023年度は、大学政策委員会、同幹事会、次期中期計画策定検討プロジェクトチーム会議を開催し、「第6ステージプラン（2024-2028年度）」を策定した。

2024年度からは、「第6ステージプラン（2024-2028年度）」の目標である「大学間連携・地域振興の核となるプラットフォームの実現」に向けて、多様な取組みを実施している。

#### 第6ステージプランの概要

計画期間	2024-2028年度（5年間）
目 標	大学間連携・地域振興の核となるプラットフォームの実現
方 針	京都だからこそできる取組の追求 大学間連携のさらなる深化+進化
領域及び 主な事業	<b>【Field I 大学間連携】</b> 単位互換事業、産学連携教育事業（旧インターンシップ事業）、高大連携事業、生涯学習（京カレッジ）事業、FD・SD事業、障がい学生支援事業 <b>【Field II 産官学民連携】</b> リカレント教育事業、アントレプレナーシップ事業、地域連携・地域活性化事業 <b>【Field III 学生支援】</b> 学生組織支援事業、留学生誘致・支援事業、海外留学・交流促進事業 <b>【戦略企画】</b> 共同研究調査事業、広報戦略事業 <b>【クロスファンクショナルチーム】</b> 協働教育支援事業、パイロット事業

(2) アントレプレナーシップ事業について

第6ステージプランの新規事業である本事業については、2025年度中の本格的なプログラム展開を見据え、2024年度末にアントレプレナーシップの醸成と多文化共生の理解に焦点を置いたトライアルプログラム（参加学生6名、3/24～27）を実施した。本プログラムでは、アントレプレナーシップに関しては、様々なバックグラウンドをもつ参加者同士がプログラムの中で価値観をぶつけ合い、そこから生まれる新たな気づきや自己発見の機会となる内容とし、プログラムへ参加した学生が、加盟校や外部組織等で行われている各種アントレプレナーシッププログラムへの参加意識を狙った。

また、多文化共生に関しては、日本語を母語としないホストファミリー先に滞在し、普段の生活と異なる環境に身を置きながら、様々な体験をすることで体感的な理解を促す。加えて、参加学生2名が1チームとなり、協力しながら慣れないホストファミリー宅で生活することをとおして、チームワーク力やコミュニケーション能力の向上を図った。なお、計画当初は現地実習終了後、参加者による振り返り会を実施する予定であったが、参加者アンケートを詳細に行うこと、また現地実習先にてヒアリングを行うことにより代替した。

ア. プログラム名称：「SPARK in Okinawa」

※SPARK：Startup Program for Accelerating Regional Knowledge

イ. プログラムスケジュール：事前学習（3/19）、現地実習（3/24～3/27）

ウ. 事業予算額：約220万円（うち、財団負担額約190万円）

エ. 参加者数：6名（京都工芸繊維大学、京都産業大学、京都薬科大学、福知山公立大学、立命館大学、龍谷大学）

(3) 「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」について

京都市の大学政策の指針となる、「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」を京都市と財団が協働し策定している。2017年度から、大学のまち京都・学生のまち京都推進会議（通称：推進会議）において、2019年度から2023年度までの推進計画の具体的な検討を行い、2019年3月に策定した（その後、計画期間を2025年度までに延長）。当財団の次期中期計画とも密接に連携しながら取組を推進している。なお、2024年度は開催を見送った。

### 3 京都B&Sプログラム

京都観光推進協議会（事務局：京都市観光MICE推進室）、JTB京都支店との協働事業で、2014年度から実施。京都に来る修学旅行生（中高生）を対象に、学生ボランティア（有償）がガイド役となって京都を案内する。その過程で、市内の大学構内へ立ち寄り、将来の進学意欲の喚起や大学生との触れ合いを通じ「大学のまち京都」の魅力を発信する。学生ボランティアの確保に課題があり、財団のインカレ団体や広報媒体を通じた、情報発信などにより、登録者の確保に協力している。

#### 【受入実績】

2016年度：23校（3,064名）

2017年度：30校（3,399名）

2018年度：29校（3,848名）  
2019年度：21校（2,166名）  
2020年度：1校（51名）  
2021年度：7校（843名）※オンライン実施を含む  
2022年度：17校（2,197名）  
2023年度：19校（2,528名）  
2024年度：4校（472名）

## （2）広報事業

### 【事業計画の概要及び実績】

第6ステージでは、大学コンソーシアム京都のプレゼンス向上はもとより、各事業の意義や目指す方向性を確実にステークホルダーに浸透させることにより、大学コンソーシアム京都が強力なマグネットとして機能し、学生をはじめとする多くの関係者が京都地域に集い、さらなる大学間連携の深化+進化及び地域振興に寄与することを目指します。京都学生広報部では、全国に影響のある京都にある団体・企業等とのコラボレーションを推進し、発信力の強化に努めます。

#### 1 財団ウェブサイト・SNSの運用

財団ウェブサイトのアクセス実績の解析・状況分析を実施し、アクセス数の増加、情報発信力の強化を図った。SNSについてはfacebookとTwitterを運用。

#### 2 会報等の発行

##### (1) 財団 Information（財団紹介パンフレット）

毎年6月に更新。

第6ステージプランに伴う組織変更は2025年度になるため、2024年度も冊子本体と中刷りの軽微な修正を更新。2024年7月発行済。

##### (2) 会報誌

年1回発行

2024年度は通常版は発行せず、大学コンソーシアム京都設立30周年記念号を11月27日（水）に発行した。12月7日（土）に開催した記念式典にて出席者配布。

#### 3 京都学生広報部

「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力を京都の大学生たちが全国の中高生に発信することを目指して2015年9月に創部。同年10月に専用ウェブサイト「コトカレ」を開設した。

京都市及び運営支援を委託するクリエイター育成協会、株式会社タグラインと協働で学生部員への支援を行っている。具体的には将来大学生となる中高生にとって魅力あるコンテンツを制作することで中高生の読者の増加を目指し、また、中高生との交流事業等に取り組んでいる。幅広い広報展開によってステークホルダーや京都地域全体のPRにつなげる。

##### (1) 概要

ア 開設年度：2015年9月 ※京都市との協働事業

イ 部員数：30名（11大学：2025年4月15日時点）

大学・短期大学名	部員数	大学・短期大学名	部員数	大学・短期大学名	部員数
京都大学	1	大谷大学	1	京都府立大学	2
京都橘大学	1	同志社大学	9	京都薬科大学	1
京都産業大学	4	立命館大学	2	龍谷大学	3
京都女子大学	5	佛教大学	1		

ウ 公開記事数及びページビュー数（閲覧数）

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
公開記事数	105件	66件	131件	165件	133件	161件	106件	55件	84件	54件
PV数	75,210	159,969	423,579	678,031	660,468	619,236	647,315	687,548	558,359	486,357

※2025年4月12日時点

エ 月間ページビュー数（閲覧数）※2025年3月31日時点

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2017	16,696	18,224	22,178	17,490	13,658	53,725	35,403	55,754	47,776	39,014	43,177	60,484
2018	66,110	56,409	45,710	43,608	48,846	69,302	53,783	84,633	44,971	42,332	51,277	65,080
2019	47,510	52,300	48,498	48,059	45,628	50,955	47,228	73,084	43,663	55,911	62,493	85,139
2020	53,884	52,477	44,239	40,479	51,268	47,639	44,291	40,946	40,594	48,898	52,475	102,046
2021	118,150	52,017	45,373	44,542	37,016	46,494	43,666	40,246	39,468	46,234	51,240	82,869
2022	92,460	49,712	52,268	50,568	47,489	51,845	52,179	48,116	47,769	54,848	61,172	79,122
2023	84,021	49,848	48,906	52,139	51,582	42,673	40,857	35,869	29,675	34,236	37,429	51,126
2024	54,515	32,096	33,501	36,412	39,639	41,045	40,919	37,536	35,641	39,465	40,745	54,843

## (2) 主な事業

### ア 研修事業

広報部員のスキルアップを目的とした研修を実施。

小畑あきら氏によるカメラ研修の開催（2024年7月11日に13名で開催）

### イ 中高生・企業等との協働事業

2024年4月20日 北野天満宮と協働し、新歓及び境内の案内（取材）を実施。

2024年10月3日 COYOTE coffee 門川氏に京都で起業された方への取材を実施。

2025年2月22日 動画コンテストの審査員NHK京都局と実施。

### ウ 部員募集

2024年4月11日 キャンパスプラザ京都にて新歓を開催、16名が参加。

2024年4月20日 北野天満宮にて新歓を開催、9名が参加。

2024年6月27日 Instagramで部員募集の広報

2024年7月11日 カメラ研修に入部検討者を参加誘致。

2024年10月3日 COYOTE coffeeにて新歓を開催。

2025年3月1日 広報部部員募集ポスターリニューアル予定

### エ その他活動等

- 2024年6月21日 2025年度のNHK大河ドラマ「べらぼう」の取材を実施。
- 2024年7月31日 京都水族館の取材を実施。
- 2024年9月22日 京まふ取材を実施。
- 2024年9月25日 きのホ。(京都のご当地アイドル)取材を実施。
- 2024年10月11日 福田美術館及び嵯峨嵐山文華館を取材。
- 2024年10月17日 京都府立植物園を取材。
- 2024年11月15日 二条城本丸御殿を取材。
- 2024年12月9日 清水寺取材を実施。
- 2024年12月21日 コトカレアワード(修了式)を実施。
- 2025年1月31日 福田美術館及び嵯峨嵐山文華館を取材。
- 2025年2月7日 京都国際学生映画祭を取材。
- 2025年2月7日 絶景プロデューサー詩歩さんを取材。
- 2025年2月19日 都をどり衣装発表を取材。
- 2025年2月21日 丸竹夷を取材。
- 2025年2月22日 動画コンテスト表彰式を開催  
(侍タイムスリッパーの安田監督との交流会も実施)
- 2025年3月4日 京都市京セラ美術館『蜷川実花展』を取材。
- 2025年3月6日 京都市京セラ美術館『モネ展』を取材。
- 2025年3月13日 NAKED 二条城を取材。
- 2025年3月25日 学生Place 展示企画に参加、プロの展示方法を学んだ。
- 2025年3月31日 都をどり『大ざらえ』を取材。

#### 4 「大学のまち京都 学生のまち京都」公式アプリ「KYO-DENT」の開発

京都市との協働事業。京都でしか味わえない学生生活を実現するための様々な取組や、学生向けの各種情報を学生に直接かつ確実に届けるとともに、学生のニーズなどを把握し、学生を対象とする取組の改善や新たな事業創設の基盤につなげるためのアプリを2020年3月から配信開始。

##### (1) 趣旨・目的

- ① 京都でしか味わえない学生生活の実現
- ② 京都の魅力を感じた学生の就職を含めた地域への定着
- ③ 京都での学生生活のブランド化による新たな学生の獲得

##### (2) 主な機能

- ① お得情報  
学割等の学生向けサービスを展開している店舗や施設の情報をマップ上やカテゴリ別に配信。
- ② イベントカレンダー  
京都ならではの学生向けイベント情報をカレンダー形式で配信。
- ③ ニュース  
京都市、大学コンソーシアム京都などから、学びの充実につながる学生向けニュースを配信。
- ④ ポイント  
記事の閲覧などのアプリの利用で、電子マネー(計120種類以上)に交換できるポイントを発行。
- ⑤ 京めばえ機能  
アプリの利用に応じてポイントを獲得できる機能。

### (3) 推進体制

京都市と財団が事務局を務め、京都経営者協会、(公財)京都高度技術研究所、京都学生広報部、京都学生祭典実行委員会で構成される「京都ならではの学び・魅力向上」協議会が事業の企画・運営、予算管理等を行う。なお、アプリの機能やデザイン等は、同協議会の下に設置した学生プロジェクトチームにおいて検討された。

2024年6月25日 2024年度第1回協議会

### (4) 広報活動

～4月23日 Instagram 広告配信 (配信期間 30日)

4月上旬 加盟校・京都市関連施設・キャンパス文化パートナーズ制度の対象施設へチラシ・ポスター送付

### (5) その他の活動

2024年6月27日 京都市キャンパス文化パートナーズ制度対象施設「無鄰菴」の取材を実施。

2024年8月1日 京都市キャンパス文化パートナーズ制度対象施設「京都大学総合博物館」の取材を実施。

2024年8月5日 DL時の登録にアンケート項目「出身地」「本アプリを何で知ったか」を追加

2024年9月21日～10月20日 Instagram 広告を実施 (広告期間 1か月)

2024年9月20日～ 定期券販売所で A5 チラシ(2万枚)を配布 (A5サイズのチラシ作成)

2024年9月25日 立命館大学広報部による取材 (Web ページ「shiRUto」で記事化)

2024年12月15日 政策研究交流大会でチラシ配布

2025年3月～4月 Instagram 広告配信

2025年3月18日～ 京都市営地下鉄へポスター掲示 (広告依頼期間 2週間)

2025年3月～4月 加盟校へチラシ・ポスター郵送

### (6) ダウンロード数の推移 (2020.3.26～)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019												367	367
2020	349	576	489	435	831	1,103	1,386	1,331	679	504	826	1,351	9,860
2021	2,255	489	1,157	781	655	407	1,113	1,083	608	464	662	1,502	11,176
2022	2,775	1,667	1,034	606	600	835	951	951	477	486	605	869	11,856
2023	2,040	1,587	1,031	728	615	840	767	869	533	521	583	817	10,931
2024	2,414	1,262	919	576	608	916	912	707	587	568	495	836	10,803

累計ダウンロード数：54,993件

## (3) 都市政策研究推進事業

### 【事業計画の概要および実績】

#### 1 京都から発信する政策研究交流大会

加盟校の学生が、日頃の研究や学習成果の発表の場として互いに交流を深め、都市政策に活かすことを目的に 2005 年度から開催。

大会は、加盟校の政策系学部の教員で構成する「都市政策研究推進委員会」が中心となり、企画・審査を実施するほか、学生実行委員会の活動への助言等を行っている。

(1) 第 20 回大会について

ア 日時 2024 年 12 月 15 日 (日) 10 時～17 時

イ 会場 龍谷大学 深草キャンパス 和顔館

ウ 応募実績

	エントリー	応募者	発表組数
組数	97	91	79※

※発表枠数は 80 組だが、1 組、口頭発表を辞退

(2023 年度参考) 応募者 88 組、発表者 79 組

エ 研究奨励賞受賞者一覧

賞名	部門	発表題目	区分	発表者名	所属大学名
大学コンソーシアム京都 理事長賞	口頭・論文	テキストマイニングを用いた新たなパブリック・コメント ーコンテキストを読み解く政策ツールー	団体	同志社大学野田ゼミ A 班	同志社大学
日本公共政策学会賞	論文	耕作放棄地解消と圃場整備・法人化の重要性 ー京丹後市宇川地域を事例として「持続可能な地域社会」を創るためにー	団体	龍谷大学政策学部今里ゼミ	龍谷大学
優秀賞	口頭発表	釜ヶ崎におけるダークツーリズムのあり方 ー観光客・現地住民へのインタビュー調査を通してー	個人	青木蒔紘	立命館大学
		大学生の政治への関心向上のための実践研究 ーユースフェスティバル in 福知山を事例にー	団体	福知山公立大学 3 年 杉岡ゼミ	福知山公立大学
		「ヒューマンデジストーリー」による市民文化の継承	団体	風間ゼミナール デジタルアーカイブ班	同志社大学
		まち×学生 縁結びプラットフォームの提案 ーまちづくりサークルと地域団体の連携強化に向けてー	団体	同志社大学政策学部 風間ゼミナール 地域プラットフォーム班	同志社大学
		中高生を対象とした月経パスポート導入案 ー教育機関における生理休暇制度の実現に向けてー	団体	川口ゼミ 1 班	同志社大学
		公共交通の利用促進に向けた「地域共創型 MM」の提案 ー丹波篠山市福住地区での取り組みからー	団体	大谷大学野村ゼミ MM チーム	大谷大学
		マイナンバーカード 100%普及総合戦略	団体	同志社大学野田ゼミ B 班	同志社大学
		若年層人口を増やすには ー滋賀・大阪・京都からみる若年層人口に影響を及ぼす事象とはー	団体	ハピネス計画	龍谷大学
		データから見る食品ロスの現状と課題	団体	エコナビ	龍谷大学
認証保育所と育児の多様性 ー認可保育所利用者へのインタビューからー	団体	京都産業大学 松並ゼミ C チーム	京都産業大学		

## (2) 実施スケジュール

(2024 年)

5月17日	第1回都市政策研究推進委員会
6月21日	応募者向け説明会（説明動画の公開）
6月28日	エントリー開始
8月2日	エントリー締切
9月13日	第2回都市政策研究推進委員会
10月22日	論文提出締切
11月8日	発表者資格審査会
11月19日	発表者向け説明会（説明動画の公開）
12月6日	第3回都市政策研究推進委員会
12月15日	第20回京都から発信する政策研究交流大会

(2025 年)

2月14日	第4回都市政策研究推進委員会
3月14日	政策提言懇談会（研究奨励賞受賞者による発表、行政機関との意見交換）

## (3) 学生実行委員会

加盟校の学生で構成。大会広報チラシの作成、SNSによるPR活動、大会当日の学生企画の企画、運営及び大会の運営補助を担当。

<学生企画>

テーマ：「クイズに答えてゴールを目指そう！人生ゲーム型サイコロすごろく」

目的：参加者同士が交流しながらすごろくを楽しむとともに、クイズを通して京都地域に関する理解を深めることを目的とする。

内容：本大会は、所属大学が異なる様々な学生が集まる貴重な機会となっている。こうした機会を活かし、楽しみながら学生同士が交流できる企画を実施することで、参加者相互の距離を縮めるとともに、クイズを通して京都地域について理解を深める企画内容とする。また、企画を通して、学生同士が今後も関係を継続できるような交流の輪の形成も目指す。

<2024年度 学生実行委員（11名）>

大学・短期大学名	人数	大学・短期大学名	人数
立命館大学	1	京都先端科学大学	2
佛教大学	3	同志社大学	4
京都府立大学	1		

※2024年12月13日時点

#### (4) 大学別発表件数

大学名	第14回 (2018)		第15回 (2019)		第16回 (2020)	第17回 (2021)	第18回 (2022)	第19回 (2023)	第20回 (2024)
	口頭	パネル	口頭	パネル	口頭	口頭	口頭	口頭	口頭
京都大学	(1)	0	(1)	0	0	0	0	0	0
京都府立大学	3(1)	1	8(1)	1	2	4	4	6	5
福知山公立大学	1	2	2	5	10	6	7	9	4
大谷大学	0	0	0	0	0	0	0	4	6
京都先端科学大学	0	0	0	0	0	4	2	5	5
京都産業大学	7	1	13	3	15	19	14	19	15
京都女子大学	0	0	0	0	1	1	1	0	0
京都橘大学	3	0	3	0	1	4	2	5	6
京都文教大学	1	0	1	0	1	2	1	0	0
同志社大学	10	5	12	2	12	11	13	15	12
佛教大学	8	2	9	3	3	4	3	5	5
立命館大学	12(2)	5	8	2	1	0	1	1	7
龍谷大学	9	1	11	0	10	17	15	10	14
計	55(4)	17	68(2)	16	56	72	63	79	79

※ ( ) 内は大学院生の数

#### (5) 来場者数の推移

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
238	149	632	420	524	545	410	317	362
第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回
377	451	423	352	392	507	433	607	446
第19回	第20回							
463	486							

※発表者、一般聴講者（学生実行委員、職員、審査員は除く。）の合計

## (4) 地域連携事業

### 【事業計画の概要および実績】

京都のまちの発展、活性化を目指し、加盟校が有する知と人材、学生の活力を生かした地域との連携事業を京都市と連携して実施している。

#### 1 大学地域連携創造・支援事業（愛称：学まちコラボ事業）

大学の求める人材育成に資する実践的教育・研究機会の確保と地域ニーズに基づき、大学の知や学生の活力を生かした地域課題の解決や地域活性化を目的とし、大学と地域との連携による取組に対して助成金を交付し、学生の学びと成長を支援している。

2021年度以降、2017年度から設けていた「文化枠」の募集は行わず、「一般枠」のみの募集としている。2022年度は13事業への補助を行った。

2023年度は、2024年度募集パンフレットについて、京都市立芸大の学生にデザインを委託し、一新した。

#### (1) 令和6（2024）年度のスケジュール

4月1日～5月31日 募集期間

6月13日 一次（書類）審査（書面開催※応募件数20件以上の場合、

	対面開催)
6月30日	二次(プレゼンテーション)審査
7月20日	認定式・交流会、取組スタート
12月10日	第3回企画・選考委員会
3月20日	成果報告会

## (2) 令和6(2024)年度の応募実績

申請件数：16事業（昨年度は11事業）※二次選考時、新規1団体、継続1団体が辞退

新規：8事業（昨年度は3事業）

継続：8事業（昨年度は8事業）

採択団体：12事業（条件付き採択：1事業※）

※予算に対して不明確な点や、質問に対しても明確な回答がなかったため経費過剰と判断し、奨励事業として減額のうえ採択。

不採択団体：2事業

認定式・交流会：7/20実施

## 2 大学×地域連携ポータルサイト「がくまちステーション GAKUMACHI STATION」

財団ではこれまで、大学・学生・地域と連携した活動を支援し、学生の学びと成長、地域の活性化を図ることを目的に、サークルや学生グループによるまちづくり活動を支援する「学まちコラボ事業」や、大学を挙げた地域連携の取組を支援する「学まち連携大学」促進事業の実施のほか、都市にかかわる課題について学生が調査・研究した成果を政策提案する「京都から発信する政策研究交流大会」の開催、加盟校における地域連携の取組紹介ページ「まちづくり事例集」の作成など、多様な地域連携事業に取り組んできた。2019年4月には、こうした地域連携にかかわる幅広い情報やノウハウを網羅したポータルサイトとして「がくまちステーション」を開設（まちづくり事例集は本サイトに再編）し、大学・学生と地域との連携活動の活性化を図るべく運用している。

### (1) 掲載内容

#### ア 学まちコラボ事業

2018年度の活動実績を中心に2017年度以前の報告集を掲載。

2019年度からSDGsアイコンによる検索機能を追加。

#### イ 「学まち連携大学」促進事業（2023年度で事業終了）

- ・2016～2019年度の採択校の取組を紹介（大谷大学、京都教育大学、京都女子大学、京都橘大学、同志社女子大学、龍谷大学）
- ・2020年度からの採択校の取組を紹介（京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部、花園大学、京都橘大学、龍谷大学・龍谷大学短期大学部）
- ・採択校による事例紹介などによる、大学・地域連携シンポジウムの紹介

#### ウ 京都から発信する政策研究交流大会

優秀賞受賞者の発表論文及び発表データ、推進委員（教員）へのインタビュー記事を掲載。

#### エ 加盟校における地域連携活動の取組

上記ア～ウの取組以外の加盟校独自の大学・学生・地域連携の活動を紹介。

### (2) スペシャルコンテンツ

地域連携活動やまちづくりの分野などのトップランナーのインタビュー記事などを随時更新。

### (3) 検索機能

京都府下の市町村、大学名、取組分野のキーワードで取組が検索可能。

2019年度からSDGsアイコンによる検索機能を追加。

## 4 大学・地域連携シンポジウム

学まちコラボ事業や各区のまちづくり支援事業を含めた大学・地域連携事例を広く発信するとともに、大学・地域連携活動に関わる学生や大学関係者、地域団体等が交流する機会を創出するため、「大学・地域連携サミット」を京都市と協働で2016年度から開催している。2021年度は「シンポジウム」に改め。

2022年度は募集要項に基づき中間評価会を開催するためシンポジウムの実施はなし。代わりに学まちコラボ事業の取組内容等を「がくまちステーション」で公開し、広く周知を行った。

2023年度は、「学まち連携大学」促進事業が2023年度で終了となり、同事業の最終報告会を別途実施することから、シンポジウムは実施を見送る。

## 各種委員会等の開催について

### (1) 調査企画事業

#### ① 調査事業企画検討委員会

6月25日	第1回委員会
8月20日	第2回委員会
12月26日	第3回委員会
3月21日	第4回委員会

#### ② 「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」

開催時期未定	第1回会議
--------	-------

### (2) 都市政策研究推進事業

#### ① 都市政策研究推進委員会

5月17日	第1回委員会
9月13日	第2回委員会
11月8日	発表者資格審査会
12月6日	第3回委員会
12月15日	第20回京都から発信する政策研究交流大会
2月14日	第4回委員会

### (3) 地域連携事業

#### ① 学まちコラボ事業（大学地域連携創造・支援事業）企画・選考委員会

6月13日	2024年度採択事業一次審査（※対面もしくは書面開催）
6月30日	2024年度採択事業二次審査
7月20日	認定式・交流会
12月10日	企画・選考委員会
3月20日	成果報告会

### (4) 広報事業

#### ① 「京都ならではの学び・魅力向上」協議会

6月25日	2024年度第1回協議会
-------	--------------

## 総務部 事業進捗

### (1) 総務業務（法人運営・庶務）

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

##### ◆法人運営

##### (1) 機関会議

法人の意思決定を行うため、評議員会、理事会、運営委員会を開催する。また、会員団体への事業報告等の場として会員総会を開催する。（日程、主な議題等については「各種委員会等の開催について」参照）

##### (2) 大学のまち・京都 サマーミーティング

大学コンソーシアム京都の事業推進や京都市の大学政策の参考とすること、京都の大学と京都市の一層の連携を図ることを目的とし、理事会、評議員会、運営委員会を構成する加盟校（計22校）の学長と京都市長との懇談会開催を8月24日に開催した。

8月24日（土） サマーミーティング 開催形態：対面  
10:00～13:00

##### (3) 30周年記念事業

設立30周年記念事業として、12月7日に記念式典を開催。当日は加盟校の学長や行政関係者など延べ49人が参加した。なお、調査・広報事業部にて30周年記念誌を発行しており、式典当日に参加者にも配布した。

12月7日（土） 設立30周年記念式典

① 10:30 ～ ①基調講演

11:50 講演テーマ：「京都におけるこれからの高大連携について」

②12:00～13:00 講演者：独立行政法人教職員支援機構 理事長 荒瀬克己氏

②懇親会（昼食会、立食形式）

### (2) 財務・経理業務

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

本業務は、財団の予算執行管理及び財産の運用などを担当する。安定的に事業を運営するため、事業の選択と集中を推進し、経費節減、特定財産の計画的な活用等、効率的な財政運営を図る。

##### <実績>

5月29日（水） 2023年度決算監査  
6月22日（土） 2023年度事業報告・決算承認  
6月28日（金） 2023年度事業報告・決算書を内閣府に提出  
9月20日（金） 予算説明会

11月13日（水）	2025年度事業計画・予算基本方針承認 当初予算作成依頼
1月25日（土）	2024年度補正予算承認
3月8日（土）	2025年度事業計画書・当初予算承認

### （3）研修業務

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

財団職員の能力向上のために研修企画を策定し、実施する。本年度は総務部が主体となり、以下の日程で研修を実施する。また、次期ステージプラン策定に向けて、高等教育行政などに理解を深める研修を実施するなど、研修メニューの充実を図る。

##### <実績>

4月2日（火）	新入職員オリエンテーション
4月17日（水）	ハラスメント防止規程に基づく業務の説明会 （ハラスメント相談員、及び役職者対象）
5月15日（水）	事業部業務説明会 （教育事業部、教育開発事業部、国際事業部）
6月19日（水）	事業部業務説明会 （学生支援事業部、調査・広報事業部、総務部）
8月28日（水）	SPOD（四国地区大学教職員能力開発ネットワーク）フォーラム
～8月30日（金）	2024（香川大学 幸町北キャンパス） 【台風10号のため中止】
9月7日（土）	大学行政管理学会・研究集会（日本福祉大学 東海キャンパス）
～9月8日（日）	<※全国コンソと日程重複、参加なし>
9月18日（水）	ハラスメント研修
10月21日（月）	総合消防訓練 参加者：大学コンソーシアム京都職員、委託業者、テナント等スタッフ 計53名
3月19日（水）	出向満了者等業務成果報告会

### （4）全国大学コンソーシアム協議会事業

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

本事業では、全国の大学コンソーシアム組織（大学連合体・大学連携組織）からなる協議会組織「全国大学コンソーシアム協議会」の事務局として、運営委員会・総会の開催、協議会予算の執行管理等を行う。情報交換・交流の場として「全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」を開催する。

○第21回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

日 時：2024年9月7日（土）・8日（日）

会 場：（7日）京都市立芸術大学・（8日）キャンパスプラザ京都

テーマ：（全体テーマ）

地域特性を活かした大学間連携・地域連携の発展

## <実績>

- 4月 9日（火） 第1回運営委員会（主要議題：第21回フォーラム共催団体および開催地について）※書面会議
- 4月24日（水） 2023年度 監査報告（監事）
- 5月15日（水） 第2回運営委員会（主要議題：コンソーシアム組織の退会について、協議会規約の一部改正について、2023年度決算について、第21回フォーラムについて）
- 6月 7日（金） 第3回運営委員会（主要議題：代表幹事の選任について）※書面会議
- 6月22日（土） 第1回幹事会（主要議題：コンソーシアム組織の退会について、協議会規約の一部改正について、2023年度決算について、代表幹事の選任について）※書面会議
- 9月 7日（土） 協議会総会（主要議題：2023年度決算について）
- 9月 8日（日） 第4回運営委員会（主要議題：第22回フォーラムの開催概要について、第23回フォーラム共催団体募集要項について）
- 1月14日（火） 第5回運営委員会（主要議題：文化庁と全国大学コンソーシアム協議会及び公益財団法人大学コンソーシアム京都との連携に関する協定の締結について）
- 1月21日（火） 第2回幹事会（主要議題：文化庁と全国大学コンソーシアム協議会及び公益財団法人大学コンソーシアム京都との連携に関する協定の締結について）※書面会議
- 2月5日（水） 第2回協議会総会（主要議題：文化庁と全国大学コンソーシアム協議会及び公益財団法人大学コンソーシアム京都との連携に関する協定の締結について）※書面会議
- 2月15日（土） 第6回運営委員会（主要議題：第22回フォーラムの開催概要について、2025年度予算について、第23回フォーラムの開催地について）

## （5）勤労学生援助会・表彰奨学金事業

### 【事業計画の概要および実績】

#### <概要>

本事業では、「勤労学生援助会」の事務局として、理事会等の開催・予算の執行管理等を行う。「勤労学生援助会」では、人物・学業とも他の学生の模範となる学生で、学費や生活費をアルバイト及び奨学金等に頼り、家庭からの援助が皆無に近い学生や、京都地域の社会活動で著しく貢献した学生を表彰し、奨学金を給付する。

#### <実績>

- 5月21日（火） 2023年度 監査報告（監事）
- 7月25日（木） 通常総会・理事会
- 8月30日（金） 表彰学生推薦依頼
- 2月13日（木） 表彰学生選考委員会
- 3月12日（水） 勤労学生表彰式

## （6）施設管理事業（指定管理）

## 【事業計画の概要および実績】

### <概要>

施設管理事業は、京都市から指定管理者として2023年度から2026年度までの4年間の再指定を受け、キャンパスプラザ京都の管理運営を行っている。引き続き、施設運営に必要な委託業者（受付、警備、清掃、各種インフラ管理等）と連携を図りながら適切な施設管理を行う。

### <実績>

#### 【保守点検実施】

4月 8日（月）、 4月22日（月）、 5月13日（月）、 5月27日（月）、6月10日（月）、  
6月24日（月）、 7月 8日（月）、 7月22日（月）、 8月 5日（月）、 8月19日（月）、  
9月 9日（月）、 9月30日（月）、10月 7日（月）、10月28日（月）、11月11日（月）、  
11月25日（月）、12月 9日（月）、12月23日（月）、1月20日（月）、 1月27日（月）、  
2月 3日（月）、 2月10日（月）、 2月17日（月）、3月10日（月）、 3月24日（月）

#### 【第1講義室の使用再開について】

映像音響システム制御機器の故障に伴い、2022年4月1日（土）から第1講義室は使用を停止していたが、本年5月実施の機器更新完了を受け6月1日（土）に使用再開した。

#### 【全館停電について】

停電実施日：2025年2月3日（月）

※電気事業法の規定により制定された、自家用電気工作物保安規程で規定した点検基準に基づき、受変電設備精密点検を全館停電して実施した。

#### 【貸室予約について】

次年度予約日：2025年3月4日（火）（一般：3カ月、大学6カ月）

※2025年度の各大学への使用予定事業の調査と京都市への優先使用・大学コンソーシアム主催事業の仮予約は11月1日（金）に案内を送付。締切は2月11日（火）正午必着。

#### 【大学院等共同サテライト】

- ・入居者募集（7/3加盟校に周知、8/31募集締切）

第1～8講習室のうち、第3講習室（明治国際医療大学、2023/4/1～2028/3/31）以外の最大7講習室（内3部屋は2024年度で契約満了）について募集（申請締切8/31）。

新規応募はなし。2大学が更新。1大学が2024年度で満了。

〔参考〕

第1講習室	立命館大学	（2025/3/31契約満了、2025/4/1～1年で更新）
第2講習室	京都文教大学	（2025/3/31契約満了、2025/4/1～貸室化）
第3講習室	明治国際医療大学	（2023/4/1～2028/3/31）
第4講習室	空室	（2024/3/31退去、現在貸室として利用）
第5講習室	空室	（2017/3/31退去、現在貸室として利用）
第6講習室	空室	（2017/3/31退去、現在貸室として利用）
第7講習室	龍谷大学	（2025/3/31契約満了、2025/4/1～1年で更新）
第8講習室	空室	（2022/3/31退去、現在貸室として利用）

## 総務部 各種委員会等の開催について

### ■開催報告■

#### (1) 総務業務(法人運営)

##### ① 評議員会

- 5月21日(火) 第1回(主要議題:理事の退任・選任について 他)※書面会議  
6月22日(土) 第2回(主要議題:2023(令和5)年度事業報告及び決算について 他)  
9月20日(金) 第3回(主要議題:理事の辞任・選任について 他)※書面会議  
3月8日(土) 第4回(主要議題:2025(令和7)年度 公益財団法人大学コンソーシアム京都事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて 他)  
3月18日(火) 第5回(主要議題:専務理事の報酬について)※書面会議

##### ② 理事会

- 4月23日(火) 第1回(主要議題:運営委員の選任について 他)※書面会議  
5月31日(金) 第2回(主要議題:2023(令和5)年度事業報告及び決算について、運営委員の退任・選任について 他)※書面会議  
6月22日(土) 第3回(主要議題:理事長・副理事長・専務理事の選任について、理事長職務執行報告 他)  
9月13日(金) 第4回(主要議題:臨時職員規則の一部改正について 他)※書面会議  
10月3日(木) 第5回(主要議題:運営委員の辞任・選任について)※書面会議  
1月25日(土) 第6回(主要議題:2024(令和6)年度公益財団法人大学コンソーシアム京都 補正予算について 他)  
3月8日(土) 第7回(主要議題:2025(令和7)年度 公益財団法人大学コンソーシアム京都事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて 他)  
3月11日(火) 第8回(主要議題:副理事長の選任について 他)※書面会議

##### ③ 会員総会

- 6月22日(土) 報告事項 2023(令和5)年度 公益財団法人大学コンソーシアム京都事業報告及び決算について

##### ④ 運営委員会

- 4月10日(水) 第1回(主要議題:第1回理事会の開催について 他)  
5月15日(水) 第2回(主要議題:2023(令和5)年度事業報告及び決算について 他)  
6月12日(水) 第3回(主要議題:第22回京都学生祭典における大学分担金について 他)  
7月10日(水) 第4回(主要議題:2024年度大学執行部塾の実施報告について 他)  
9月11日(水) 第5回(主要議題:第4回理事会の開催について 他)  
10月9日(水) 第6回(主要議題:「大学のまち・京都サマーミーティング2024」の開催報告について 他)  
11月13日(水) 第7回(主要議題:2025年度事業計画策定及び予算編成の基本方針について 他)

- 12月11日（水） 第8回（主要議題：第6回理事会の開催について 他）  
 1月15日（水） 第9回（主要議題：2024（令和6）年度 公益財団法人大学コンソーシアム京都補正予算について 他）  
 2月12日（水） 第10回（主要議題：役員賠償責任保険の継続加入について 他）  
 3月 5日（水） 第11回（主要議題：2025（令和7）年度 公益財団法人大学コンソーシアム京都事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて 他）

## （２）財務・経理業務

専門委員会等なし

## （３）研修業務

専門委員会等なし

## （４）全国大学コンソーシアム協議会事業

### ① 全国大学コンソーシアム協議会 運営委員会

- 4月 9日（火） 第1回運営委員会（主要議題：第21回フォーラム共催団体および開催地について）※書面会議  
 5月15日（水） 第2回運営委員会（主要議題：コンソーシアム組織の退会について、協議会規約の一部改正について、2023年度決算について、第21回フォーラムについて）  
 6月 7日（金） 第3回運営委員会（主要議題：代表幹事の選任について）※書面会議  
 9月 8日（日） 第4回運営委員会（主要議題：第22回フォーラムの開催概要について、第23回フォーラム共催団体募集要項について）  
 1月14日（火） 第5回運営委員会（主要議題：文化庁と全国大学コンソーシアム協議会及び公益財団法人大学コンソーシアム京都との連携に関する協定の締結について）  
 2月15日（土） 第6回運営委員会（主要議題：第22回フォーラムの開催概要について、2025年度予算について、第23回フォーラムの開催地について）

### ② 全国大学コンソーシアム協議会 幹事会

- 6月22日（土） 第1回幹事会（主要議題：コンソーシアム組織の退会について、協議会規約の一部改正について、2023年度決算について、代表幹事の選任について）※書面会議  
 1月21日（火） 第2回幹事会（主要議題：文化庁と全国大学コンソーシアム協議会及び公益財団法人大学コンソーシアム京都との連携に関する協定の締結について）※書面会議

### ③ 全国大学コンソーシアム協議会 総会

- 9月 7日（土） 協議会総会（主要議題：2023年度決算について）  
 2月 5日（水） 第2回協議会総会（主要議題：文化庁と全国大学コンソーシアム協議会及び公益財団法人大学コンソーシアム京都との連携に関する協

定の締結について) ※書面会議

## (5) 勤労学生援助会・表彰奨学金事業

### ① 勤労学生援助会理事会・選考委員会

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 7月25日 (木) | 通常総会・理事会  |
| 8月30日 (金) | 表彰学生推薦依頼  |
| 2月13日 (木) | 表彰学生選考委員会 |
| 3月12日 (水) | 勤労学生表彰式   |